

1 調査の概要

調査の概要

1 目的

新たな子ども総合計画(H28年度～H32年度)の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新計画に反映させる。

2 調査票及び対象者数

⇒ 6種類、5,005件

① 就学前児童の保護者用	937件	}	2,000件
② 小学校1～6年生の保護者用	1,063件		
③ 小学校4～6年生用	613件	}	2,000件
④ 中学校1～高校3年生用	1,387件		
⑤ 地域・子ども関連団体用	786件		
⑥ 認定こども園・幼稚園・保育所(園)・学校関係者用	219件		

3 調査期間

平成27年7月21日(火)～平成27年8月20日(木)

4 調査方法

調査対象に応じたアンケート調査票を送付し、同封した返信用封筒による郵送での回答(無記名)

5 報告書の見方

- ① 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100にならない場合がある。
- ② 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選んだ人が全体からみて何%なのかという見方としているため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。

調査地域区分表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原(稲葉)、けやき、小柳、栄町、桜川、自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中心地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、東大野、緑、妙見、安田、八ツ役(矢作)
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区A	浅虫、泉野、後菟、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区B	赤坂、桑原(山崎)、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、戸崎、戸山、蛭沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、野沢、細越、八ツ役(芦谷、上林)
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

調査票の回収結果

抽出児童 年齢	標本数			有効 回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
6歳 (小1)	77	89	166	58	34.9%	26	31	1
7歳 (小2)	93	84	177	64	36.2%	34	30	0
8歳 (小3)	82	95	177	82	46.3%	45	37	0
9歳 (小4)	79	92	171	67	39.2%	32	35	0
10歳 (小5)	99	87	186	73	39.2%	44	29	0
11歳 (小6)	99	87	186	77	41.4%	40	37	0
無回答	0	0	0	3	-	1	1	1
合計	529	534	1063	424	39.9%	222	200	2

※児童の年齢は、平成27年4月1日時点の年齢であり、アンケート実施時には
小学校1～6年生となる年齢である。

※標本数及び有効回収数の性別は、あくまで児童の性別であり、回答者(保護者)の性別ではない。

回答者の属性

①回答者の子どもの性別

	回答数	構成比
男性	222	52.4%
女性	200	47.2%
無回答	2	0.5%
全体	424	100.0%

②回答者の子どもの年齢

	回答数	構成比
6歳(小学校1年生)	58	13.7%
7歳(小学校2年生)	64	15.1%
8歳(小学校3年生)	82	19.3%
9歳(小学校4年生)	67	15.8%
10歳(小学校5年生)	73	17.2%
11歳(小学校6年生)	77	18.2%
無回答	3	0.7%
全体	424	100.0%

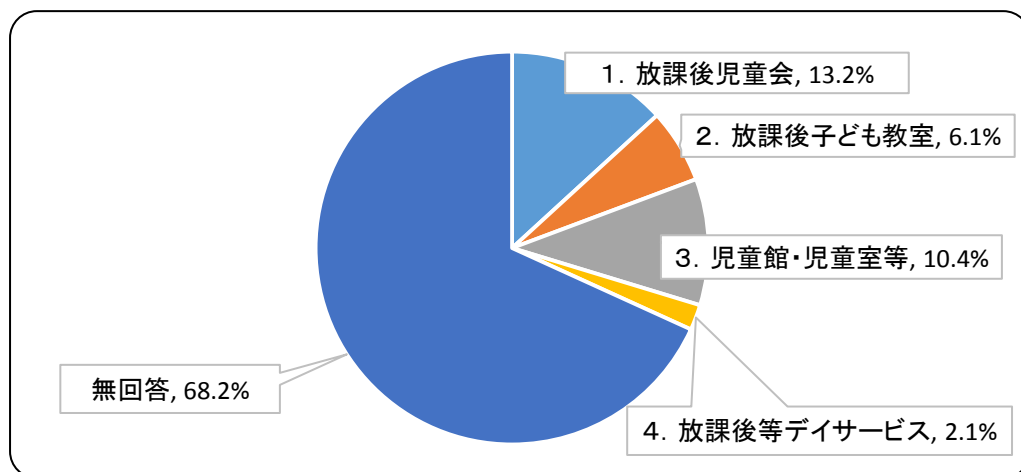
※年齢は平成27年4月1日時点

2 調査結果

Ⅱ 放課後児童会等のサービス等の満足度についてお伺いします。

問2-1 現在、通っているのはどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

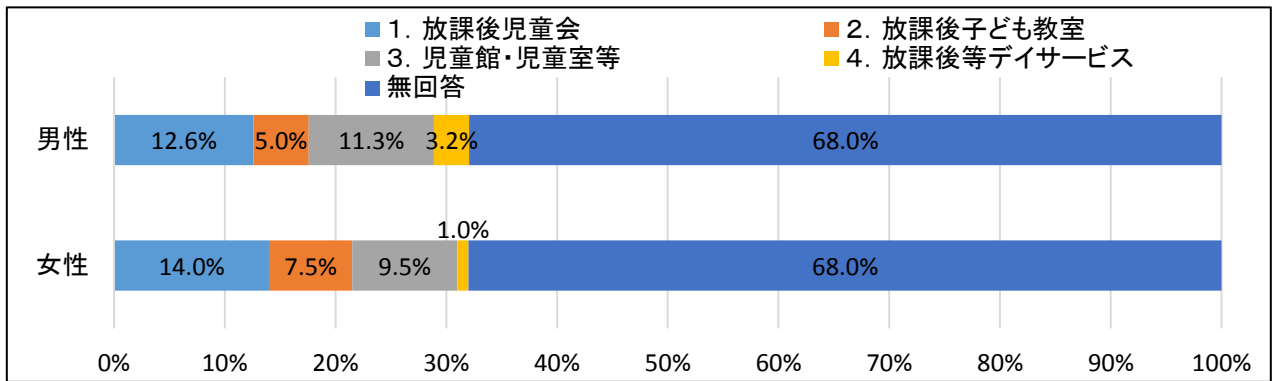
【全体】



	1. 放課 後児童会	2. 放課 後子ども 教室	3. 児童 館・児童 室等	4. 放課 後等デイ サービス	無回答 (通ってい ない)	合計
平成27年度						
回答数	56	26	44	9	289	424
構成比	13.2%	6.1%	10.4%	2.1%	68.2%	100.0%

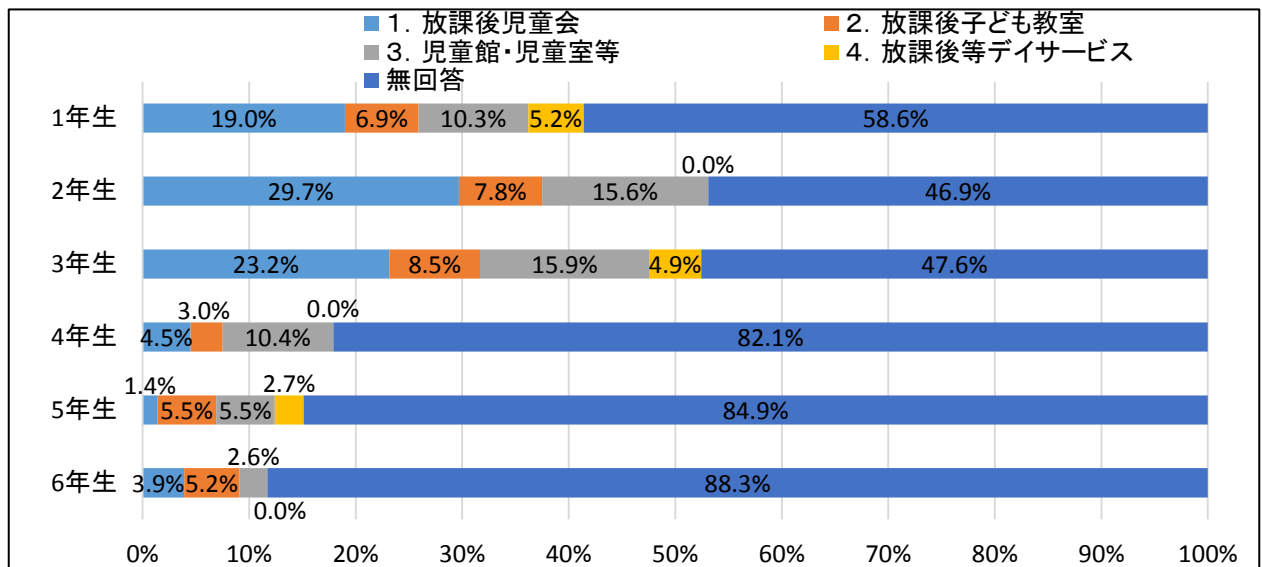
◆「無回答(通っていない)」(68.2%)と回答した人が最も多く、以下「放課後児童会」(13.2%)、「児童館・児童室等」(10.4%)、「放課後子ども教室」(6.1%)、「放課後等デイサービス」(2.1%)となっている。

【子どもの性別】



	1. 放課後児童会	2. 放課後子ども教室	3. 児童館・児童室等	4. 放課後等デイサービス	無回答 (通っていない)	合計
平成27年度						
男性	12.6%	5.0%	11.3%	3.2%	68.0%	100.0%
女性	14.0%	7.5%	9.5%	1.0%	68.0%	100.0%

【子どもの学年別】

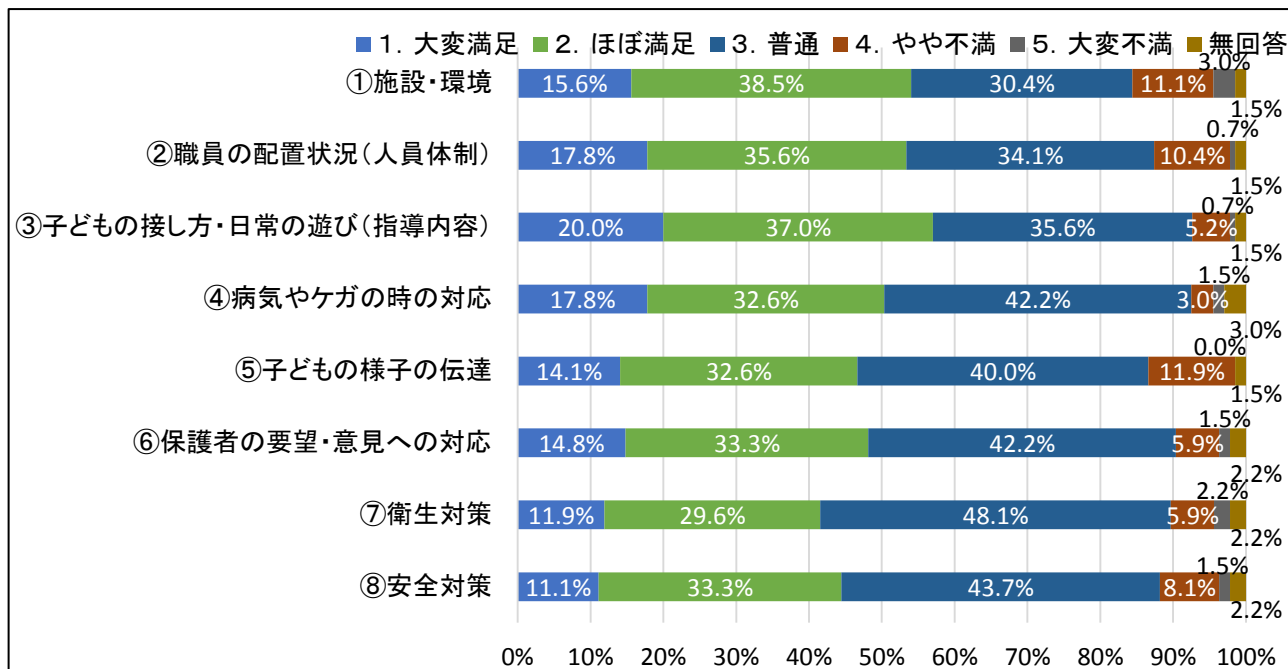


	1. 放課後児童会	2. 放課後子ども教室	3. 児童館・児童室等	4. 放課後等デイサービス	無回答 (通っていない)	合計
平成27年度						
1年生	19.0%	6.9%	10.3%	5.2%	58.6%	100.0%
2年生	29.7%	7.8%	15.6%	0.0%	46.9%	100.0%
3年生	23.2%	8.5%	15.9%	4.9%	47.6%	100.0%
4年生	4.5%	3.0%	10.4%	0.0%	82.1%	100.0%
5年生	1.4%	5.5%	5.5%	2.7%	84.9%	100.0%
6年生	3.9%	5.2%	2.6%	0.0%	88.3%	100.0%

問2-2 現在、通っている放課後児童会、放課後子ども教室、児童館・児童室等、放課後等デイサービスに対して、どのように感じていますか。それぞれの項目ごとに該当欄に○をつけてください。

【全体】

◆問2-1で放課後児童会等に通っていると回答した人135人(放課後児童会56人、放課後子ども教室26人、児童館・児童室等44人、放課後等デイサービス9人の合計)に対する割合



	1. 大変満足	2. ほぼ満足	3. 普通	4. やや不満	5. 大変不満	無回答	合計
平成27年度							
①施設・環境	15.6%	38.5%	30.4%	11.1%	3.0%	1.5%	100.0%
②職員の配置状況(人員体制)	17.8%	35.6%	34.1%	10.4%	0.7%	1.5%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	20.0%	37.0%	35.6%	5.2%	0.7%	1.5%	100.0%
④病気やケガの時の対応	17.8%	32.6%	42.2%	3.0%	1.5%	3.0%	100.0%
⑤子どもの様子の伝達	14.1%	32.6%	40.0%	11.9%	0.0%	1.5%	100.0%
⑥保護者の要望・意見への対応	14.8%	33.3%	42.2%	5.9%	1.5%	2.2%	100.0%
⑦衛生対策	11.9%	29.6%	48.1%	5.9%	2.2%	2.2%	100.0%
⑧安全対策	11.1%	33.3%	43.7%	8.1%	1.5%	2.2%	100.0%
平成22年度							
①施設・環境	12.3%	31.7%	34.4%	15.9%	5.7%	0.0%	100.0%
②職員の配置状況(人員体制)	13.7%	36.1%	41.8%	6.6%	1.8%	0.0%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	14.6%	36.3%	32.3%	12.8%	4.0%	0.0%	100.0%
④病気やケガの時の対応	12.7%	34.4%	47.0%	4.1%	1.8%	0.0%	100.0%
⑤子どもの様子の伝達	10.7%	28.4%	40.4%	13.8%	6.7%	0.0%	100.0%
⑥保護者の要望・意見への対応	8.9%	30.7%	47.5%	7.6%	5.3%	0.0%	100.0%
⑦衛生対策	10.7%	29.5%	48.2%	8.9%	2.7%	0.0%	100.0%
⑧安全対策	10.7%	33.3%	44.9%	8.9%	2.2%	0.0%	100.0%

【満足、不満の2つに分類しH22調査時、H27調査時を比較】

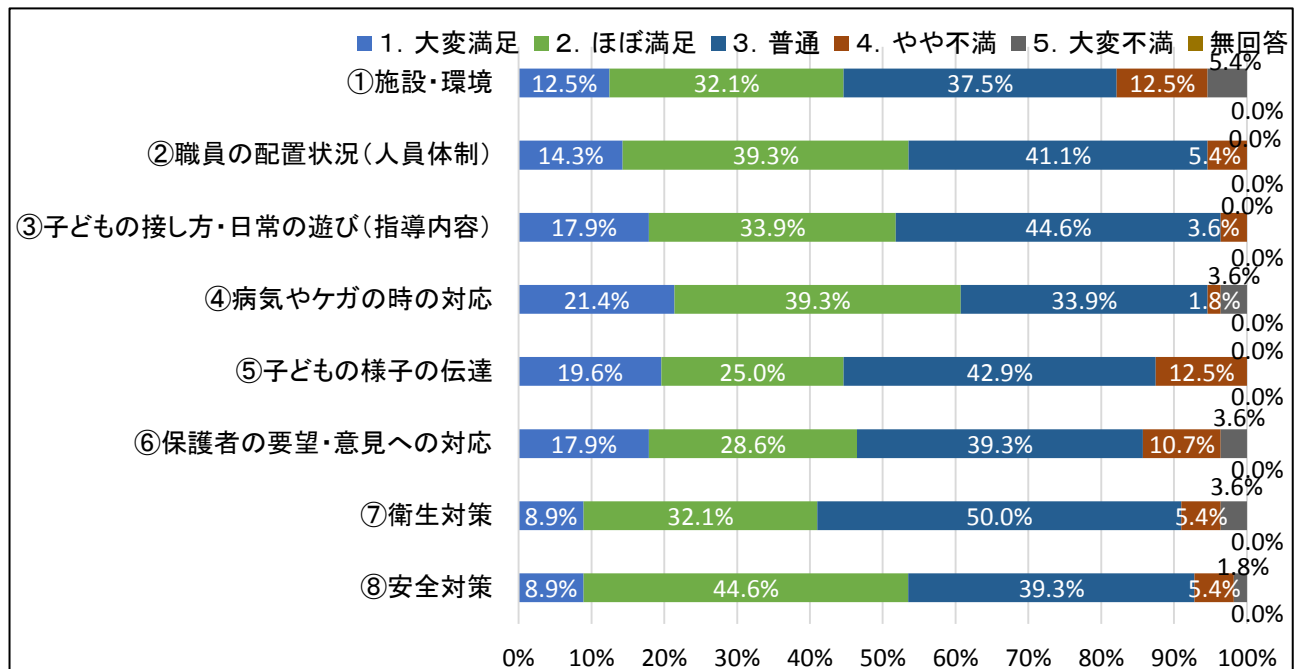
区分	満足(大変満足、ほぼ満足)			不満(やや不満、大変不満)		
	H27(%)	H22(%)	H27-H22	H27(%)	H22(%)	H27-H22
①施設・環境	54.1%	44.0%	10.1%	14.1%	21.6%	-7.5%
②職員の配置状況(人員体制)	53.4%	49.8%	3.6%	11.1%	8.4%	2.7%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	57.0%	50.9%	6.1%	5.9%	16.8%	-10.9%
④病気やケガの時の対応	50.4%	47.1%	3.3%	4.5%	5.9%	-1.4%
⑤子どもの様子の伝達	46.7%	39.1%	7.6%	11.9%	20.5%	-8.6%
⑥保護者の要望・意見への対応	48.1%	39.6%	8.5%	7.4%	12.9%	-5.5%
⑦衛生対策	41.5%	40.2%	1.3%	8.1%	11.6%	-3.5%
⑧安全対策	44.4%	44.0%	0.4%	9.6%	11.1%	-1.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

- ◆「満足」「ほぼ満足」と回答した人が最も多かったのは、「子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)」(57.0%)であり、平成22年度(50.9%)から6.1ポイント増加している。以下「施設・環境」(54.1%)－平成22年度(44.0%)から10.1ポイント増加、「職員の配置状況(人員体制)」(53.4%)－平成22年度(49.8%)から3.6ポイント増加、「病気やケガの時の対応」(50.4%)－平成22年度(47.1%)から3.3ポイント増加などとなっている。
- ◆「やや不満」「大変不満」と回答した人の割合が多かったのは、「施設・環境」(14.1%)－平成22年度(21.6%)から7.5ポイント減少、「子どもの様子の伝達」(11.9%)－平成22年度(20.5%)から8.6ポイント減少などとなっている。

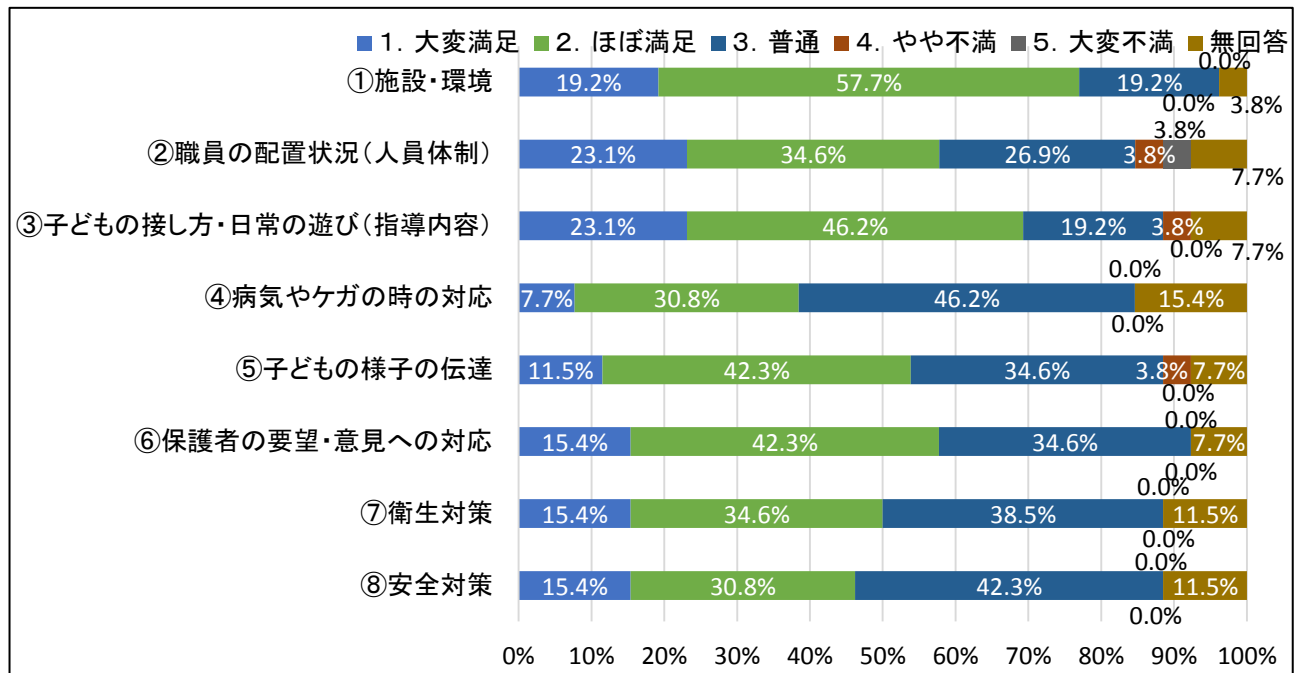
【利用しているサービス別:放課後児童会】

◆放課後児童会に通っていると回答した人56人に対する割合



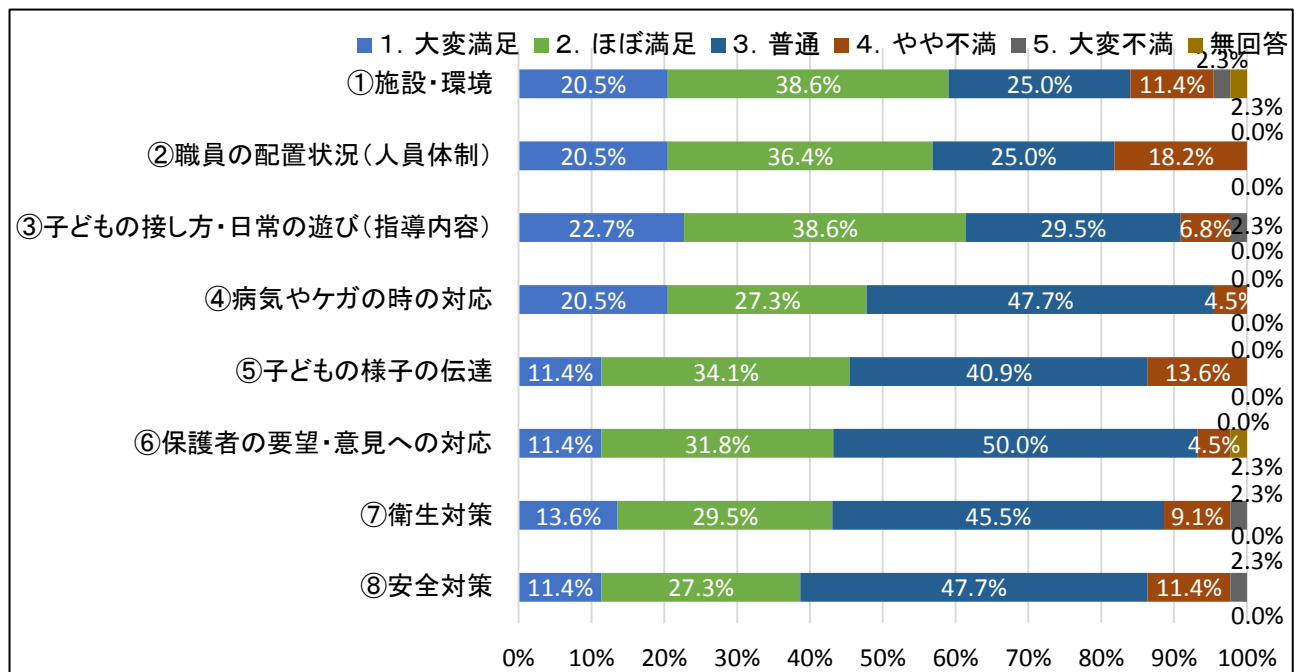
【利用しているサービス別:放課後子ども教室】

◆放課後子ども教室に通っていると回答した人26人に対する割合



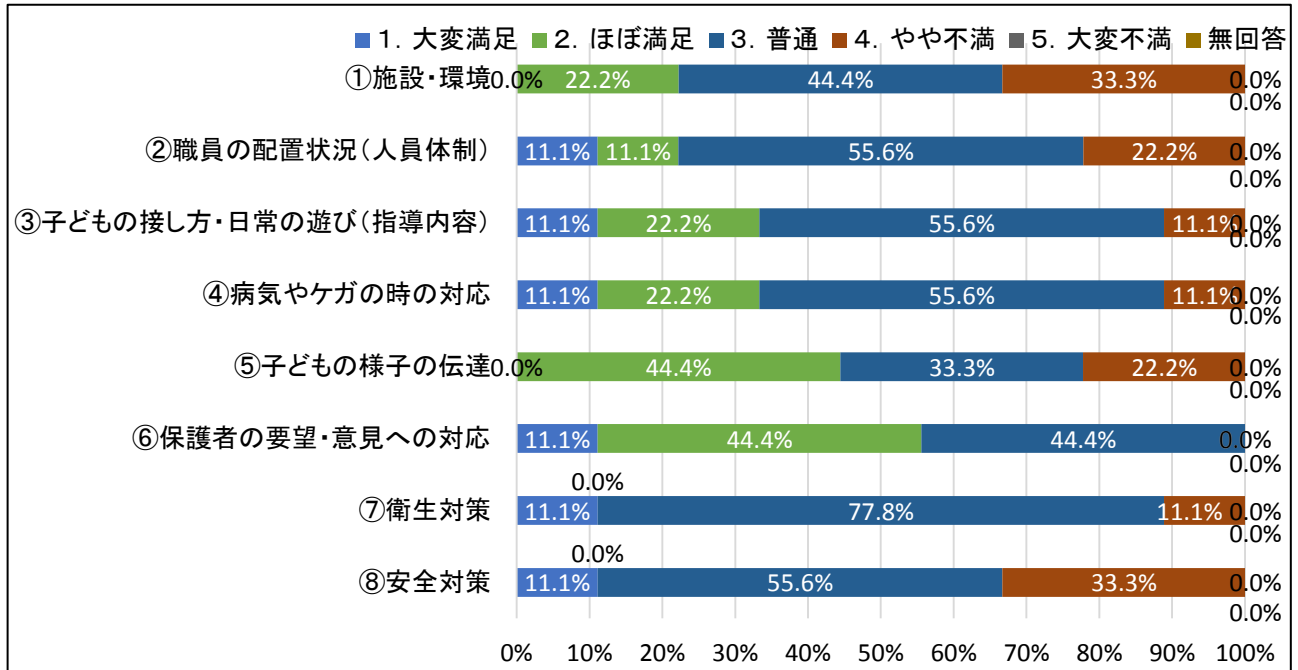
【利用しているサービス別:児童館児童室等】

◆児童館・児童室等に通っていると回答した人44人に対する割合



【利用しているサービス別:放課後等デイサービス】

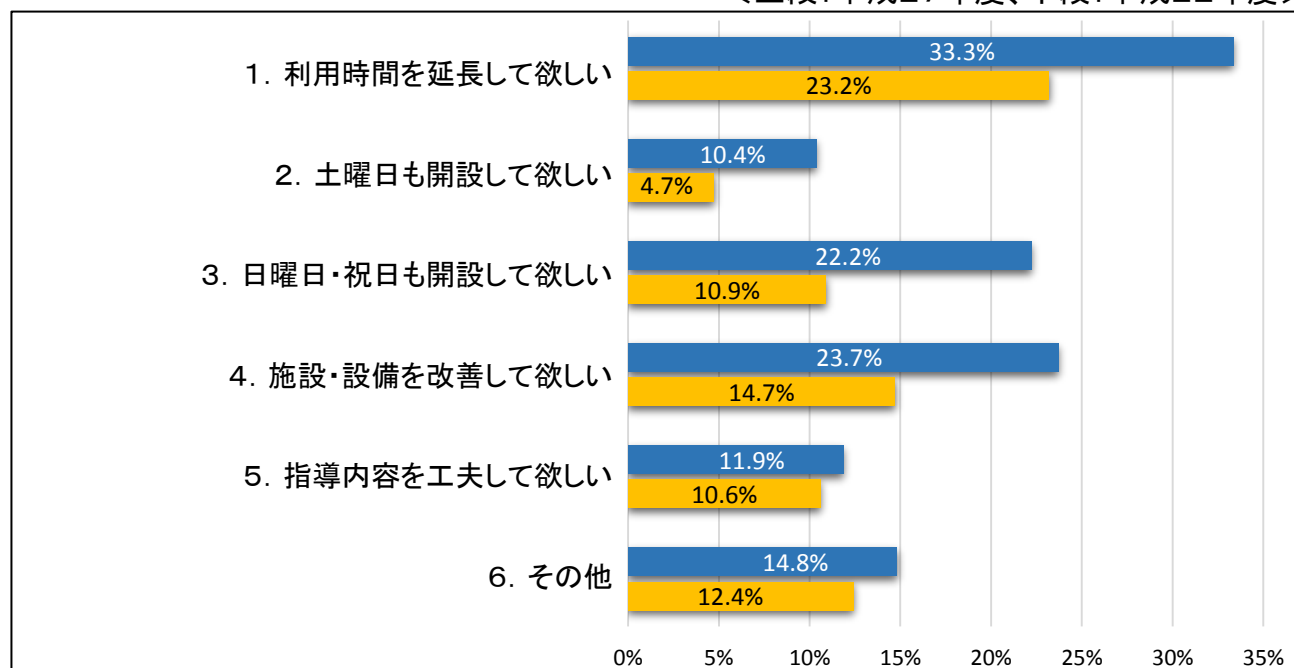
◆放課後等デイサービスに通っていると回答した人9人に対する割合



問2-3 現在、通っている放課後児童会、放課後子ども教室、児童館・児童室等、放課後等デイサービスに対してご要望があれば、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:放課後児童会等に通っていると回答した人135人に対する割合

【その他内訳】

- ・ 回数を増やして欲しい(6)
- ・ 保育時間を早くして欲しい(2)
- ・ 職員の子ども、保護者に対する態度、言葉に気を付けて欲しい(3)
- ・ 職員の数を増やして欲しい。大変そうに見える。(2)
- ・ 長期休暇に体育館や校庭、プールを使用可能にして欲しい(2)
- ・ 遊具等で外遊びができるようにして欲しい。
- ・ 昼寝もできるようにして欲しい
- ・ 現在3年生まで利用可能なので、4年生以上の対応もお願いしたい。
- ・ カーペットが不衛生。クリーニング、買い替え等して欲しい
- ・ 用事で外に中抜けしても戻れるようにして欲しい
- ・ 学校から放課後デイサービスへ送迎して欲しい
- ・ 職員が変わる時は新しい先生の名前を教えてほしい。
- ・ 連絡時は職場に連絡を欲しいと伝えているが、携帯に連絡が来るので就業外でないと確認ができない。
- ・ 付近の道路が一方通行で狭く、冬も大変で利用しなくなった。

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 利用時間を延長して欲しい	33.3%	23.2%	10.1%
2. 土曜日も開設して欲しい	10.4%	4.7%	5.7%
3. 日曜日・祝日も開設して欲しい	22.2%	10.9%	11.3%
4. 施設・設備を改善して欲しい	23.7%	14.7%	9.0%
5. 指導内容を工夫して欲しい	11.9%	10.6%	1.3%
6. その他	14.8%	12.4%	2.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「利用時間を延長して欲しい」(33.3%)と回答した人が最も多く、平成22年度(23.2%)から10.1ポイント増加している。以下「施設・設備を改善して欲しい」(23.7%)－平成22年度(14.7%)から9.0ポイント増加－、「日曜日・祝日も開設して欲しい」(22.2%)－平成22年度(10.9%)から11.3ポイント増加－などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 利用時間を延長して欲しい	38.0%	28.1%
2. 土曜日も開設して欲しい	9.9%	10.9%
3. 日曜日・祝日も開設して欲しい	28.2%	15.6%
4. 施設・設備を改善して欲しい	22.5%	25.0%
5. 指導内容を工夫して欲しい	16.9%	6.3%
6. その他	12.7%	17.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

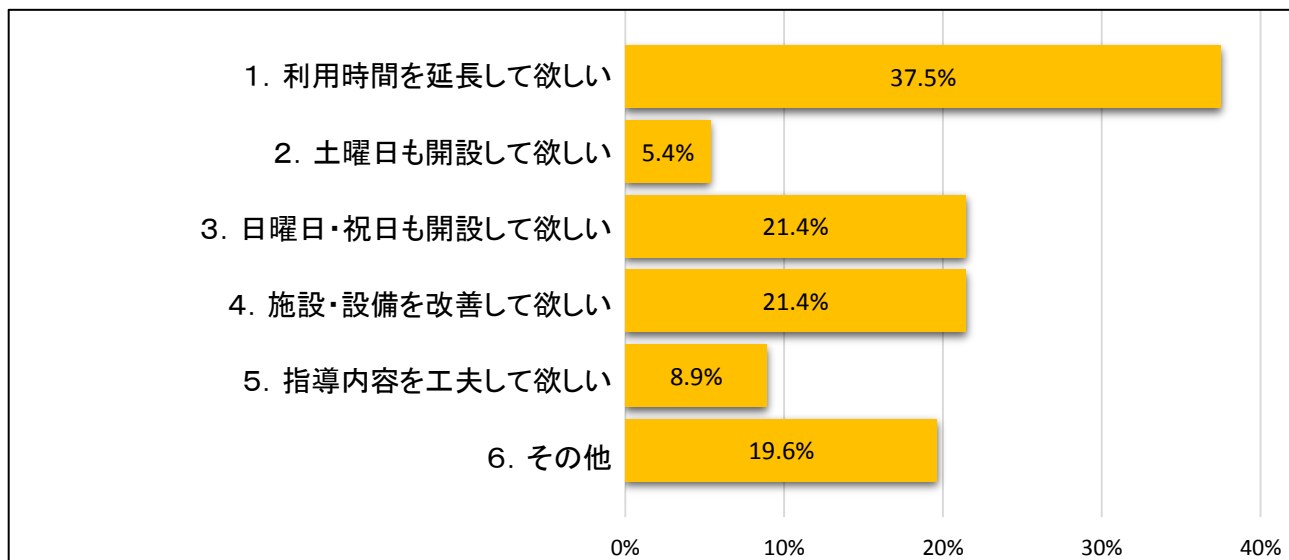
【子どもの学年別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 利用時間を延長して欲しい	33.3%	32.4%	32.6%	41.7%	36.4%	22.2%
2. 土曜日も開設して欲しい	8.3%	2.9%	11.6%	0.0%	27.3%	22.2%
3. 日曜日・祝日も開設して欲しい	37.5%	11.8%	18.6%	16.7%	36.4%	22.2%
4. 施設・設備を改善して欲しい	12.5%	32.4%	25.6%	8.3%	18.2%	33.3%
5. 指導内容を工夫して欲しい	12.5%	11.8%	16.3%	0.0%	9.1%	11.1%
6. その他	16.7%	14.7%	20.9%	8.3%	0.0%	11.1%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

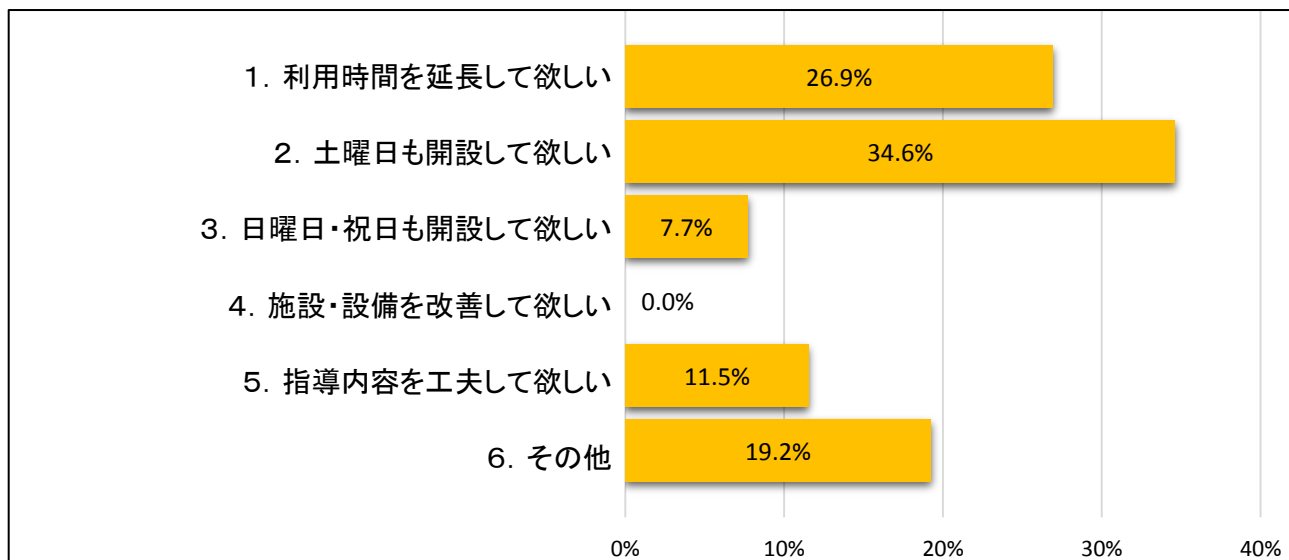
【利用しているサービス別:放課後児童会】

◆放課後児童会に通っていると回答した人56人に対する割合



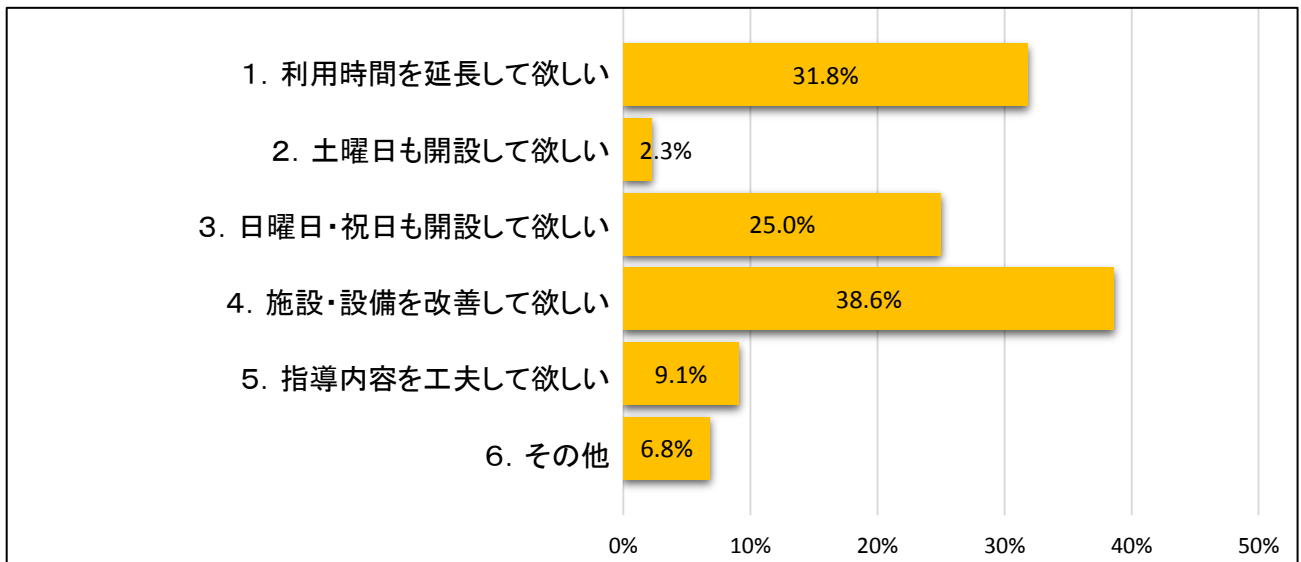
【利用しているサービス別:放課後子ども教室】

◆放課後子ども教室に通っていると回答した人26人に対する割合



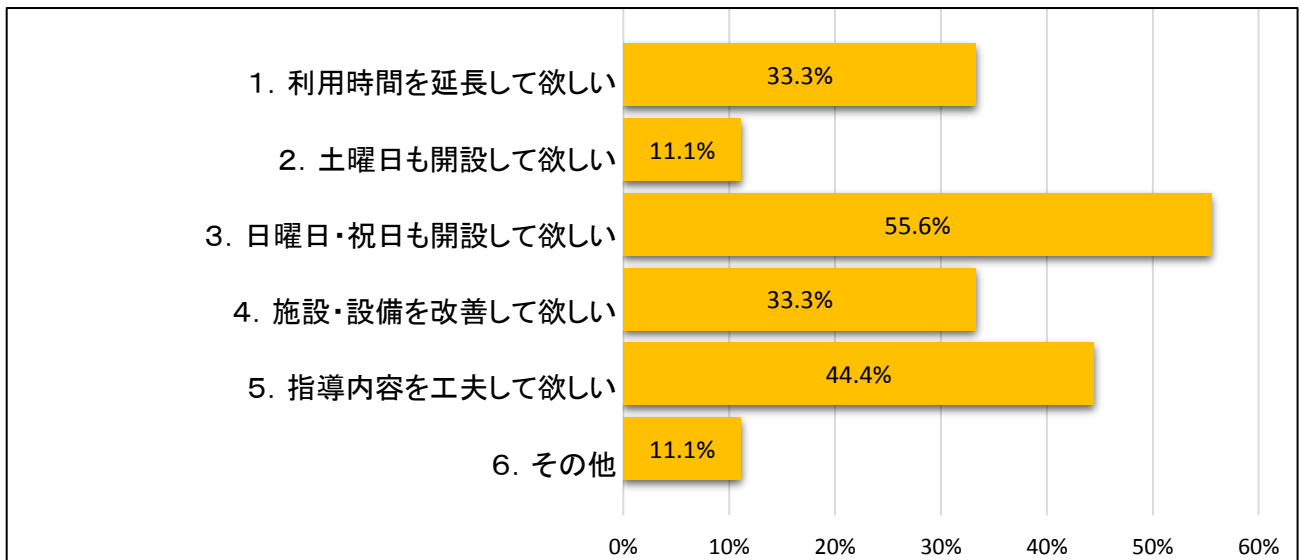
【利用しているサービス別:児童館・児童室等】

◆児童館・児童室等に通っていると回答した人44人に対する割合



【利用しているサービス別:放課後等デイサービス】

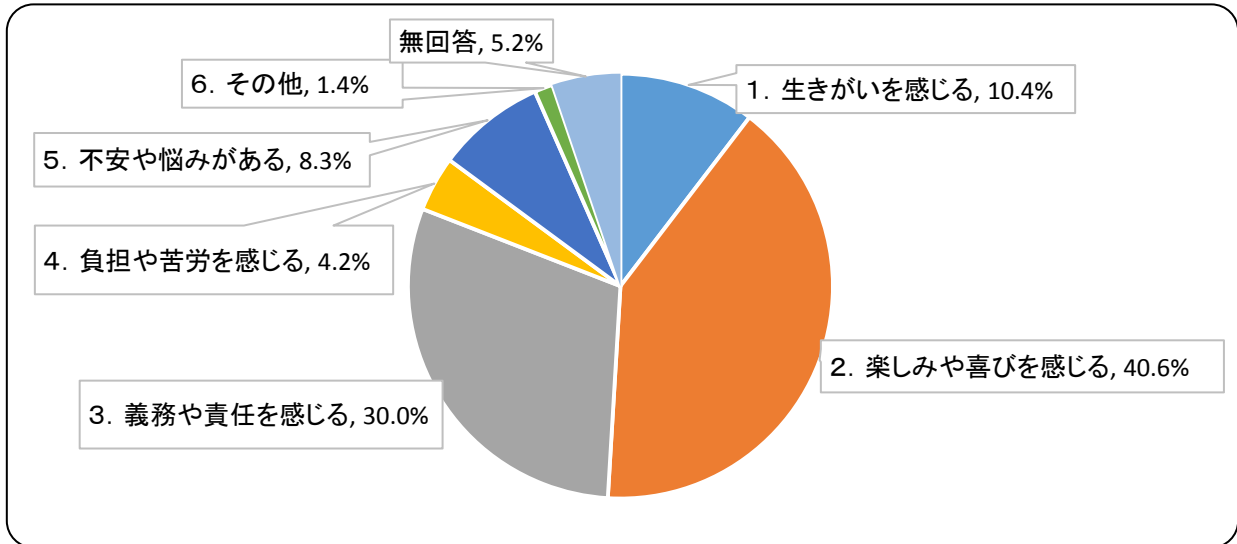
◆放課後等デイサービスに通っていると回答した人9人に対する割合



Ⅲ 子育てについてお伺いします。

問3-1 あなたはお子さんを育てることについて、どのように感じていますか。強く感じることを1つに○をつけてください。

【全体】



【その他内訳】

- ・ 悩みも多々あるが喜びも多々ある。
- ・ 楽しみや喜びを感じるが不安や悩みがある
- ・ 喜びと責任を感じる
- ・ 全部あてはまる
- ・ 子育ても仕事も充実しているが、仕事が忙しすぎて健康面が心配だ。
- ・ 私の年齢

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 生きがいを感じる	10.4%	10.1%	0.3%
2. 楽しみや喜びを感じる	40.6%	48.5%	-7.9%
3. 義務や責任を感じる	30.0%	26.7%	3.3%
4. 負担や苦勞を感じる	4.2%	1.9%	2.3%
5. 不安や悩みがある	8.3%	7.6%	0.7%
6. その他	1.4%	0.8%	0.6%
無回答	5.2%	4.4%	0.8%
計	100.0%	100.0%	-

◆「楽しみや喜びを感じる」(40.6%)と回答した人が最も多く、平成22年度(48.5%)から7.9ポイント減少している。以下「義務や責任を感じる」(30.0%)－平成22年度(26.7%)から3.3ポイント増加、「生きがいを感じる」(10.4%)－平成22年度(10.1%)から0.3ポイント増加などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 生きがいを感じる	9.0%	12.0%
2. 楽しみや喜びを感じる	38.3%	43.0%
3. 義務や責任を感じる	31.1%	28.5%
4. 負担や苦勞を感じる	4.1%	4.5%
5. 不安や悩みがある	9.5%	7.0%
6. その他	1.4%	1.5%
無回答	6.8%	3.5%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位2項目を表す。

【子どもの学年別】

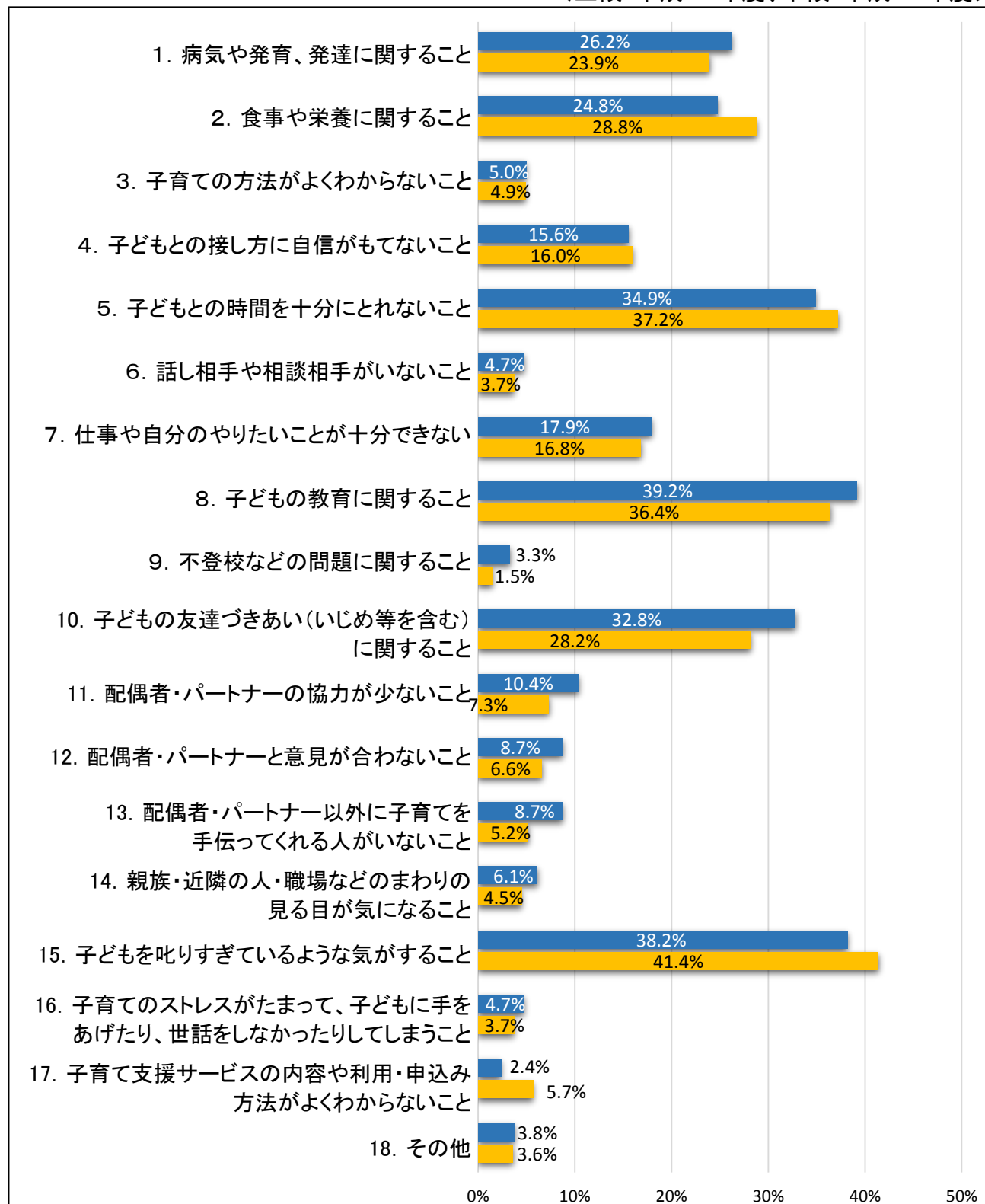
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 生きがいを感じる	10.3%	4.7%	14.6%	13.4%	11.0%	7.8%
2. 楽しみや喜びを感じる	39.7%	46.9%	36.6%	41.8%	41.1%	39.0%
3. 義務や責任を感じる	29.3%	28.1%	30.5%	31.3%	24.7%	33.8%
4. 負担や苦勞を感じる	6.9%	6.3%	4.9%	1.5%	4.1%	2.6%
5. 不安や悩みがある	8.6%	6.3%	8.5%	9.0%	9.6%	7.8%
6. その他	1.7%	3.1%	1.2%	0.0%	1.4%	1.3%
無回答	3.4%	4.7%	3.7%	3.0%	8.2%	7.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位2項目を表す。

問3-2 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ アトピーやアレルギー(2)
- ・ 金銭的な事(2)
- ・ 家庭環境について(2)
- ・ おちつきがない事。身だしなみがうまく出来ない事。
- ・ 携帯端末などの通信機器について
- ・ 母が特に子育てをしているが、病気(うつ病)でちゃんと子育てができていないか不安。
- ・ 中学校教諭のため仕事が忙しく、自分の子どもと接する時間が少ないことが悩み。
- ・ 頼れるパートナーがいると子育てがスムーズに進む気がします。
- ・ 学校での先生、友人との環境(2)
- ・ 子供の友達の親に対しての接し方(2)

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 病気や発育、発達に関する事	26.2%	23.9%	2.3%
2. 食事や栄養に関する事	24.8%	28.8%	-4.0%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	5.0%	4.9%	0.1%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	15.6%	16.0%	-0.4%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	34.9%	37.2%	-2.3%
6. 話し相手や相談相手がいないこと	4.7%	3.7%	1.0%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	17.9%	16.8%	1.1%
8. 子どもの教育に関する事	39.2%	36.4%	2.8%
9. 不登校などの問題に関する事	3.3%	1.5%	1.8%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関する事	32.8%	28.2%	4.6%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	10.4%	7.3%	3.1%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	8.7%	6.6%	2.1%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	8.7%	5.2%	3.5%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になること	6.1%	4.5%	1.6%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする事	38.2%	41.4%	-3.2%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	4.7%	3.7%	1.0%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	2.4%	5.7%	-3.3%
18. その他	3.8%	3.6%	0.2%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「子供の教育に関する事」(39.2%)と回答した人が最も多く、平成22年度(36.4%)から2.8ポイント増加している。以下「子どもを叱りすぎているような気がする事」(38.2%)ー平成22年度(41.4%)から3.2ポイント減少ー、「子どもとの時間を十分にとれないこと」(34.9%)ー平成22年度(37.2%)から2.3ポイント減少ー、「子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関する事」(32.8%)ー平成22年度(28.2%)から4.6ポイント増加ー、「病気や発育、発達に関する事」(26.2%)ー平成22年度(23.9%)から2.3ポイント増加ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 病気や発育、発達に関すること	32.4%	19.0%
2. 食事や栄養に関すること	27.5%	22.0%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	5.9%	4.0%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	13.5%	18.0%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	36.0%	33.5%
6. 話し相手や相談相手がいないこと	4.1%	5.5%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	17.1%	19.0%
8. 子どもの教育に関すること	37.8%	41.0%
9. 不登校などの問題に関すること	3.2%	3.5%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること	28.8%	37.0%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	11.7%	9.0%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	8.6%	9.0%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	7.7%	10.0%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見る目が気になること	9.0%	3.0%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする	41.4%	35.0%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	6.3%	3.0%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	1.4%	3.5%
18. その他	4.1%	3.5%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの学年別】

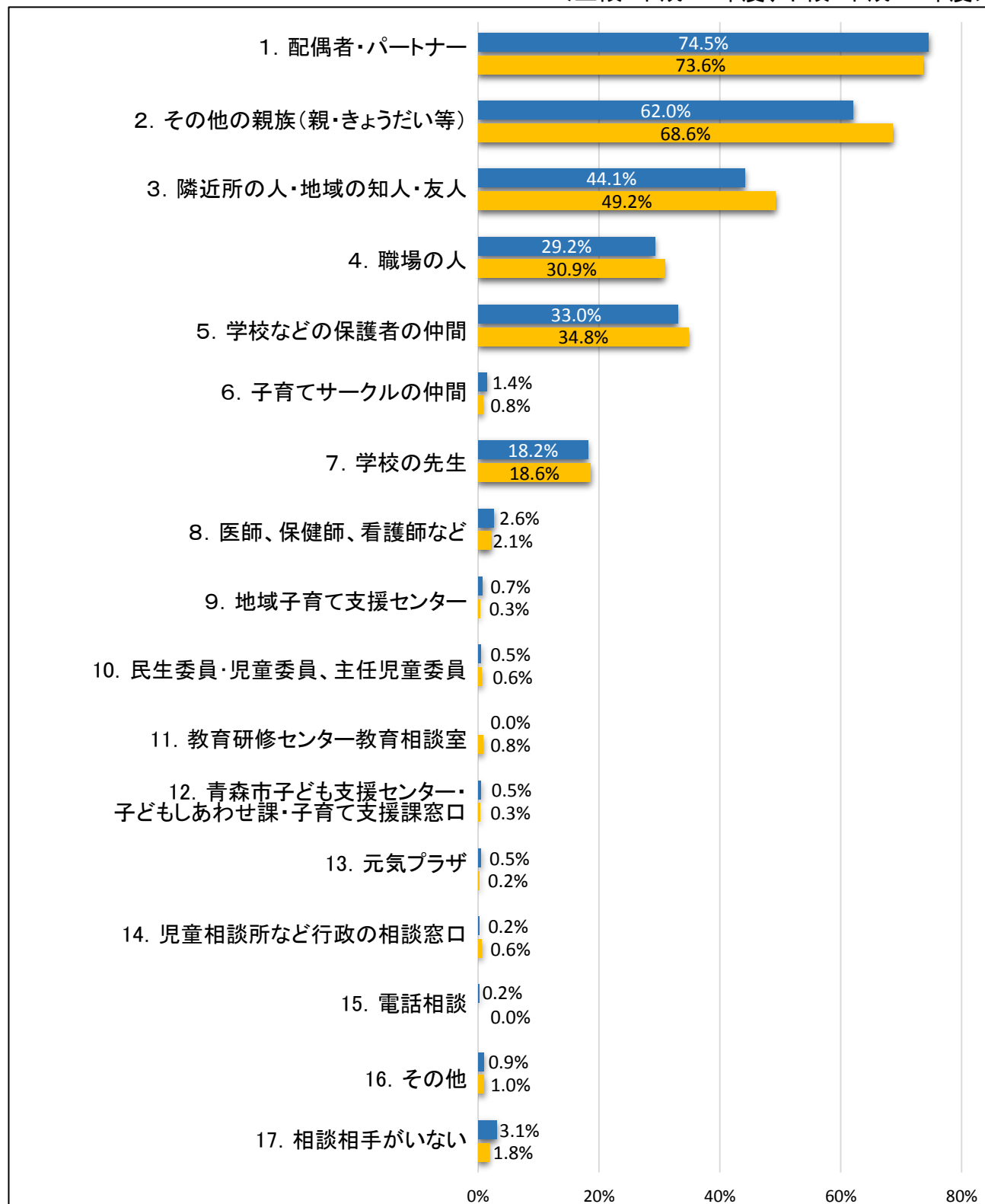
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 病気や発育、発達に関すること	24.1%	28.1%	26.8%	25.4%	24.7%	27.3%
2. 食事や栄養に関すること	27.6%	25.0%	23.2%	26.9%	16.4%	31.2%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	5.2%	3.1%	7.3%	6.0%	4.1%	3.9%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	19.0%	18.8%	11.0%	19.4%	11.0%	16.9%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	31.0%	35.9%	45.1%	29.9%	32.9%	32.5%
6. 話し相手や相談相手がいないこと	3.4%	4.7%	8.5%	3.0%	1.4%	6.5%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	27.6%	17.2%	18.3%	11.9%	12.3%	20.8%
8. 子どもの教育に関すること	37.9%	40.6%	29.3%	47.8%	43.8%	39.0%
9. 不登校などの問題に関すること	3.4%	3.1%	1.2%	6.0%	2.7%	3.9%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること	36.2%	32.8%	23.2%	49.3%	30.1%	27.3%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	8.6%	10.9%	13.4%	10.4%	12.3%	6.5%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	12.1%	7.8%	8.5%	7.5%	8.2%	9.1%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	8.6%	10.9%	11.0%	6.0%	9.6%	5.2%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になること	6.9%	14.1%	8.5%	6.0%	1.4%	1.3%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする	46.6%	48.4%	46.3%	31.3%	37.0%	22.1%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	8.6%	3.1%	7.3%	6.0%	4.1%	0.0%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	5.2%	1.6%	2.4%	3.0%	1.4%	1.3%
18. その他	3.4%	3.1%	2.4%	4.5%	5.5%	3.9%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

問3-3 身近な地域で、子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ デイサービスの職員
- ・ 自分の元担任だった先生
- ・ 相談の仕方がわからない時もあります。

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 配偶者・パートナー	74.5%	73.6%	0.9%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	62.0%	68.6%	-6.6%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	44.1%	49.2%	-5.1%
4. 職場の人	29.2%	30.9%	-1.7%
5. 学校などの保護者の仲間	33.0%	34.8%	-1.8%
6. 子育てサークルの仲間	1.4%	0.8%	0.6%
7. 学校の先生	18.2%	18.6%	-0.4%
8. 医師、保健師、看護師など	2.6%	2.1%	0.5%
9. 地域子育て支援センター	0.7%	0.3%	0.4%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.5%	0.6%	-0.1%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.8%	-0.8%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	0.5%	0.3%	0.2%
13. 元気プラザ	0.5%	0.2%	0.3%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.2%	0.6%	-0.4%
15. 電話相談	0.2%	0.0%	0.2%
16. その他	0.9%	1.0%	-0.1%
17. 相談相手がいない	3.1%	1.8%	1.3%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「配偶者・パートナー」(74.5%)と回答した人が最も多く、平成22年度(73.6%)から0.9ポイント増加している。以下「その他の親族(親・きょうだい等)」(62.0%)と回答した人が多く、平成22年度(68.6%)から6.6ポイント減少、「隣近所の人・地域の知人・友人」(44.1%)ー平成22年度(49.2%)から5.1ポイント減少、「学校などの保護者の仲間」(33.0%)ー平成22年度(34.8%)から1.8ポイント減少、「職場の人」(29.2%)ー平成22年度(30.9%)から1.7ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 配偶者・パートナー	74.8%	74.5%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	64.4%	60.0%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	42.8%	46.0%
4. 職場の人	30.6%	28.0%
5. 学校などの保護者の仲間	34.2%	32.0%
6. 子育てサークルの仲間	1.4%	1.5%
7. 学校の先生	21.2%	15.0%
8. 医師、保健師、看護師など	3.2%	2.0%
9. 地域子育て支援センター	0.5%	1.0%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.0%	1.0%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.0%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	0.9%	0.0%
13. 元気プラザ	0.5%	0.5%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.0%	0.5%
15. 電話相談	0.5%	0.0%
16. その他	1.4%	0.5%
17. 相談相手がいない	3.6%	2.5%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの学年別】

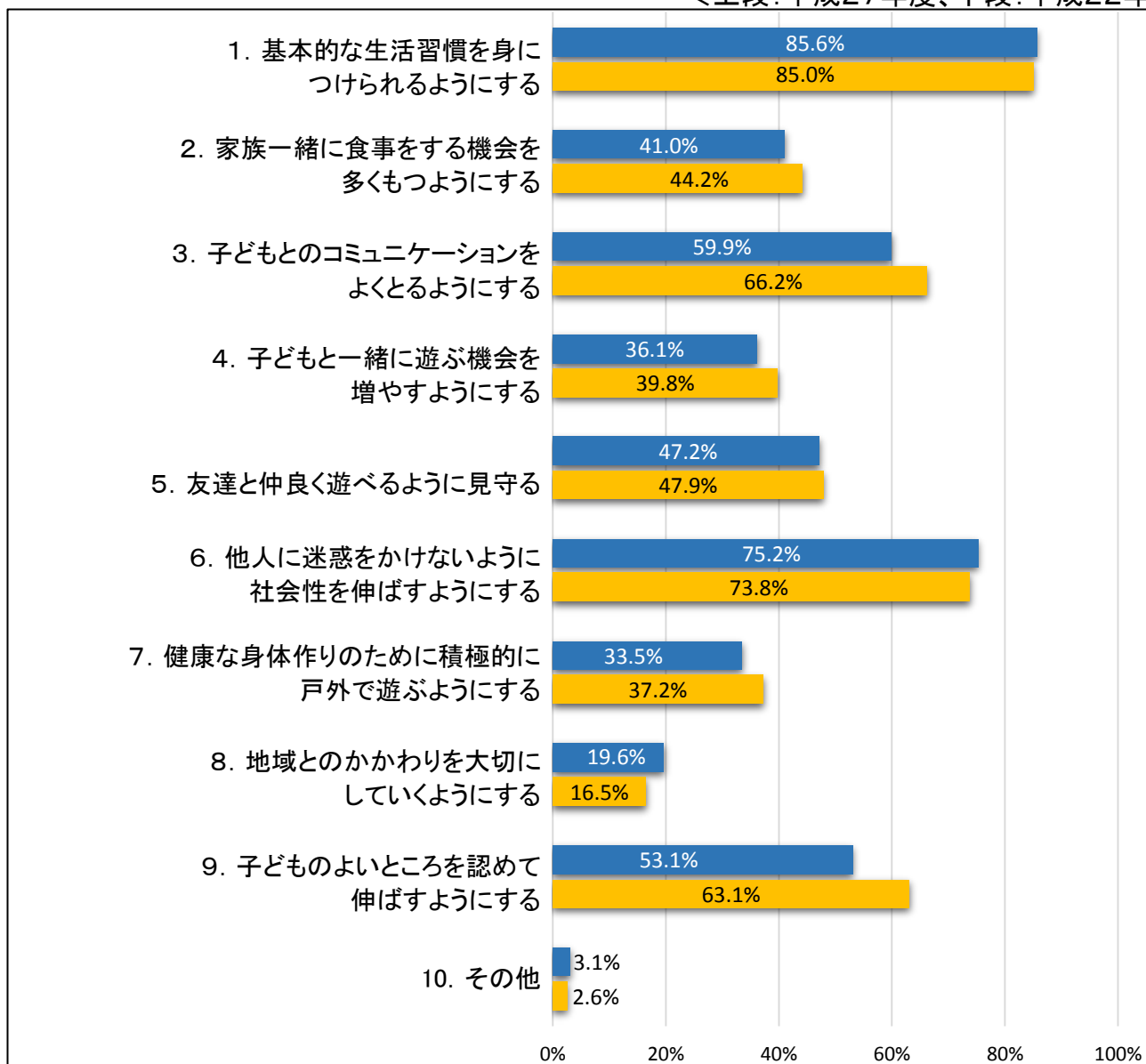
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 配偶者・パートナー	81.0%	79.7%	69.5%	71.6%	76.7%	71.4%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	75.9%	68.8%	64.6%	55.2%	57.5%	54.5%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	60.3%	39.1%	51.2%	40.3%	37.0%	40.3%
4. 職場の人	24.1%	39.1%	25.6%	26.9%	26.0%	33.8%
5. 学校などの保護者の仲間	24.1%	31.3%	35.4%	31.3%	37.0%	37.7%
6. 子育てサークルの仲間	1.7%	0.0%	3.7%	0.0%	1.4%	1.3%
7. 学校の先生	22.4%	18.8%	14.6%	20.9%	15.1%	19.5%
8. 医師、保健師、看護師など	0.0%	3.1%	4.9%	1.5%	1.4%	3.9%
9. 地域子育て支援センター	0.0%	1.6%	1.2%	1.5%	0.0%	0.0%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.3%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.3%
13. 元気プラザ	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
15. 電話相談	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
16. その他	0.0%	0.0%	1.2%	1.5%	1.4%	1.3%
17. 相談相手がない	3.4%	3.1%	4.9%	3.0%	0.0%	3.9%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

問3-4 あなたのご家庭では、お子さんを育てていくうえで、どのようなことを心がけていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 子どもの自主性を尊重しようと心がけている(3)
- ・ あぶない、他人に迷惑をかける以外は本人のやる気を尊重し、見守るようにしている
- ・ 子どもの「元気」を抑えないように何でも体験させ見守る
- ・ 礼儀やきまりを守るようにする(3)
- ・ 人にされて嫌な事はしてはダメ
- ・ 困った大人にならないようにする
- ・ 挨拶、お礼が出来るようにする(2)
- ・ 大人との会話ができない子供が増えているような気がします。なるべく近所の人と挨拶をするように言っています
- ・ 大きい声でできるように
- ・ 事故に気をつけるようにする
- ・ 無農薬食材、極力添加物を控えるよう心がけている。地物で手料理で努力している
- ・ 悪口を言ったりせず、他人の良い部分を見付けられるよう思いやりの気持ちを育むようにする
- ・ 手伝いなどしてくれたとき他、なんでもありがとうと言うようにする
- ・ 伸び伸び育てられる環境を整えられたらいいと思っている

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 基本的な生活習慣を身につけられるようにする	85.6%	85.0%	0.6%
2. 家族一緒に食事をする機会を多くもつようにする	41.0%	44.2%	-3.2%
3. 子どもとのコミュニケーションをよくとるようにする	59.9%	66.2%	-6.3%
4. 子どもと一緒に遊ぶ機会を増やすようにする	36.1%	39.8%	-3.7%
5. 友達と仲良く遊べるように見守る	47.2%	47.9%	-0.7%
6. 他人に迷惑をかけないように社会性を伸ばすようにする	75.2%	73.8%	1.4%
7. 健康な身体作りのために積極的に戸外で遊ぶようにする	33.5%	37.2%	-3.7%
8. 地域とのかかわりを大切にしていこうにする	19.6%	16.5%	3.1%
9. 子どものよいところを認めて伸ばすようにする	53.1%	63.1%	-10.0%
10. その他	3.1%	2.6%	0.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「基本的な生活習慣を身につけられるようにする」(85.6%)と回答した人が最も多く、平成22年度(85.0%)から0.6ポイント増加している。以下「他人に迷惑をかけないように社会性を伸ばすようにする」(75.2%)－平成22年度(73.8%)から1.4ポイント増加－、「子どもとのコミュニケーションをよくとるようにする」(59.9%)－平成22年度(66.2%)から6.3ポイント減少－などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 基本的な生活習慣を身につけられるようにする	82.4%	89.0%
2. 家族一緒に食事をする機会を多くもつようにする	41.0%	40.5%
3. 子どもとのコミュニケーションをよくとるようにする	58.1%	62.0%
4. 子どもと一緒に遊ぶ機会を増やすようにする	36.0%	36.5%
5. 友達と仲良く遊べるように見守る	43.7%	51.0%
6. 他人に迷惑をかけないように社会性を伸ばすようにする	73.9%	77.0%
7. 健康な身体作りのために積極的に戸外で遊ぶようにする	34.7%	32.0%
8. 地域とのかかわりを大切にしていこうにする	18.0%	21.5%
9. 子どものよいところを認めて伸ばすようにする	52.3%	54.5%
10. その他	4.1%	2.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの学年別】

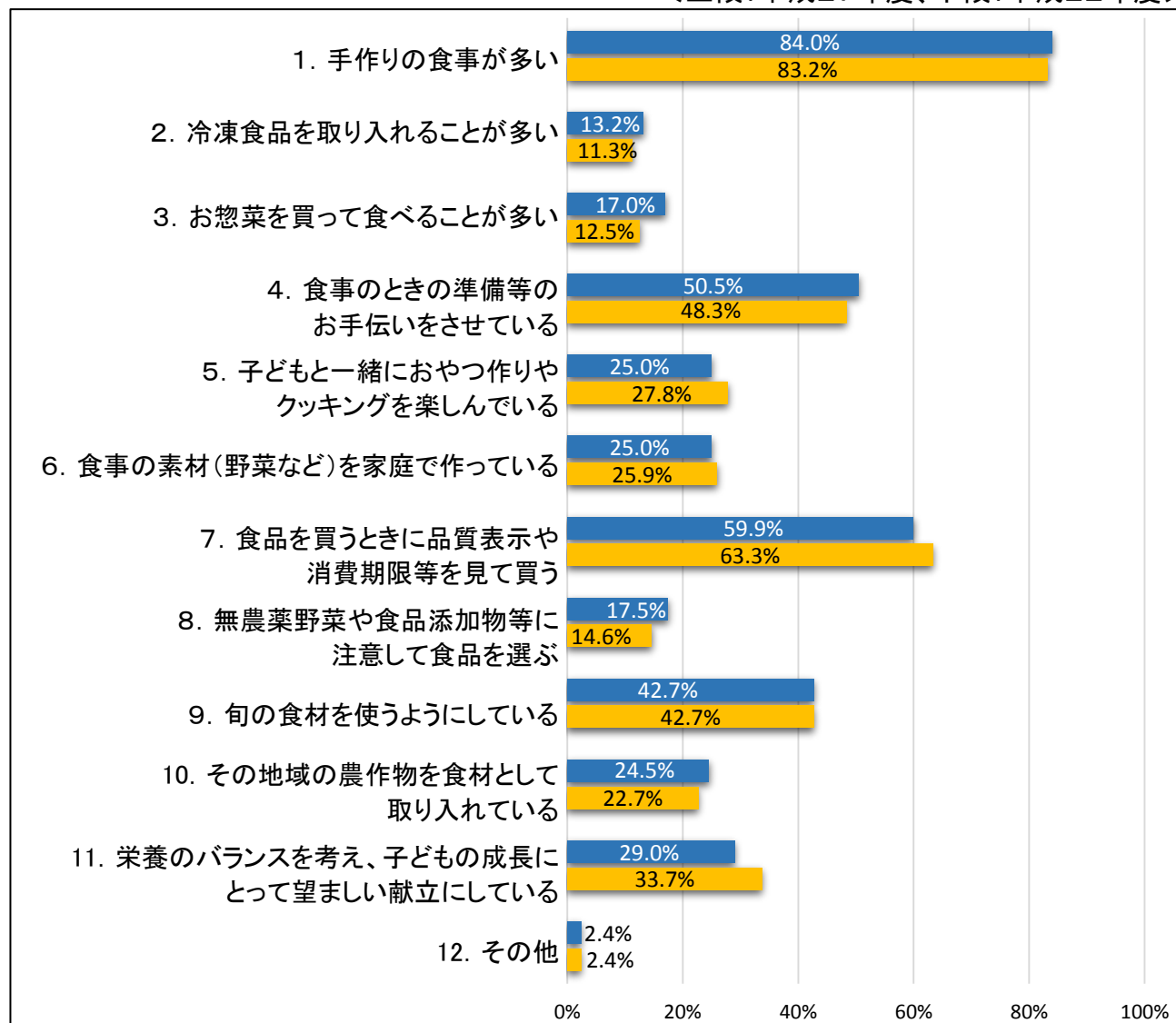
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 基本的な生活習慣を身につけられるようにする	82.8%	81.3%	90.2%	83.6%	90.4%	83.1%
2. 家族一緒に食事をする機会を多くもつようにする	36.2%	39.1%	47.6%	32.8%	43.8%	42.9%
3. 子どもとのコミュニケーションをよくとるようにする	62.1%	57.8%	61.0%	52.2%	64.4%	59.7%
4. 子どもと一緒に遊ぶ機会を増やすようにする	56.9%	35.9%	41.5%	31.3%	23.3%	31.2%
5. 友達と仲良く遊べるように見守る	60.3%	39.1%	52.4%	50.7%	39.7%	41.6%
6. 他人に迷惑をかけないように社会性を伸ばすようにする	72.4%	67.2%	73.2%	79.1%	84.9%	74.0%
7. 健康な身体作りのために積極的に戸外で遊ぶようにする	46.6%	37.5%	37.8%	23.9%	30.1%	27.3%
8. 地域とのかかわりを大切にしていこうにする	24.1%	20.3%	25.6%	9.0%	16.4%	22.1%
9. 子どものよいところを認めて伸ばすようにする	55.2%	54.7%	52.4%	49.3%	56.2%	51.9%
10. その他	3.4%	3.1%	4.9%	0.0%	4.1%	2.6%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

問3-5 あなたのご家庭での食事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ アレルギーがあるので気を付けている(2)
- ・ アレルギーに対応した調味料、食品を探し使用している
- ・ お惣菜をたまに買って食べる
- ・ 忙しいので外食もよく利用する
- ・ 平日の朝ごはんは必ずごはん、土日の朝はパン食でOKにしている
- ・ メニューが給食とかぶらないようにする
- ・ 郷土料理などを作り、青森県の名前を覚えさせるようにしている
- ・ 他の方が作ってくれている
- ・ 宗教上の理由で豚肉とアルコールはダメ
- ・ 手作りとバランスに注意しようと思うが時間が無くてなかなか

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 手作りの食事が多い	84.0%	83.2%	0.8%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	13.2%	11.3%	1.9%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	17.0%	12.5%	4.5%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	48.3%	50.5%	-2.2%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	25.0%	27.8%	-2.8%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	25.0%	25.9%	-0.9%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	59.9%	63.3%	-3.4%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	17.5%	14.6%	2.9%
9. 旬の食材を使うようにしている	42.7%	42.7%	0.0%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	24.5%	22.7%	1.8%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	29.0%	33.7%	-4.7%
12. その他	2.4%	2.4%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「手作りの食事が多い」(84.0%)と回答した人が最も多く、平成22年度(83.2%)から0.8ポイント増加している。以下「食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う」(59.9%)ー平成22年度(63.3%)から3.4ポイント減少ー、「食事のときの準備等のお手伝いをさせている」(48.3%)ー平成22年度(50.5%)から2.2ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 手作りの食事が多い	82.4%	85.5%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	14.4%	12.0%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	20.3%	13.5%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	43.7%	53.5%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	18.9%	32.0%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	23.9%	25.5%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	58.6%	62.0%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	15.8%	19.5%
9. 旬の食材を使うようにしている	41.0%	44.5%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	23.4%	26.0%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	27.9%	30.5%
12. その他	2.3%	2.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

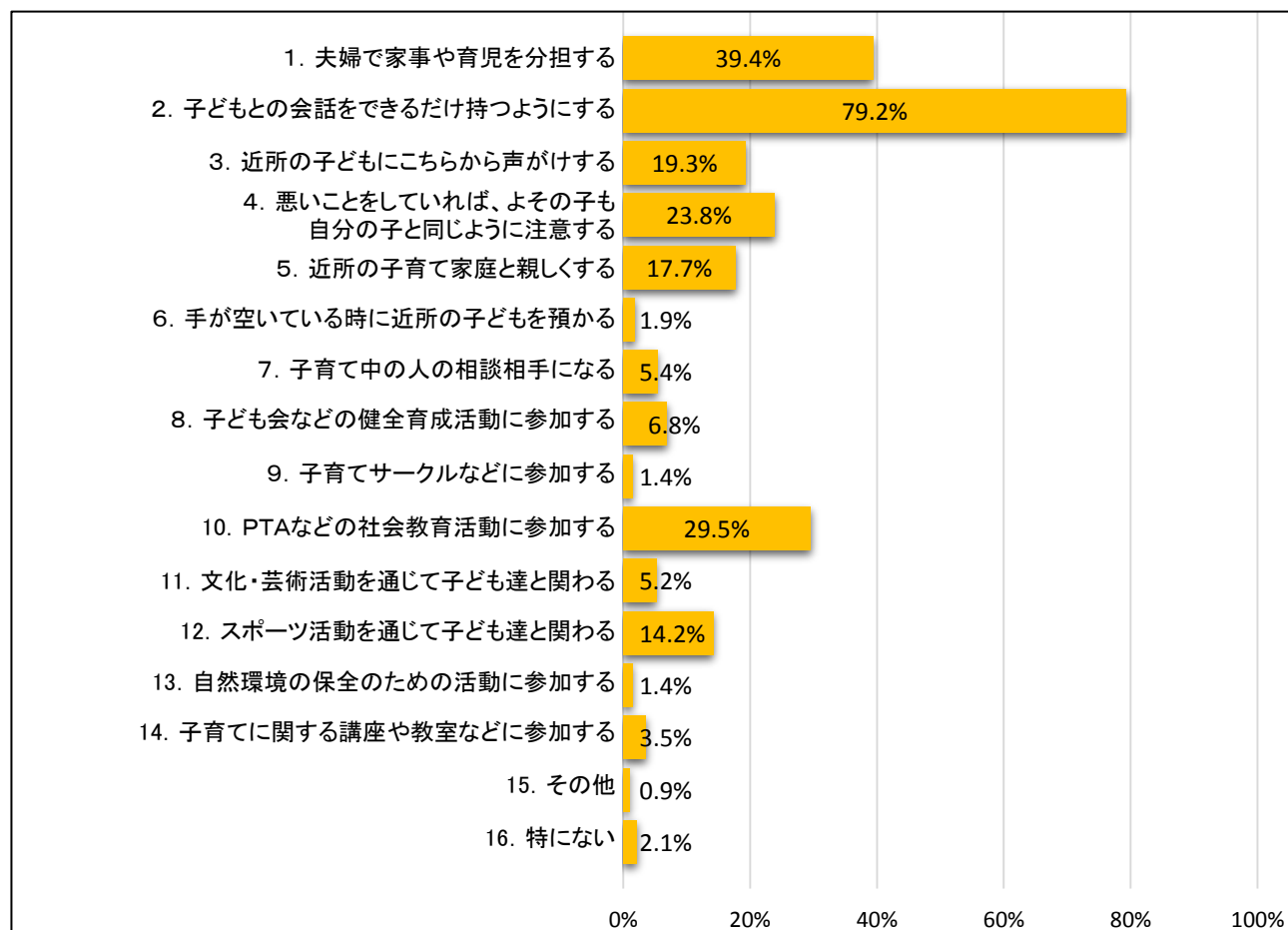
【子どもの年齢別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 手作りの食事が多い	89.7%	82.8%	87.8%	79.1%	80.8%	83.1%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	15.5%	9.4%	11.0%	9.0%	16.4%	18.2%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	15.5%	18.8%	11.0%	17.9%	21.9%	18.2%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	44.8%	43.8%	54.9%	50.7%	57.5%	37.7%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	27.6%	28.1%	23.2%	26.9%	19.2%	27.3%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	31.0%	14.1%	19.5%	23.9%	32.9%	28.6%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	58.6%	54.7%	69.5%	52.2%	58.9%	62.3%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	22.4%	10.9%	17.1%	20.9%	20.5%	14.3%
9. 旬の食材を使うようにしている	43.1%	31.3%	45.1%	41.8%	43.8%	48.1%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	27.6%	20.3%	26.8%	23.9%	27.4%	22.1%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	27.6%	26.6%	28.0%	29.9%	28.8%	33.8%
12. その他	1.7%	3.1%	2.4%	4.5%	0.0%	2.6%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

問3-6 あなたは、子どもを健やかに育むために、
 ① どのようなことを行っていますか。② 今後行ってみたいことは何ですか。
 あてはまるものをそれぞれ3つまで選んで記入欄に番号をご記入ください。

【全体:①行っていること】



※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 子の興味のある行事に積極的に参加をする
- ・ 子どもが経済的にも精神的にも自立できるように努力する
- ・ 自然(海、山、公園)に触れさせる

◆「行っていることについては、「子どもとの会話をできるだけ持つようにする」(79.2%)と回答した人が最も多く、次に「夫婦で家事や育児を分担する」(39.4%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別:①行っていること】

区分	男性	女性
1. 夫婦で家事や育児を分担する	37.8%	41.0%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	77.9%	81.0%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	14.9%	24.5%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	30.2%	16.5%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	18.5%	17.0%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	0.5%	3.5%
7. 子育て中の人との相談相手になる	5.9%	5.0%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	5.9%	8.0%
9. 子育てサークルなどに参加する	0.9%	2.0%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	25.2%	34.5%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	3.6%	7.0%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	17.6%	10.5%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	0.9%	2.0%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	4.1%	3.0%
15. その他	1.8%	0.0%
16. 特にない	2.7%	1.5%

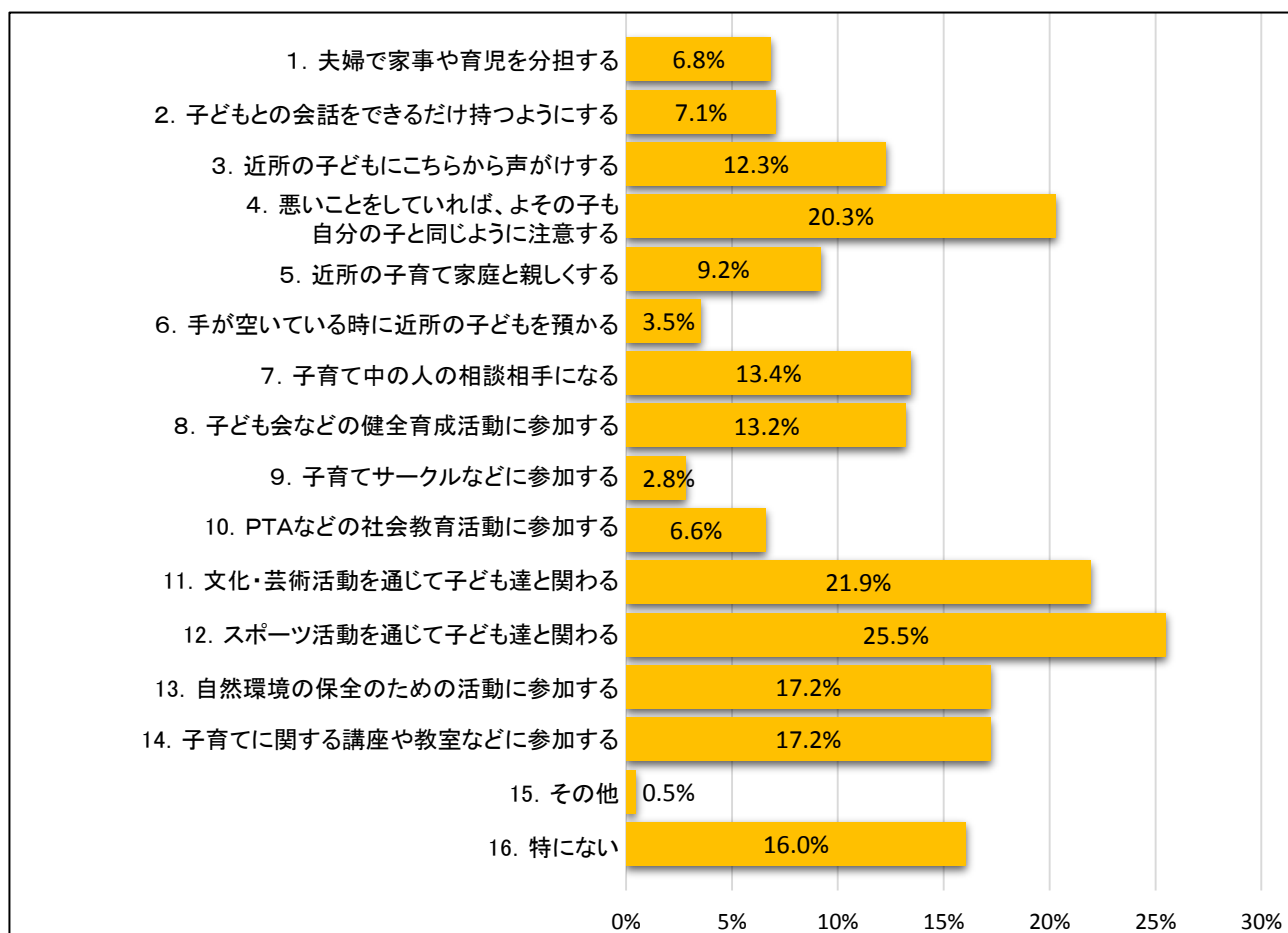
※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの学年別:①行っていること】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 夫婦で家事や育児を分担する	37.9%	43.8%	32.9%	40.3%	39.7%	42.9%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	74.1%	84.4%	76.8%	80.6%	80.8%	77.9%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	22.4%	12.5%	24.4%	19.4%	20.5%	16.9%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	25.9%	35.9%	15.9%	26.9%	17.8%	23.4%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	22.4%	18.8%	19.5%	19.4%	15.1%	11.7%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	1.7%	1.6%	1.2%	3.0%	2.7%	1.3%
7. 子育て中の人との相談相手になる	8.6%	3.1%	6.1%	7.5%	5.5%	1.3%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	8.6%	9.4%	3.7%	7.5%	8.2%	5.2%
9. 子育てサークルなどに参加する	1.7%	1.6%	3.7%	0.0%	1.4%	0.0%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	17.2%	31.3%	32.9%	29.9%	30.1%	33.8%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	6.9%	1.6%	4.9%	6.0%	2.7%	9.1%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	8.6%	9.4%	9.8%	14.9%	12.3%	28.6%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	1.7%	3.1%	0.0%	3.0%	0.0%	1.3%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	0.0%	1.6%	8.5%	4.5%	4.1%	1.3%
15. その他	0.0%	3.1%	0.0%	1.5%	1.4%	0.0%
16. 特にない	1.7%	3.1%	1.2%	1.5%	1.4%	2.6%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【全体:②今後行ってみたいこと】



※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 子どもが経済的にも精神的にも自立できるように努力する
- ・ 行ってみたいが仕事優先になり、携わる事がなかなか難しい。

◆今後行ってみたいことについては、「スポーツ活動を通じて子ども達と関わる」(25.5%)と回答した人が最も多く、次に「文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる」(21.9%)、「悪いことをしていれば、よその子ども自分の子と同じように注意する」(20.3%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別：②今後行ってみたいこと】

区分	男性	女性
1. 夫婦で家事や育児を分担する	3.6%	10.5%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	7.7%	6.5%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	13.1%	11.5%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	19.8%	21.0%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	9.0%	9.5%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	2.3%	5.0%
7. 子育て中の人との相談相手になる	13.5%	13.0%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	11.7%	15.0%
9. 子育てサークルなどに参加する	2.7%	3.0%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	9.5%	3.5%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	22.1%	22.0%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	25.2%	25.5%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	17.1%	17.5%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	17.1%	17.5%
15. その他	0.9%	0.0%
16. 特にない	18.0%	14.0%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの学年別：②今後行ってみたいこと】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 夫婦で家事や育児を分担する	6.9%	7.8%	7.3%	3.0%	11.0%	3.9%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	6.9%	14.1%	3.7%	9.0%	5.5%	5.2%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	15.5%	9.4%	18.3%	7.5%	6.8%	14.3%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	24.1%	17.2%	19.5%	17.9%	17.8%	23.4%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	19.0%	9.4%	9.8%	9.0%	4.1%	6.5%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	5.2%	3.1%	4.9%	0.0%	2.7%	5.2%
7. 子育て中の人との相談相手になる	10.3%	10.9%	12.2%	13.4%	16.4%	15.6%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	13.8%	12.5%	18.3%	10.4%	9.6%	13.0%
9. 子育てサークルなどに参加する	1.7%	9.4%	2.4%	3.0%	1.4%	0.0%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	6.9%	9.4%	4.9%	7.5%	6.8%	5.2%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	15.5%	18.8%	24.4%	22.4%	23.3%	26.0%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	29.3%	25.0%	32.9%	22.4%	23.3%	18.2%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	15.5%	9.4%	18.3%	14.9%	21.9%	22.1%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	17.2%	21.9%	18.3%	22.4%	11.0%	14.3%
15. その他	0.0%	1.6%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
16. 特にない	6.9%	14.1%	11.0%	25.4%	19.2%	19.5%

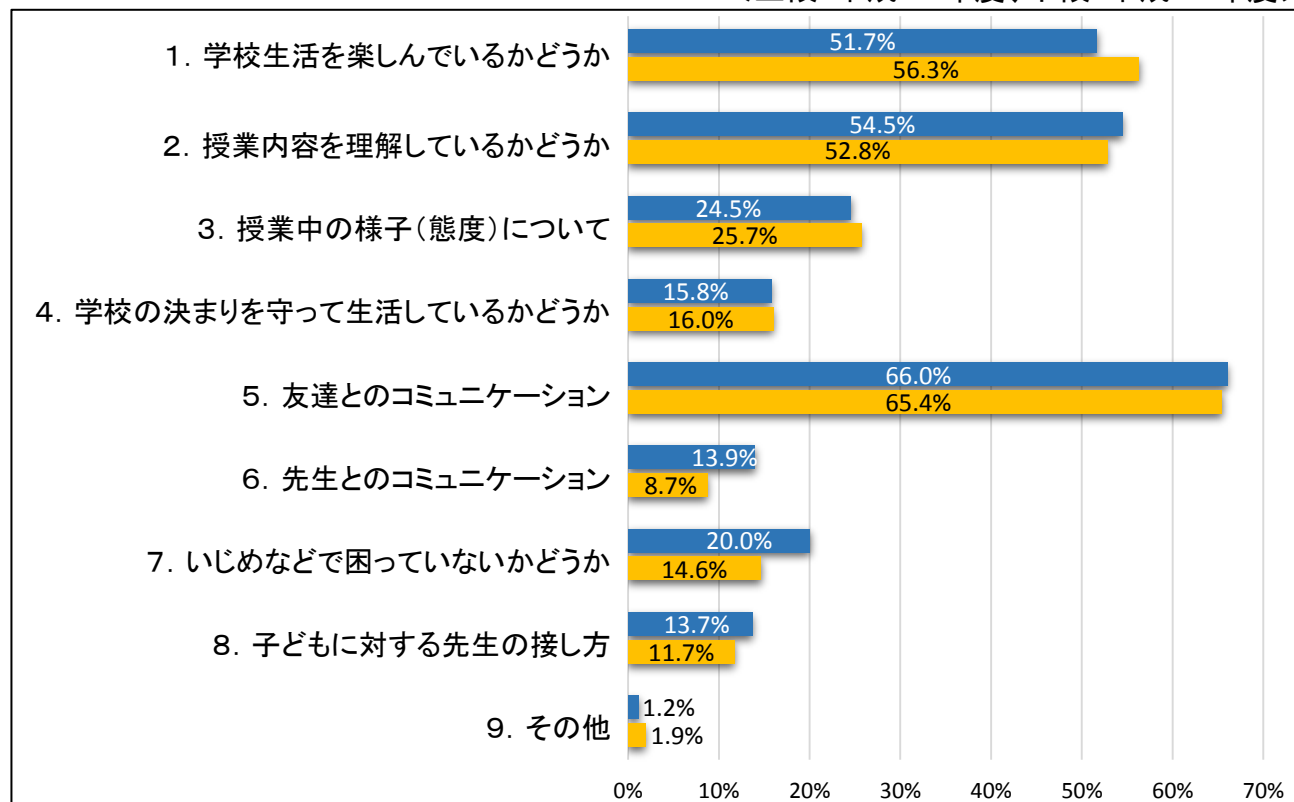
※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

Ⅳ お子さんの学校生活のことについてお伺いします。

問4 あなたのお子さんの学校生活について、何か気になることはありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 先生の指導方法について
- ・ いじめまではいかないが、バカにされたりからかわれたりしている
- ・ 食べ物に好き嫌いが多く、給食を十分に食べていないのではないのか
- ・ 部活は学校でやるのはなぜ?スポーツ少年団ではないのか
- ・ 配布物が多すぎる(紙類)。学校、PTAなどの行事連絡が多すぎて大変

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 学校生活を楽しんでいるかどうか	51.7%	56.3%	-4.6%
2. 授業内容を理解しているかどうか	54.5%	52.8%	1.7%
3. 授業中の様子(態度)について	24.5%	25.7%	-1.2%
4. 学校の決まりを守って生活しているかどうか	15.8%	16.0%	-0.2%
5. 友達とのコミュニケーション	66.0%	65.4%	0.6%
6. 先生とのコミュニケーション	13.9%	8.7%	5.2%
7. いじめなどで困っていないかどうか	20.0%	14.6%	5.4%
8. 子どもに対する先生の接し方	13.7%	11.7%	2.0%
9. その他	1.2%	1.9%	-0.7%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

- ◆「友達とのコミュニケーション」(66.0%)と回答した人が最も多く、平成22年度(65.4%)から0.6ポイント増加している。以下「授業内容を理解しているかどうか」(54.5%)ー平成22年度(52.8%)から1.7ポイント増加ー、「学校生活を楽しんでいるかどうか」(51.7%)ー平成22年度(56.3%)から4.6ポイント減少ーなどとなっている。
- ◆「いじめなどで困っていないかどうか」と回答した人は20.0%であり、平成22年度(14.6%)から5.4ポイント増加している。
- ◆「先生とのコミュニケーション」と回答した人は13.9%であり、平成22年度(8.7%)から5.2ポイント増加している。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 学校生活を楽しんでいるかどうか	45.9%	57.5%
2. 授業内容を理解しているかどうか	58.6%	49.5%
3. 授業中の様子(態度)について	27.0%	21.5%
4. 学校の決まりを守って生活しているかどうか	16.7%	15.0%
5. 友達とのコミュニケーション	60.4%	73.0%
6. 先生とのコミュニケーション	12.6%	15.5%
7. いじめなどで困っていないかどうか	18.5%	21.5%
8. 子どもに対する先生の接し方	17.1%	10.0%
9. その他	0.9%	1.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの学年別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 学校生活を楽しんでいるかどうか	51.7%	43.8%	50.0%	65.7%	52.1%	46.8%
2. 授業内容を理解しているかどうか	58.6%	53.1%	56.1%	49.3%	50.7%	57.1%
3. 授業中の様子(態度)について	29.3%	31.3%	25.6%	19.4%	24.7%	18.2%
4. 学校の決まりを守って生活しているかどうか	22.4%	14.1%	11.0%	9.0%	23.3%	16.9%
5. 友達とのコミュニケーション	65.5%	75.0%	64.6%	62.7%	72.6%	57.1%
6. 先生とのコミュニケーション	17.2%	10.9%	15.9%	13.4%	15.1%	11.7%
7. いじめなどで困っていないかどうか	22.4%	18.8%	15.9%	20.9%	19.2%	23.4%
8. 子どもに対する先生の接し方	6.9%	14.1%	14.6%	17.9%	16.4%	11.7%
9. その他	0.0%	3.1%	0.0%	1.5%	1.4%	1.3%

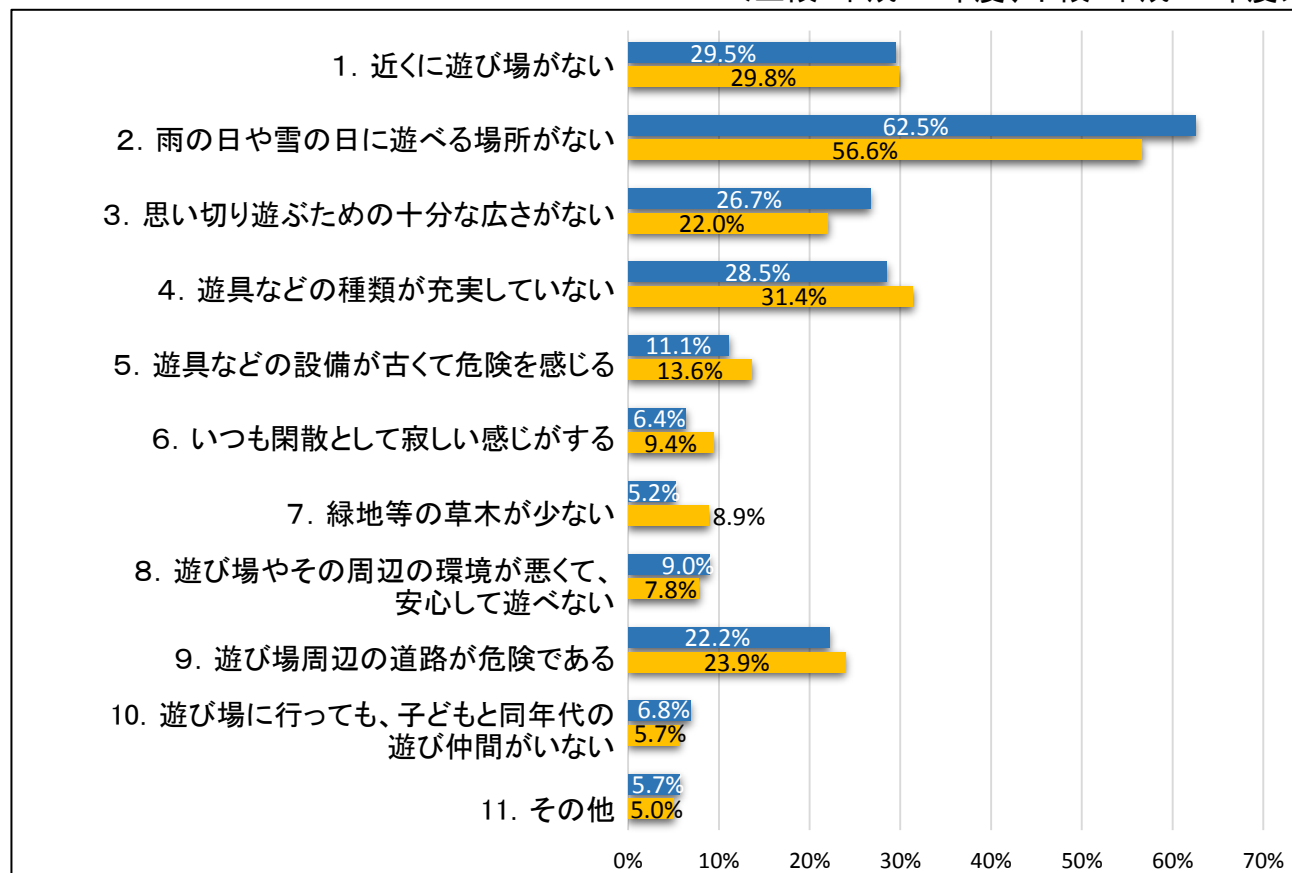
※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

V 地域での子育て環境についてお伺いします。

問5-1 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 満足している(7)
- ・ 子どもが遊べる場所が少ない(5)
- ・ 公園の利用者や近所の大人のマナーが気になる(3)
- ・ 乱暴な子がいて、ケガをする子が出ないか心配
- ・ 中学生などたむろしていて気になる
- ・ 他者を受け入れない環境が多い
- ・ 保護者が一緒にいないと安心できない。不審者など
- ・ 緑地等、草木は時期になるときれいでいいなと思います
- ・ 緑地公園の草が伸びすぎて遊べない。公園の樹木が大きすぎて暗くて怖いと子どもが言っている
- ・ 自転車に乗る場所が少ない。学校で低学年は自転車に乗ってはいけないと決めていいのでしょうか？
- ・ 近所の公園がなかなかできない。工事が進まない。南高校前の公園

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 近くに遊び場がない	29.5%	29.8%	-0.3%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	62.5%	56.6%	5.9%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	26.7%	22.0%	4.7%
4. 遊具などの種類が充実していない	28.5%	31.4%	-2.9%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	11.1%	13.6%	-2.5%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	6.4%	9.4%	-3.0%
7. 緑地等の草木が少ない	5.2%	8.9%	-3.7%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	9.0%	7.8%	1.2%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	22.2%	23.9%	-1.7%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	6.8%	5.7%	1.1%
11. その他	5.7%	5.0%	0.7%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「雨の日や雪の日に遊ぶ場所がない」(62.5%)と回答した人が最も多く、平成22年度(56.6%)から5.9ポイント増加している。以下「近くに遊び場がない」(29.5%)ー平成22年度(29.8%)から0.3ポイント減少ー、「遊具などの種類が充実していない」(28.5%)ー平成22年度(31.4%)から2.9ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 近くに遊び場がない	27.5%	32.0%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	61.3%	64.0%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	27.5%	26.0%
4. 遊具などの種類が充実していない	25.2%	32.0%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	14.0%	8.0%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	7.2%	5.5%
7. 緑地等の草木が少ない	2.7%	8.0%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	10.8%	7.0%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	22.5%	22.0%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	6.3%	7.5%
11. その他	7.2%	4.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

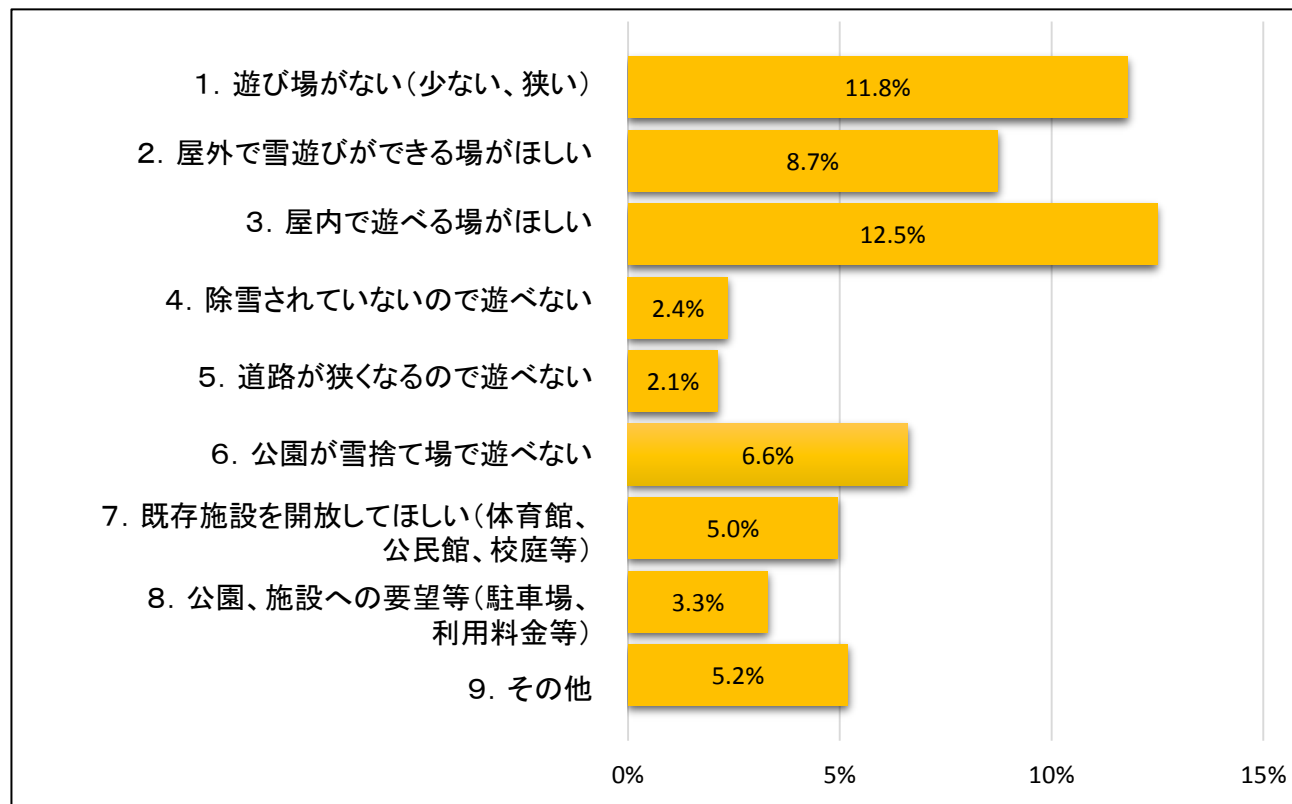
【子どもの学年別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 近くに遊び場がない	27.6%	28.1%	31.7%	28.4%	31.5%	28.6%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	67.2%	59.4%	59.8%	62.7%	61.6%	63.6%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	22.4%	21.9%	23.2%	26.9%	38.4%	27.3%
4. 遊具などの種類が充実していない	31.0%	40.6%	24.4%	31.3%	20.5%	24.7%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	13.8%	15.6%	9.8%	9.0%	13.7%	6.5%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	6.9%	1.6%	4.9%	9.0%	11.0%	5.2%
7. 緑地等の草木が少ない	1.7%	1.6%	6.1%	7.5%	5.5%	7.8%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	3.4%	9.4%	12.2%	7.5%	6.8%	13.0%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	22.4%	21.9%	20.7%	26.9%	23.3%	19.5%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	8.6%	7.8%	8.5%	4.5%	6.8%	5.2%
11. その他	3.4%	6.3%	4.9%	9.0%	4.1%	6.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

問5-2 降雪期の子どもの遊び場について、日頃感じていることやご意見などありましたら、ご記入ください。【自由記載】

【全体】



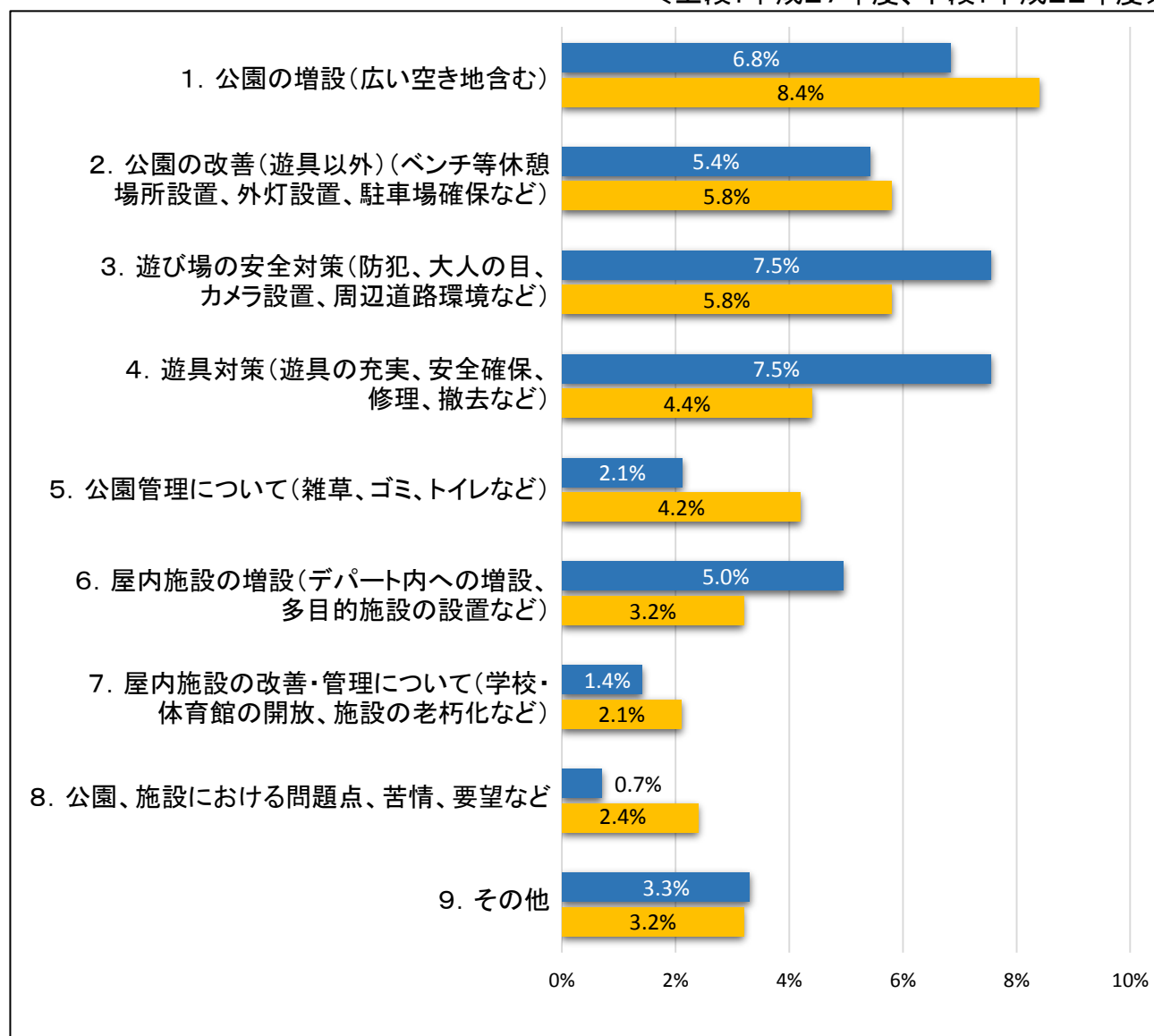
※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
1. 遊び場がない(少ない、狭い)	50	11.8%
2. 屋外で雪遊びができる場がほしい	37	8.7%
3. 屋内で遊べる場がほしい	53	12.5%
4. 除雪されていないので遊べない	10	2.4%
5. 道路が狭くなるので遊べない	9	2.1%
6. 公園が雪捨て場で遊べない(狭い、危険)	28	6.6%
7. 既存施設を開放してほしい(体育館、公民館、校庭等)	21	5.0%
8. 公園、施設への要望等(駐車場、利用料金等)	14	3.3%
9. その他	22	5.2%

問5-3 地域の子どもの遊び場を居心地よい場所にするためには、どのようにしたらよいか、具体的な意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



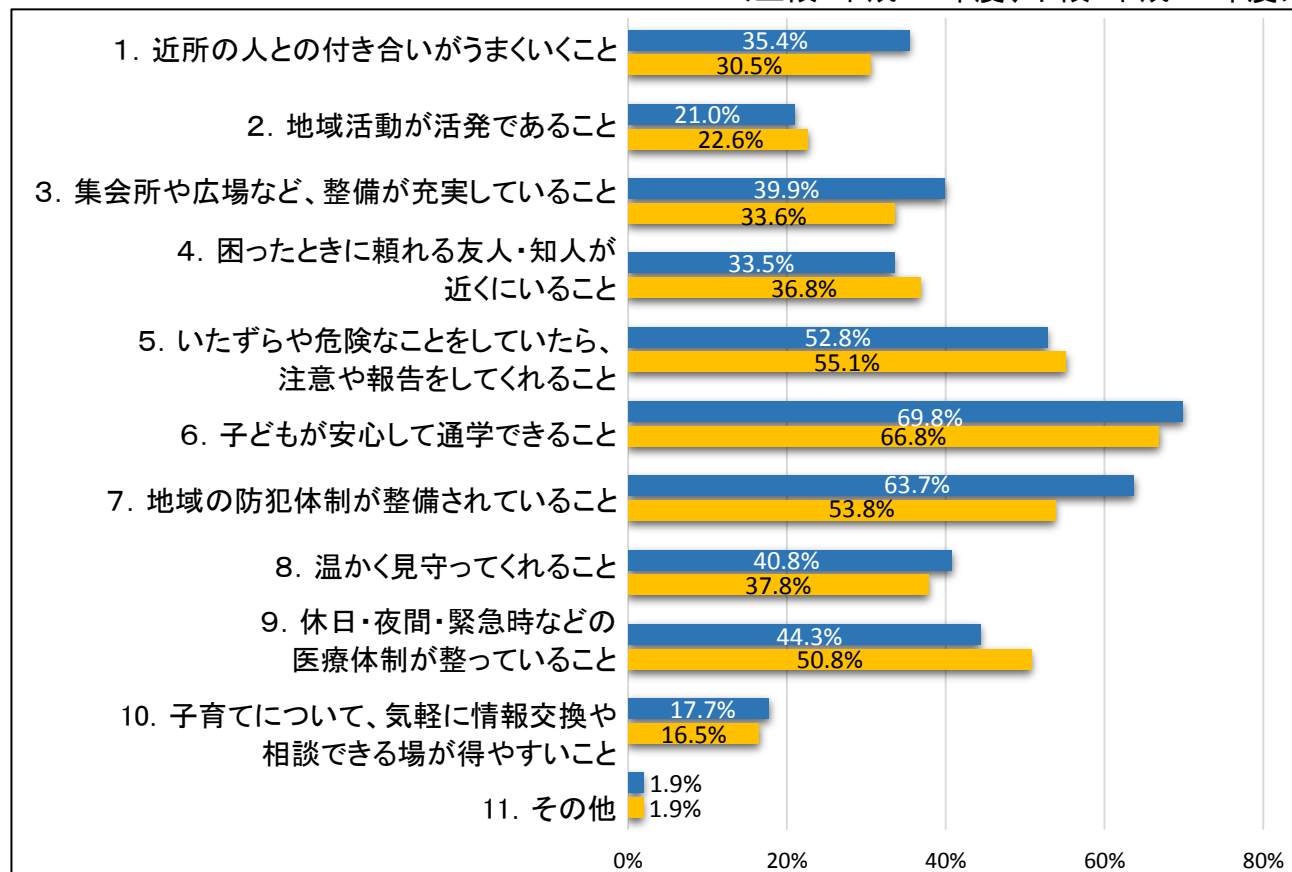
※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
1. 公園の増設(広い空き地含む)	29	6.8%
2. 公園の改善(遊具以外)(ベンチ等休憩場所設置、外灯設置、駐車場確保など)	23	5.4%
3. 遊び場の安全対策(防犯、大人の目、カメラ設置、周辺道路環境など)	32	7.5%
4. 遊具対策(遊具の充実、安全確保、修理、撤去など)	32	7.5%
5. 公園管理(雑草、ゴミ、トイレなど)	9	2.1%
6. 屋内施設の増設(デパート内への増設、多目的施設の設置など)	21	5.0%
7. 屋内施設の改善・管理について(学校・体育館の開放、施設の老朽化など)	6	1.4%
8. 公園、施設における問題点、苦情、要望など	3	0.7%
9. その他	14	3.3%

問5-4 子育てをしていくうえで、地域に期待することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 危険な道路、通学路の整備、見守り(2)
- ・ 警察の人を多くしてほしい。小さな犯罪は大きな犯罪の温床だと思うので恐いです。
- ・ 地域の高齢者と交流する場があること
- ・ 子ども食堂を作りたい
- ・ 家庭、子育てと仕事を両立出来る環境であること
- ・ 思いやりがある人が増えること
- ・ どうでもいい

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	35.4%	30.5%	4.9%
2. 地域活動が活発であること	21.0%	22.6%	-1.6%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	39.9%	33.6%	6.3%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	33.5%	36.8%	-3.3%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	52.8%	55.1%	-2.3%
6. 子どもが安心して通学できること	69.8%	66.8%	3.0%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	63.7%	53.8%	9.9%
8. 温かく見守ってくれること	40.8%	37.8%	3.0%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	44.3%	50.8%	-6.5%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	17.7%	16.5%	1.2%
11. その他	1.9%	1.9%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「子どもが安心して通学できること」(69.8%)ー平成22年度(66.8%)から3.0ポイント増加ーと回答した人が最も多く、以下「地域の防犯体制が整備されていること」(63.7%)ー平成22年度(53.8%)から9.9ポイント増加ー、「いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること」(52.8%)ー平成22年度(55.1%)から2.3ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	36.9%	33.5%
2. 地域活動が活発であること	18.9%	23.5%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	36.0%	44.5%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	31.1%	36.5%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	54.5%	50.5%
6. 子どもが安心して通学できること	65.3%	75.0%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	59.0%	69.5%
8. 温かく見守ってくれること	40.5%	41.5%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	41.0%	48.0%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	18.9%	16.5%
11. その他	3.2%	0.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの学年別】

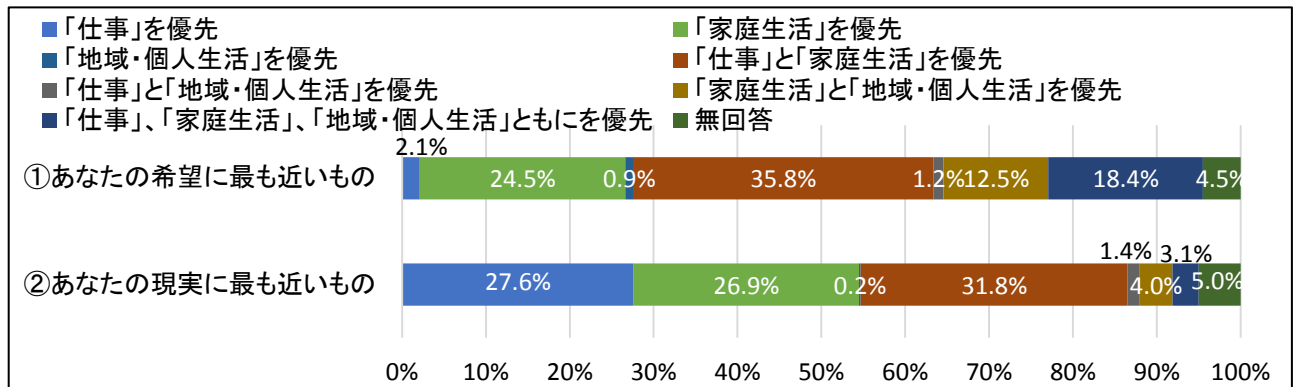
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	43.1%	32.8%	37.8%	35.8%	32.9%	31.2%
2. 地域活動が活発であること	27.6%	17.2%	25.6%	14.9%	16.4%	23.4%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	34.5%	37.5%	46.3%	35.8%	37.0%	45.5%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	43.1%	29.7%	37.8%	28.4%	30.1%	32.5%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	60.3%	57.8%	47.6%	53.7%	52.1%	46.8%
6. 子どもが安心して通学できること	74.1%	68.8%	69.5%	73.1%	67.1%	67.5%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	62.1%	62.5%	65.9%	61.2%	63.0%	66.2%
8. 温かく見守ってくれること	53.4%	32.8%	47.6%	41.8%	37.0%	33.8%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	41.4%	57.8%	39.0%	50.7%	43.8%	35.1%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	17.2%	9.4%	22.0%	14.9%	16.4%	24.7%
11. その他	1.7%	4.7%	3.7%	0.0%	0.0%	1.3%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

VI 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についてお伺いします。

問6-1 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、「あなたの希望に最も近いもの」と「あなたの現実に最も近いもの」をそれぞれ1つずつ選んで該当欄に○をつけてください。

【全体】

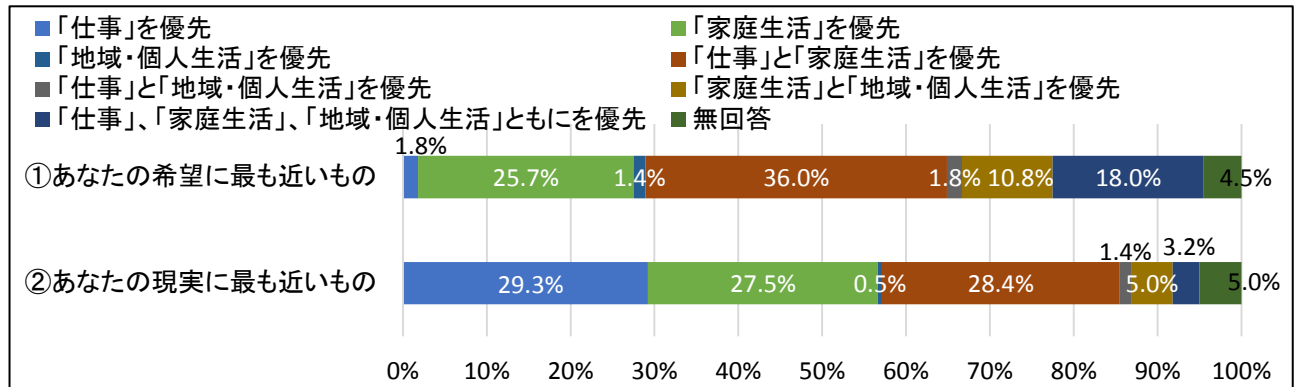


	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」を優先	「仕事」と「地域・個人生活」を優先	「家庭生活」と「地域・個人生活」を優先	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」ともに優先	無回答	合計
平成27年度									
①あなたの希望に最も近いもの	2.1%	24.5%	0.9%	35.8%	1.2%	12.5%	18.4%	4.5%	100.0%
②あなたの現実に最も近いもの	27.6%	26.9%	0.2%	31.8%	1.4%	4.0%	3.1%	5.0%	100.0%
平成22年度									
①あなたの希望に最も近いもの	0.2%	28.2%	1.1%	29.3%	0.5%	14.9%	20.6%	5.2%	100.0%
②あなたの現実に最も近いもの	26.9%	23.3%	1.1%	33.4%	1.3%	6.1%	3.2%	4.7%	100.0%

- ◆希望では「『仕事』と『家庭生活』を優先」(35.8%)と回答した人が最も多く、平成22年度(29.3%)から6.5ポイント増加している。以下「『家庭生活』を優先」(24.5%)－平成22年度(28.2%)から3.7ポイント減少－、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人生活』をともに優先」(18.4%)－平成22年度(20.6%)から2.2ポイント減少－などとなっている。
- ◆現実では「『仕事』と『家庭生活』を優先」(31.8%)と回答した人が最も多く、平成22年度(33.4%)から1.6ポイント減少している。以下「『仕事』を優先」(27.6%)－平成22年度(26.9%)から0.7ポイント増加－、「『家庭生活』を優先」(26.9%)－平成22年度(23.3%)から3.6ポイント増加－などとなっている。

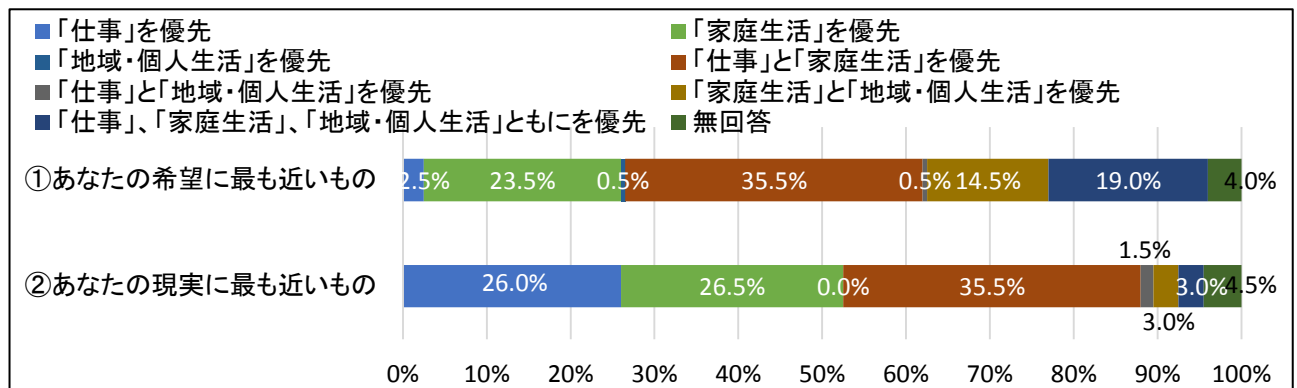
【子どもの性別:男性】

◆子どもの性別が「男性」と回答した人222人に対する割合



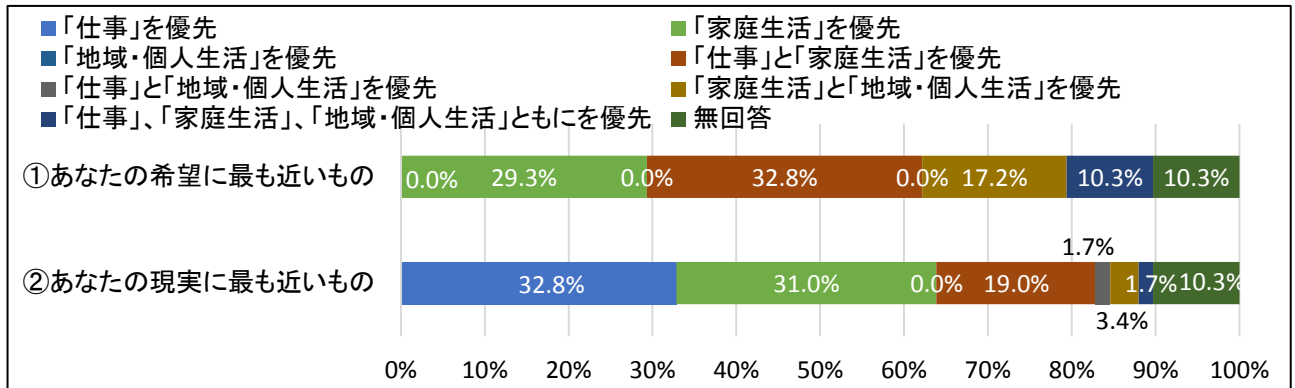
【子どもの性別:女性】

◆子どもの性別が「女性」と回答した人200人に対する割合



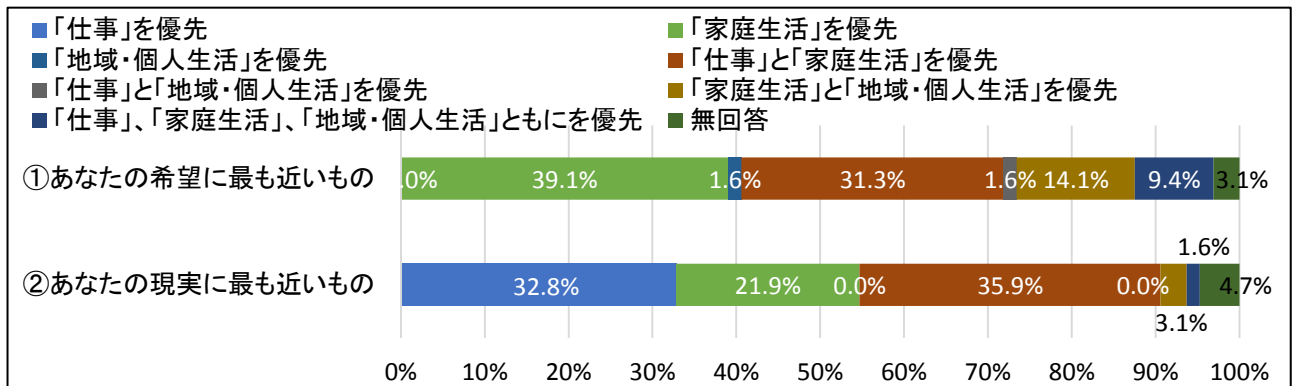
【子どもの学年別：1年生】

◆子どもの学年が「1年生」と回答した人58人に対する割合



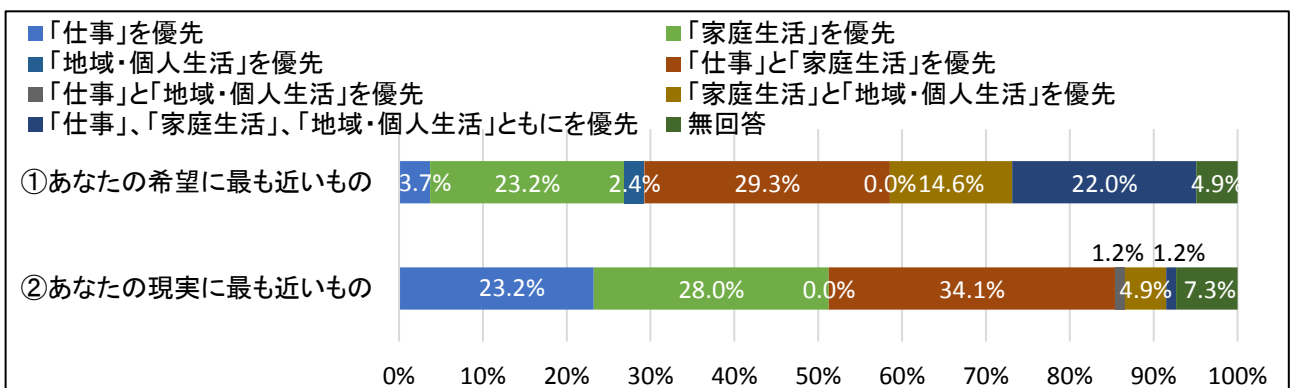
【子どもの学年別：2年生】

◆子どもの学年が「2年生」と回答した人64人に対する割合



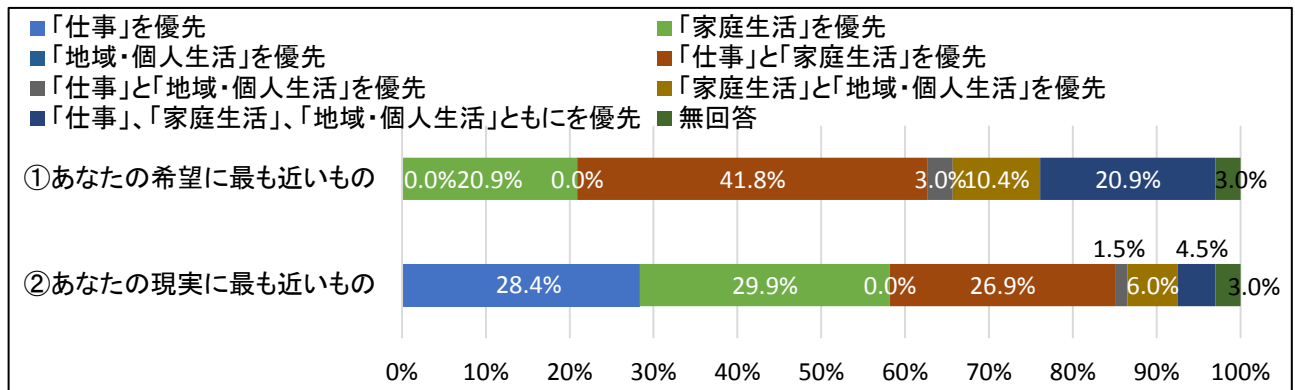
【子どもの学年別：3年生】

◆子どもの学年が「3年生」と回答した人82人に対する割合



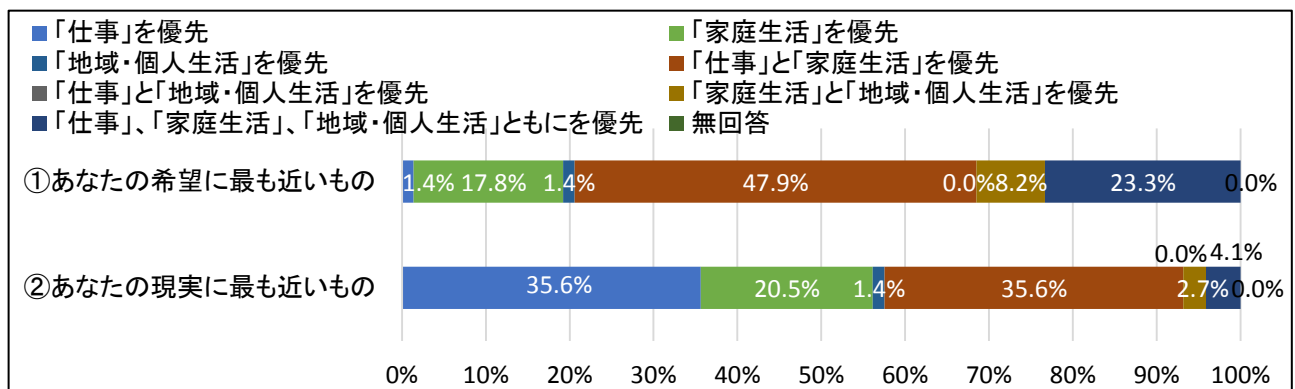
【子どもの学年別：4年生】

◆子どもの学年が「4年生」と回答した人67人に対する割合



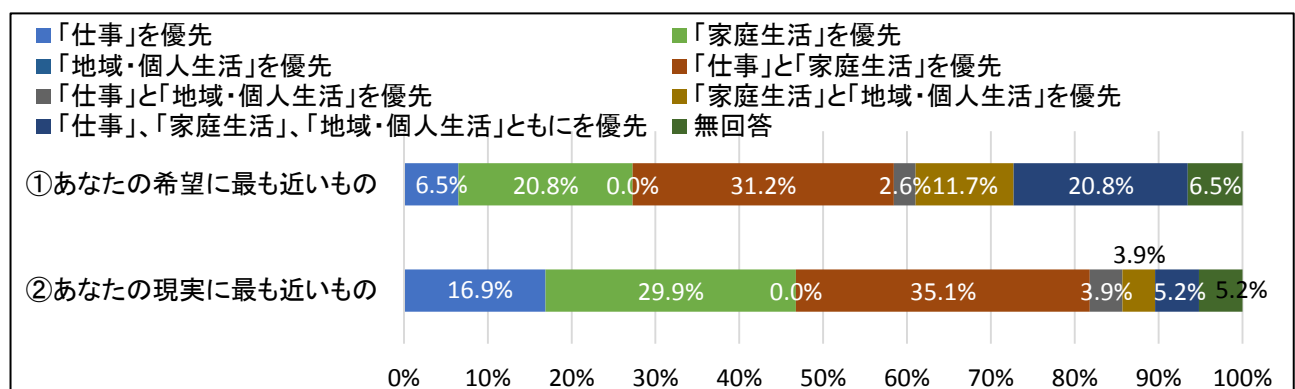
【子どもの学年別：5年生】

◆子どもの学年が「5年生」と回答した人73人に対する割合



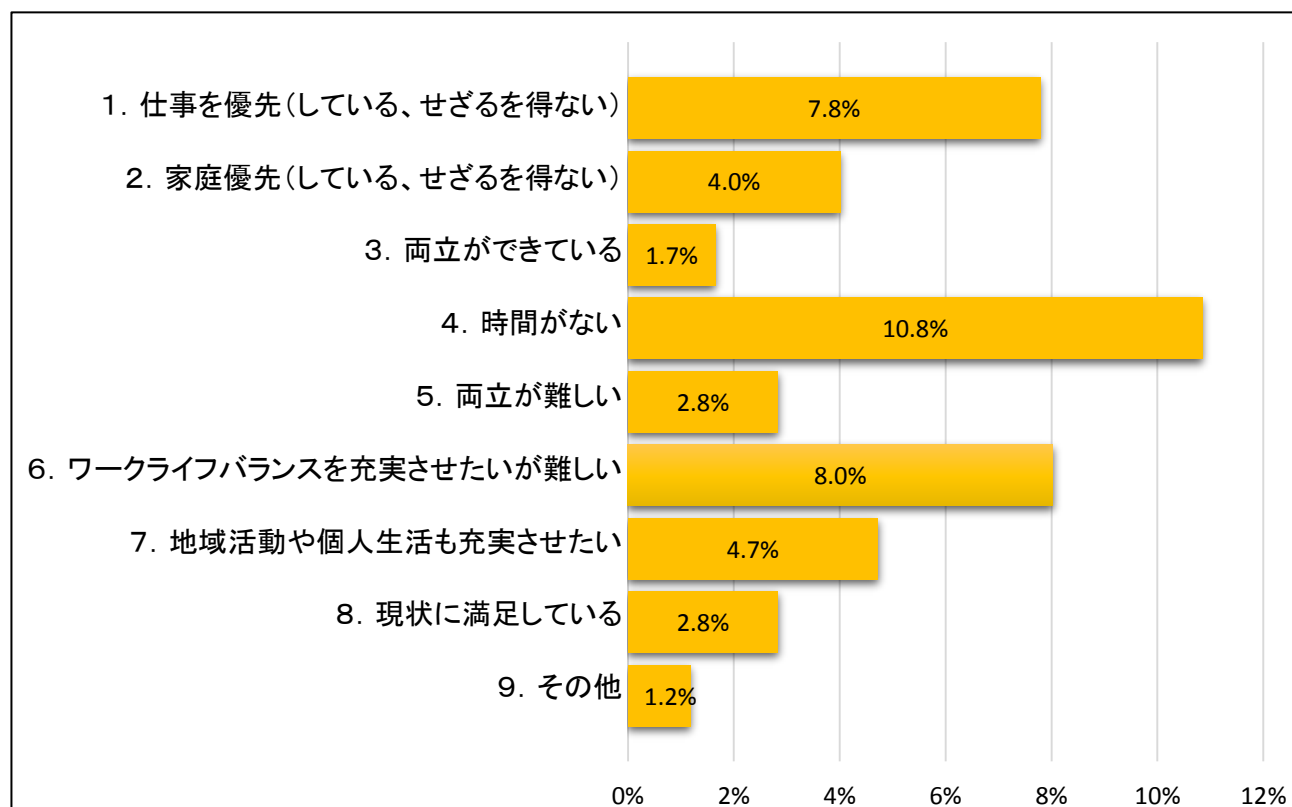
【子どもの学年別：6年生】

◆子どもの学年が「6年生」と回答した人77人に対する割合



問6-2 問6-1のワークライフバランスの優先度に関する①、②の設問において、あなたが上記のように選択した具体的な理由などありましたらご記入ください。【自由記載】

【全体】



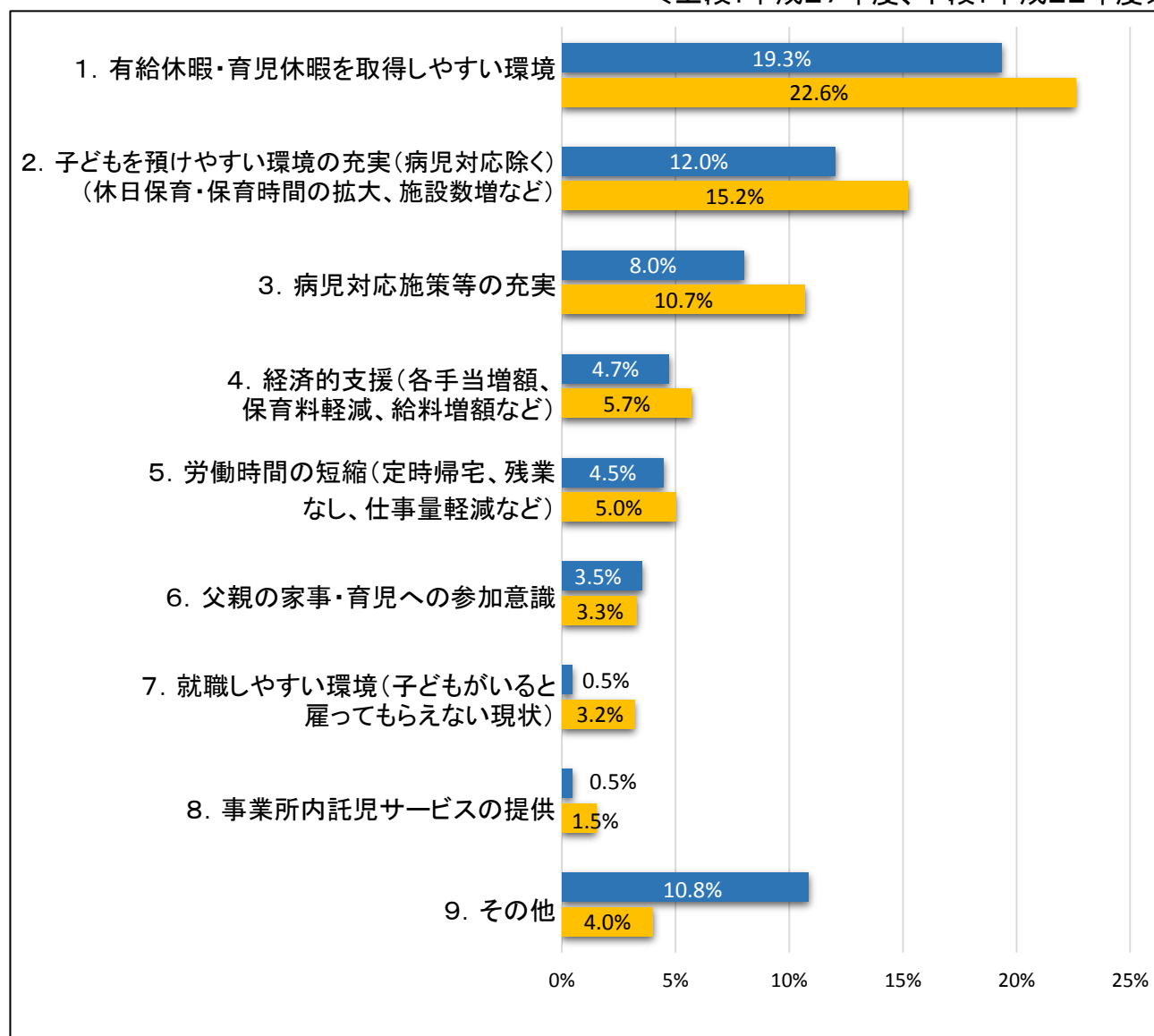
※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
1. 仕事を優先(している、せざるを得ない)	33	7.8%
2. 家庭優先(している、せざるを得ない)	17	4.0%
3. 両立ができている	7	1.7%
4. 時間がない	46	10.8%
5. 両立が難しい	12	2.8%
6. ワークライフバランスを充実させたいが難しい	34	8.0%
7. 地域活動や個人生活も充実させたい	20	4.7%
8. 現状に満足している	12	2.8%
9. その他	5	1.2%

問6-3 男女がともに“子育てしながら働き続ける”ために、どのような支援が必要と感じているか、具体的な意見がありましたらご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



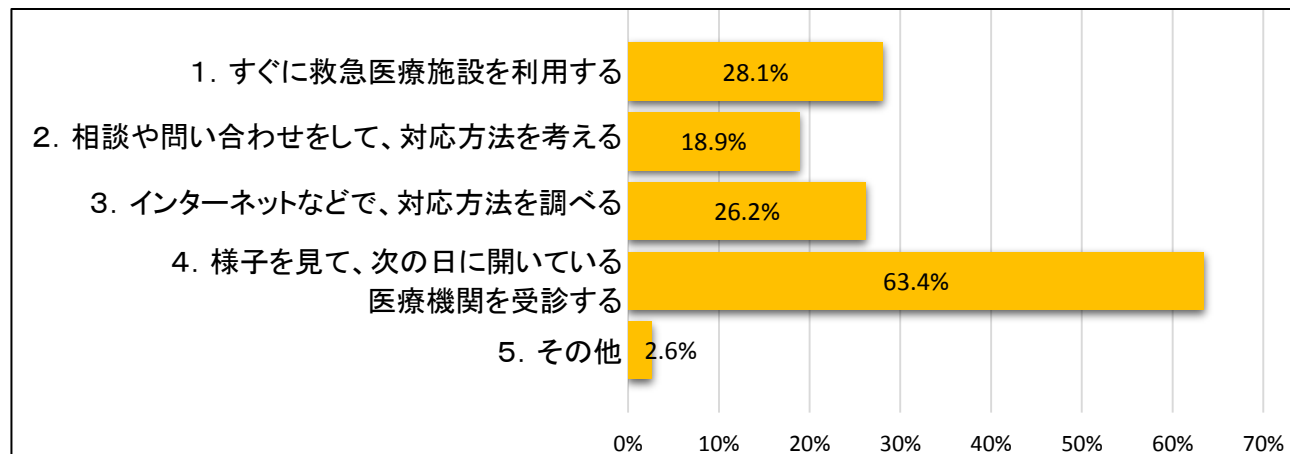
※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
1. 有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境	82	19.3%
2. 子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、施設数増など)	51	12.0%
3. 病児対応施策等の充実	34	8.0%
4. 経済的支援(各手当増額、保育料軽減、給料増額など)	20	4.7%
5. 労働時間の短縮(定時帰宅、残業なし、仕事量軽減など)	19	4.5%
6. 父親の家事・育児への参加意識	15	3.5%
7. 就職しやすい環境(子どもがいたら雇ってもらえない現状)	2	0.5%
8. 事業所内託児サービスの提供	2	0.5%
9. その他	46	10.8%

VII 夜間や休日にお子さんが急な病気になったときのことについてお伺いします。

問7-1 あなたのお子さんが、夜間や休日に急に発熱するなどの軽い病気やケガをしたときに、最初にどのようにしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 症状や状態を見た上で救急へ行くか次の日にするか決める(4)
- ・ 家にある薬を使い様子を見る(2)
- ・ 担当の病院へ連絡
- ・ かかりつけ医がみてる
- ・ 子どもの家庭医学の本を読んで調べる
- ・ 親に相談
- ・ 自分で出来る事をする

◆「様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する」(63.4%)と回答した人が最も多く、次に「すぐに救急医療施設を利用する」(28.1%)、「インターネットなどで対応方法を調べる」(26.2%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. すぐに救急医療施設を利用する	30.2%	26.0%
2. 相談や問い合わせをして、対応方法を考える	20.3%	17.5%
3. インターネットなどで、対応方法を調べる	25.2%	27.5%
4. 様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する	61.3%	65.5%
5. その他	2.7%	2.5%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

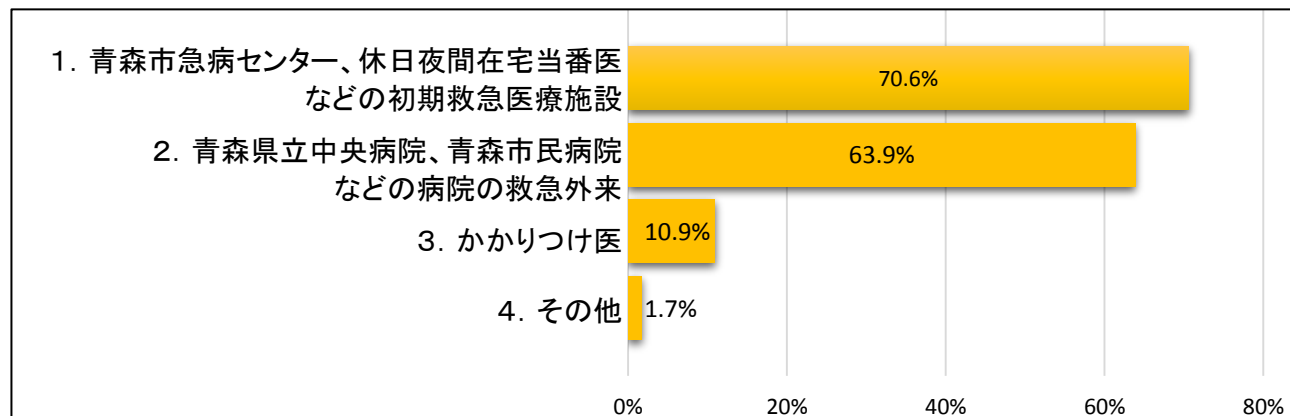
【子どもの学年別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. すぐに救急医療施設を利用する	34.5%	25.0%	20.7%	31.3%	26.0%	32.5%
2. 相談や問い合わせをして、対応方法を考える	20.7%	20.3%	14.6%	20.9%	16.4%	22.1%
3. インターネットなどで、対応方法を調べる	32.8%	37.5%	28.0%	19.4%	24.7%	16.9%
4. 様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する	53.4%	64.1%	67.1%	59.7%	69.9%	63.6%
5. その他	5.2%	3.1%	1.2%	3.0%	2.7%	1.3%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問7-2 利用したことがある救急医療施設について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



◆問7-1で「1. すぐに救急医療施設を利用する」と回答した人119人に対する割合

【その他内訳】

- ・ 弘前健生病院
- ・ 弘前

◆「青森市急病センター、休日夜間在宅当番医などの初期救急医療施設」(70.6%)と回答した人が最も多く、次に「青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来」(63.9%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 青森市急病センター、休日夜間在宅当番	22.1%	17.5%
2. 青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来	19.8%	16.0%
3. かかりつけ医	2.7%	3.5%
4. その他	0.5%	0.5%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの学年別】

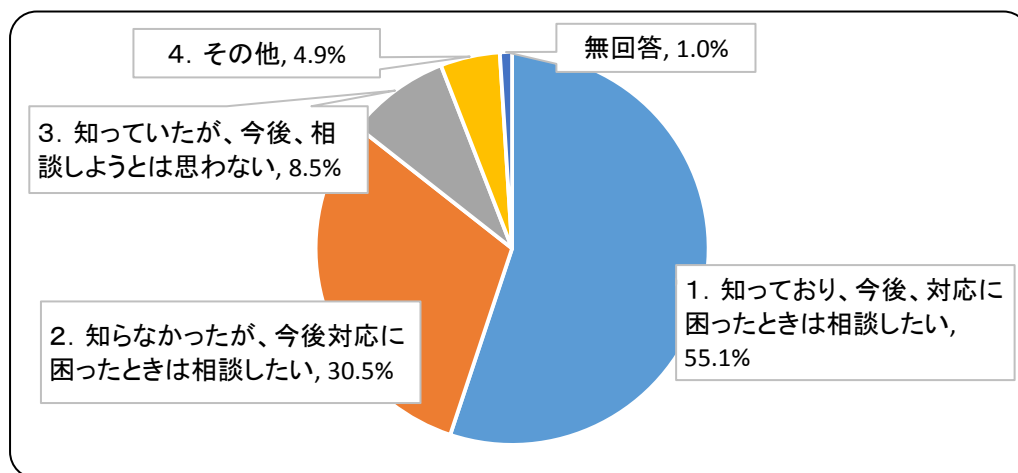
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 青森市急病センター、休日夜間在宅当番	60.0%	87.5%	76.5%	61.9%	68.4%	72.0%
2. 青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来	50.0%	43.8%	70.6%	81.0%	63.2%	68.0%
3. かかりつけ医	15.0%	6.3%	11.8%	0.0%	15.8%	16.0%
4. その他	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問7-3 青森県では、夜間の急な子どもの病気等で対応に困った時に電話で相談に応じる「こども救急電話相談(右頁を参照)」を行っておりますが、そのことを知っていましたか。
また、今後、相談したいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

【全体】

◆問7-1で「1. すぐに救急医療施設を利用する」と回答しなかった人305人に対する割合



【その他内訳】

- ・ 知っており、利用したことがある(6)
- ・ 利用したが、対応が悪い、不十分だった(2)
- ・ 利用したが、あまり参考にならなかったため、今後おそらく利用しない(2)
- ・ 別の地域で利用した
- ・ 利用したが、当番医が電話に出なかった
- ・ 電話相談するくらい困った状態であれば救急を受診する(2)
- ・ 必要なし
- ・ 知らないし、青森に何も期待していない

「こども救急電話相談」

青森県では、小さなお子さんをお持ちのかたが、夜間の急な子どもの病気等で対応に困った時に電話で相談に応じる「こども救急電話相談」を行っています。

「こども救急電話相談」では、すぐに受診したらよいのか、それとも家で様子を見ても大丈夫なのか不安な時、緊急受診の日安や家庭での看護の仕方などについて、医師の支援を受けながら看護師がアドバイスします。

① 相談日時

毎日 夜7時から翌朝8時まで

② 電話番号

局番なしの「#8000」(携帯電話からもかけられます。)
※ダイヤル回線電話、公衆電話からは「017-722-1152」

③ 利用上の注意

- ・ 対象は、おおむね15歳未満の子どもの保護者等です。
- ・ 「こども救急電話相談」は、子どもの急な病気やけが等への応急的な対処方法等に関する助言と情報提供を行うもので、治療や処置を指示するものではありません。



◆「知っており、今後、対応に困ったときは相談したい」(55.1%)と回答した人が最も多く、「知っていたが、今後、相談しようとは思わない」(8.5%)と回答した人が最も少なくなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 知っており、今後、対応に困ったときは相談したい	54.2%	56.1%
2. 知らなかったが、今後対応に困ったときは相談したい	31.6%	29.1%
3. 知っていたが、今後、相談しようとは思わない	7.7%	9.5%
4. その他	5.8%	4.1%
無回答	0.6%	1.4%
計	99.9%	100.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの学年別】

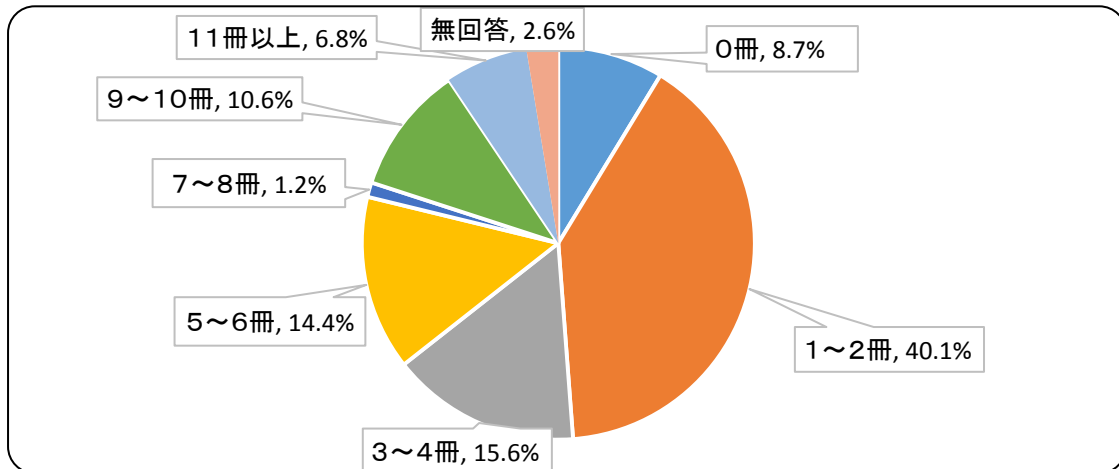
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 知っており、今後、対応に困ったときは相談したい	57.9%	52.1%	61.5%	60.9%	41.8%	55.8%
2. 知らなかったが、今後対応に困ったときは相談したい	18.4%	33.3%	27.7%	30.4%	40.0%	30.8%
3. 知っていたが、今後、相談しようとは思わない	13.2%	8.3%	6.2%	4.3%	9.1%	9.6%
4. その他	10.5%	2.1%	4.6%	2.2%	9.1%	1.9%
無回答	0.0%	4.2%	0.0%	2.2%	0.0%	1.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

Ⅷ 子どもの読書への関わり方についてお伺いします。

問8-1 お子さんは、1か月の間にどのくらい本を読んでいますか。おおよそでお答えください。(読み聞かせをした本も含めてお答えください。)

【全体】



◆「1~2冊」(40.1%)と回答した人が最も多く、以下「3~4冊」(15.6%)、「5~6冊」(14.4%)、「9~10冊」(10.6%)、「0冊」(8.7%)、「11冊以上」(6.8%)、「7~8冊」(1.2%)の順となっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
0冊	13.5%	3.5%
1~2冊	45.0%	34.5%
3~4冊	14.9%	16.5%
5~6冊	9.9%	19.5%
7~8冊	0.9%	1.5%
9~10冊	7.2%	14.5%
11冊以上	5.0%	9.0%
無回答	3.6%	1.0%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

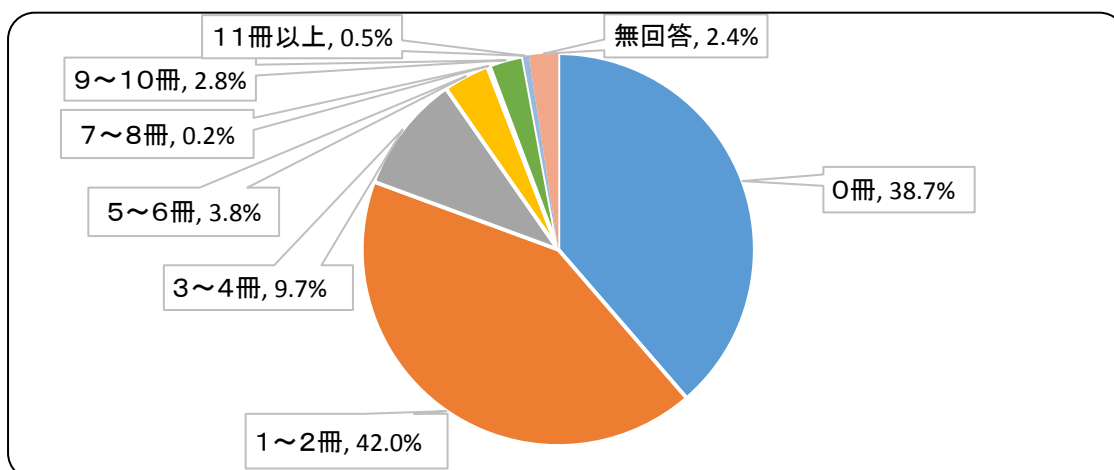
【子どもの学年別】

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
0冊	8.6%	9.4%	6.1%	9.0%	8.2%	11.7%
1~2冊	37.9%	35.9%	31.7%	37.3%	46.6%	50.6%
3~4冊	13.8%	10.9%	14.6%	20.9%	16.4%	14.3%
5~6冊	8.6%	17.2%	14.6%	19.4%	12.3%	14.3%
7~8冊	0.0%	3.1%	2.4%	0.0%	1.4%	0.0%
9~10冊	17.2%	6.3%	18.3%	10.4%	9.6%	2.6%
11冊以上	10.3%	12.5%	8.5%	3.0%	5.5%	2.6%
無回答	3.4%	4.7%	3.7%	0.0%	0.0%	3.9%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問8-2 あなたは、1ヵ月の間にどのくらい本を読んでいますか。おおよそでお答えください。

【全体】



◆「1~2冊」(42.0%)と回答した人が最も多く、以下「0冊」(38.7%)、「3~4冊」(9.7%)、「5~6冊」(3.8%)、「9~10冊」(2.8%)、「11冊以上」(0.5%)、「7~8冊」(0.2%)の順となっている。

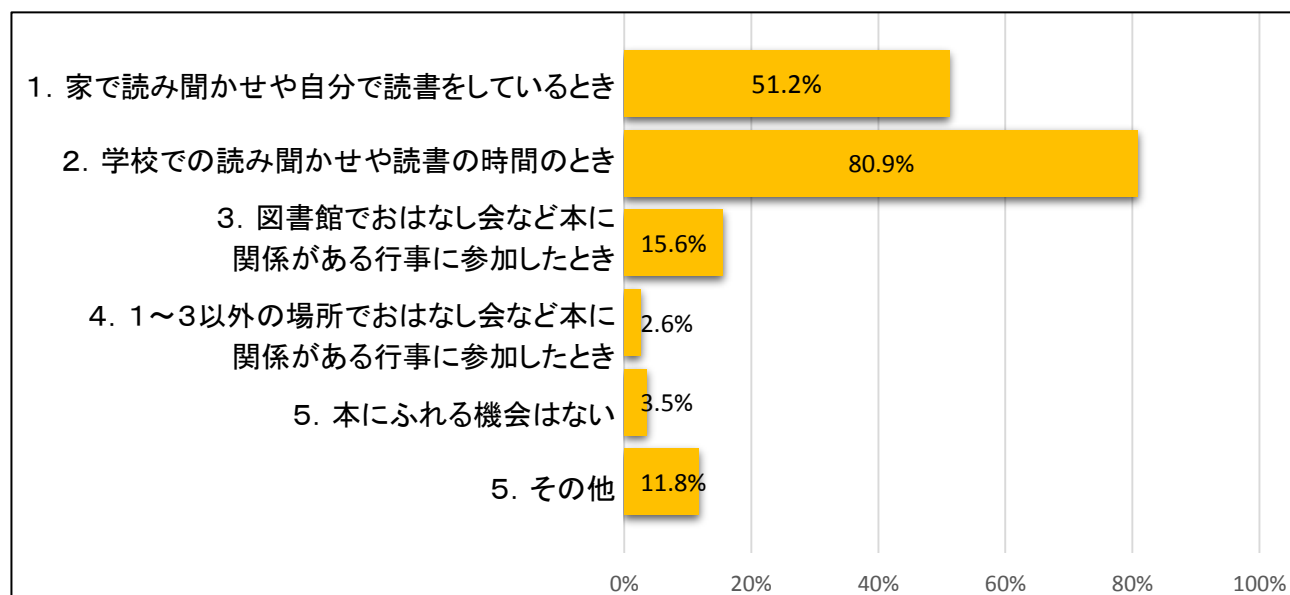
【親が読む本の冊数と子どもが読む本の冊数(問8-1)との関係】

区分	0冊	1~2冊	3~4冊	5~6冊	7~8冊	9~10冊	11冊以上	無回答	計
0冊(親)	13.4%	45.1%	16.5%	10.4%	0.6%	9.8%	3.0%	1.2%	100.0%
1~2冊(親)	6.7%	43.3%	17.4%	15.7%	1.7%	9.6%	5.6%	0.0%	100.0%
3~4冊(親)	7.3%	34.1%	12.2%	19.5%	0.0%	14.6%	12.2%	0.0%	100.0%
5~6冊(親)	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	25.0%	12.5%	6.3%	100.0%
7~8冊(親)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9~10冊(親)	0.0%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	41.7%	0.0%	100.0%
11冊以上(親)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
無回答(親)	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	100.0%

※縦が親が読む本の冊数、横が子どもが読む本の冊数
 ※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問8-3 お子さんは、どのような機会に本にふれますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 公立図書館を利用したとき(15)
- ・ はまなす号を利用したとき(3)
- ・ 学校の図書室を利用したとき(8)
- ・ 本屋を利用したとき(7)
- ・ 購入して読んでいる(3)
- ・ 家にある本を読んでいる(5)
- ・ 友達の情報、友達から借りたとき(2)
- ・ 読みたい本がある、興味をもった事があるとき(2)
- ・ インターネットでの本を読むのを利用して
- ・ デイサービスで少し見る程度
- ・ 中学校の国語担当教師で読む機会があるので、子どもにも読ませている
- ・ 読書感想文を書くとき
- ・ 夏休み、冬休み
- ・ 病院、外食の待ち時間
- ・ 寝る前
- ・ マンガ本はすぐみる
- ・ パソコンやゲームが身近にあり感性をくすぐるような書籍に出会っていない
- ・ 本を読む時間がない(2)

◆「学校での読み聞かせや読書の時間のとき」(80.9%)と回答した人が最も多く、次に「家で読み聞かせや自分で読書をしているとき」(51.2%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 家で読み聞かせや自分で読書をしているとき	41.0%	63.0%
2. 学校での読み聞かせや読書の時間のとき	81.5%	81.0%
3. 図書館でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	12.6%	18.5%
4. 1～3以外の場所でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	3.2%	1.5%
5. 本にふれる機会はない	5.0%	2.0%
6. その他	14.4%	9.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの学年別】

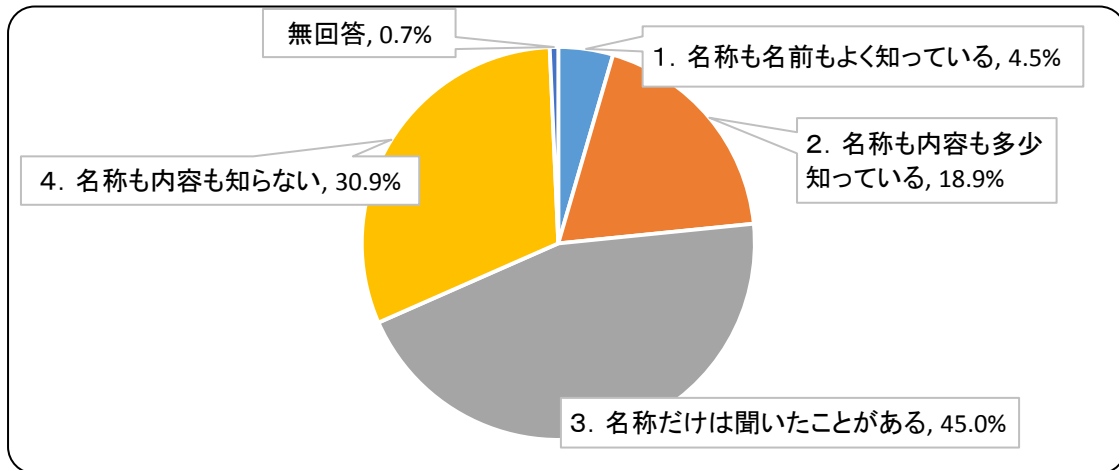
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 家で読み聞かせや自分で読書をしているとき	63.8%	59.4%	50.0%	41.8%	50.7%	45.5%
2. 学校での読み聞かせや読書の時間のとき	81.0%	82.8%	86.6%	83.6%	80.8%	72.7%
3. 図書館でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	17.2%	12.5%	15.9%	19.4%	15.1%	13.0%
4. 1～3以外の場所でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	6.9%	1.6%	1.2%	0.0%	1.4%	2.6%
5. 本にふれる機会はない	6.9%	1.6%	2.4%	4.5%	2.7%	3.9%
6. その他	6.9%	12.5%	9.8%	13.4%	12.3%	15.6%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

Ⅷ 「青森市子どもの権利条例」等についてお伺いします。

問9-1 あなたは、青森市に子どもにとって大切な権利の保障を図ることを目的とした「青森市子どもの権利条例」があることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【全体】



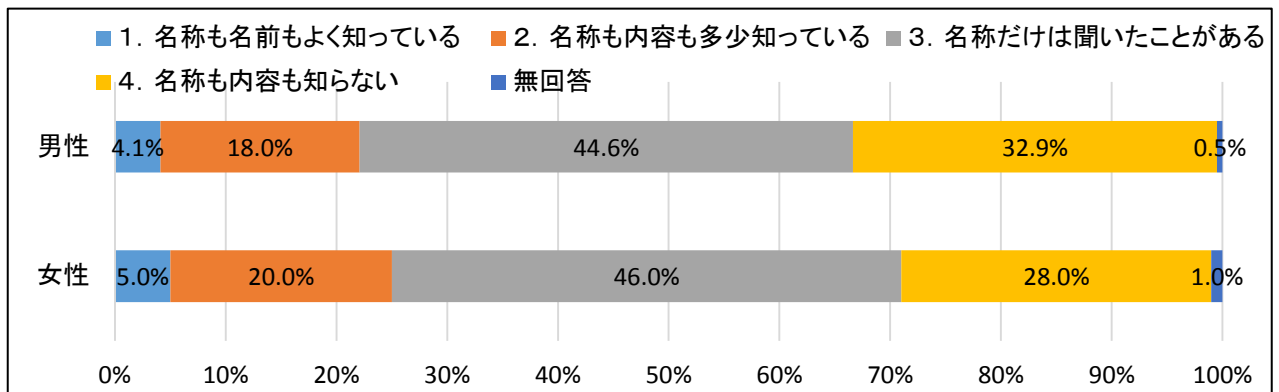
1. 名称も 名前もよく 知っている	2. 名称も 内容も多 少知って いる	3. 名称だ けは聞い たことが ある	4. 名称も 内容も知 らない	無回答	合計
--------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------	-----	----

平成27年度

回答数	19	80	191	131	3	424
構成比	4.5%	18.9%	45.0%	30.9%	0.7%	100.0%

- ◆「名称だけは聞いたことがある」(45.0%)と回答した人が最も多く、以下「名称も内容も知らない」(30.9%)、「名称も内容も多少知っている」(18.9%)、「名称も内容もよく知っている」(4.5%)となっている。
- ◆「よく知っている」「多少知っている」を合わせた、知っている人の割合は23.4%となっている。

【子どもの性別】

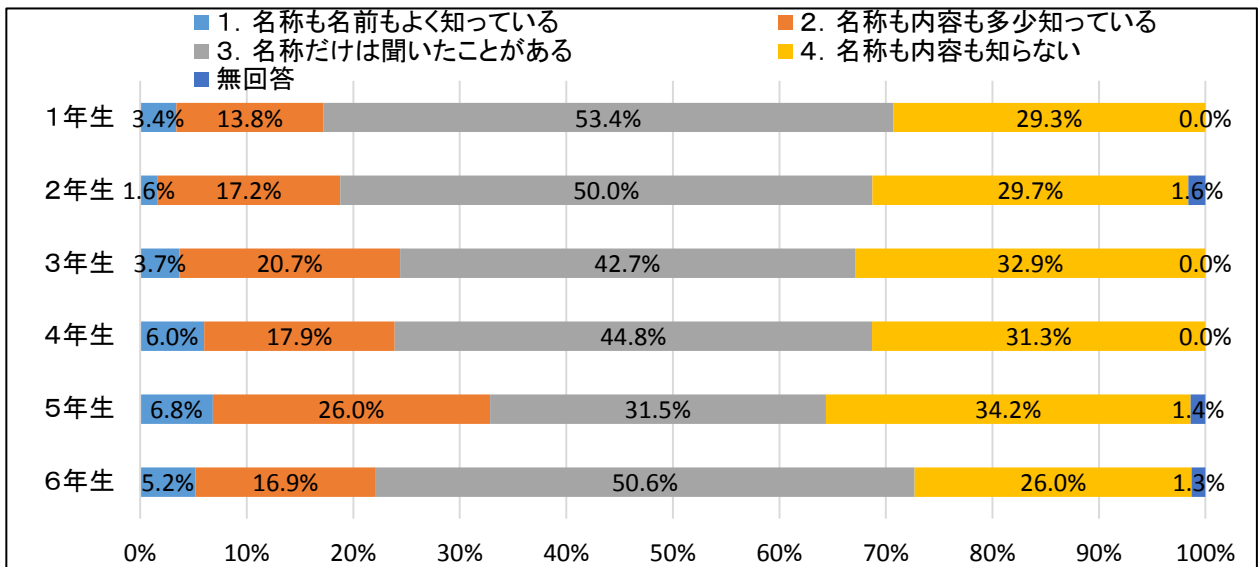


1. 名称も 2. 名称も 3. 名称だ 4. 名称も
 名前もよく 名前も多 けは聞い 名称も
 知ってい 少知って たこと 内容も知
 る いる ある らない
 無回答 合計

平成27年度

男性	4.1%	18.0%	44.6%	32.9%	0.5%	100.0%
女性	5.0%	20.0%	46.0%	28.0%	1.0%	100.0%

【子どもの学年別】



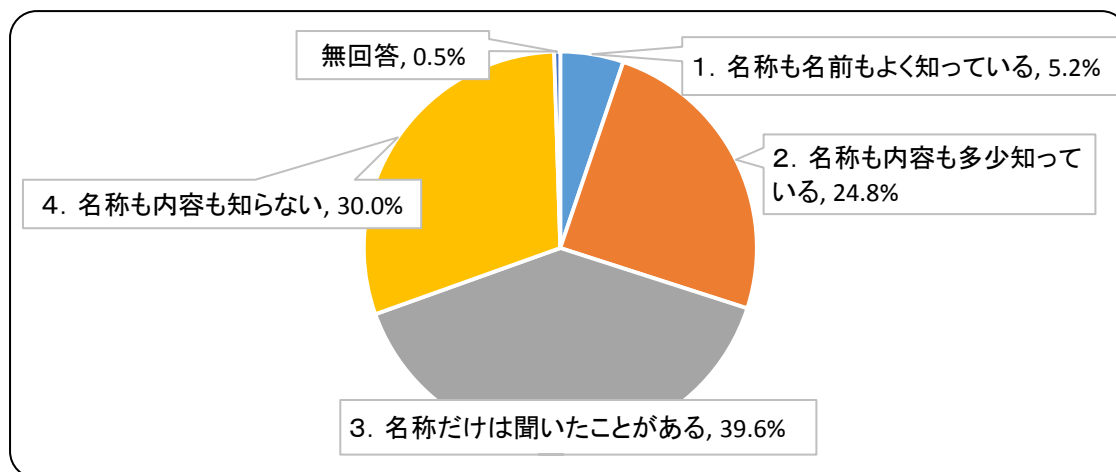
1. 名称も 2. 名称も 3. 名称だ 4. 名称も
 名前もよく 名前も多 けは聞い 名称も
 知ってい 少知って たこと 内容も知
 る いる ある らない
 無回答 合計

平成27年度

1年生	3.4%	13.8%	53.4%	29.3%	0.0%	100.0%
2年生	1.6%	17.2%	50.0%	29.7%	1.6%	100.0%
3年生	3.7%	20.7%	42.7%	32.9%	0.0%	100.0%
4年生	6.0%	17.9%	44.8%	31.3%	0.0%	100.0%
5年生	6.8%	26.0%	31.5%	34.2%	1.4%	100.0%
6年生	5.2%	16.9%	50.6%	26.0%	1.3%	100.0%

問9-2 あなたは、いじめ、虐待、体罰等の子どもの権利侵害に関して、その救済と権利の回復を図るための相談・救済機関（※青森市子どもの権利相談センター）があることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【全体】



1. 名称も 名前もよく 知っている	2. 名称も 内容も多 少知って いる	3. 名称だ けは聞い たことが ある	4. 名称も 内容も知 らない	無回答	合計
--------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------	-----	----

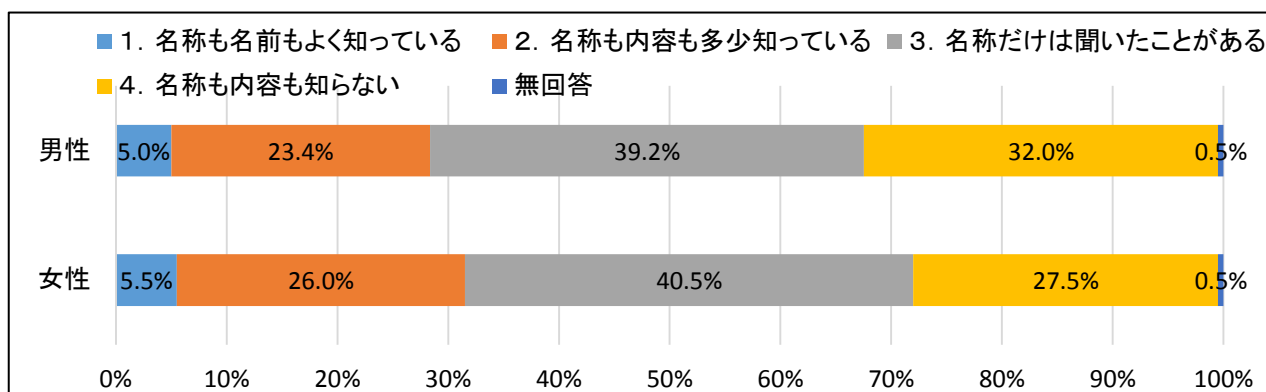
平成27年度

回答数	22	105	168	127	2	424
構成比	5.2%	24.8%	39.6%	30.0%	0.5%	100.0%

◆「名称だけは聞いたことがある」(39.6%)と回答した人が最も多く、以下「名称も内容も知らない」(30.0%)、「名称も内容も多少知っている」(24.8%)、「名称も内容もよく知っている」(5.2%)となっている。

◆「よく知っている」「多少知っている」を合わせた、知っている人の割合は30.0%となっている。

【子どもの性別】

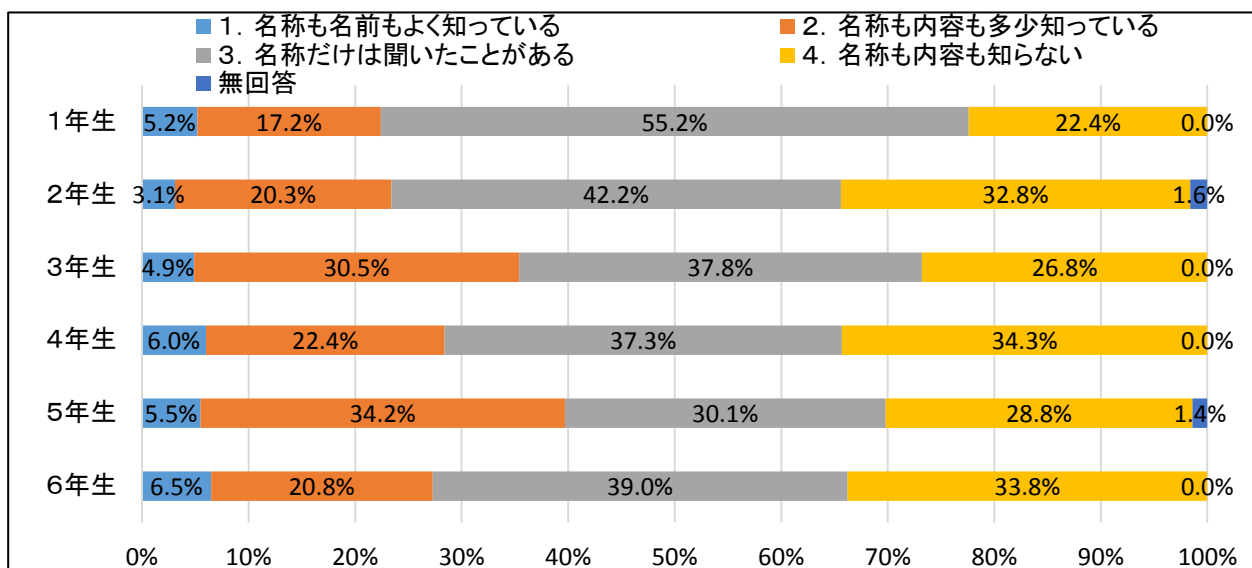


1. 名称も 2. 名称も 3. 名称だ 4. 名称も
 名前もよく 名前も多 けは聞い 名称も
 知ってい 少知って たこと 内容も知
 る いる ある らない
 無回答 合計

平成27年度

男性	5.0%	23.4%	39.2%	32.0%	0.5%	100.0%
女性	5.5%	26.0%	40.5%	27.5%	0.5%	100.0%

【子どもの学年別】



1. 名称も 2. 名称も 3. 名称だ 4. 名称も
 名前もよく 名前も多 けは聞い 名称も
 知ってい 少知って たこと 内容も知
 る いる ある らない
 無回答 合計

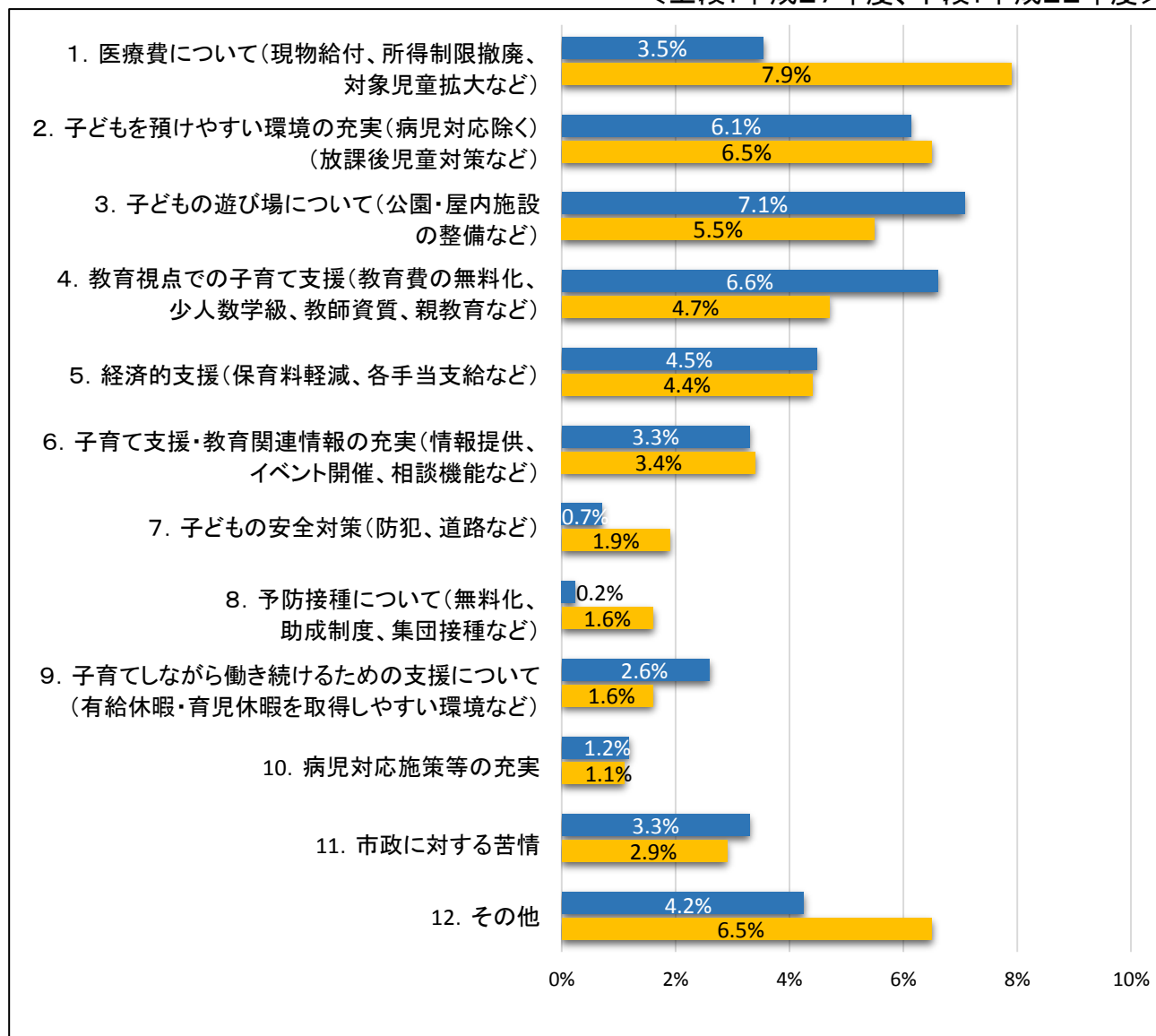
平成27年度

1年生	5.2%	17.2%	55.2%	22.4%	0.0%	100.0%
2年生	3.1%	20.3%	42.2%	32.8%	1.6%	100.0%
3年生	4.9%	30.5%	37.8%	26.8%	0.0%	100.0%
4年生	6.0%	22.4%	37.3%	34.3%	0.0%	100.0%
5年生	5.5%	34.2%	30.1%	28.8%	1.4%	100.0%
6年生	6.5%	20.8%	39.0%	33.8%	0.0%	100.0%

X 行政サービスへ期待することについてお伺いします。

問10 子育て支援に関するご要望、ご意見がありましたら、ご記入ください。【自由記載】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
1. 医療費について(現物給付、所得制限撤廃、対象児童拡大など)	15	3.5%
2. 子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(放課後児童対策など)	26	6.1%
3. 子どもの遊び場について(公園・屋内施設の整備など)	30	7.1%
4. 教育視点での子育て支援(教育費の無料化、少人数学級、教師資質、親教育など)	28	6.6%
5. 経済的支援(保育料軽減、各手当支給など)	19	4.5%
6. 子育て支援・教育関連情報の充実(情報提供、イベント開催、相談機能など)	14	3.3%
7. 子どもの安全対策(防犯、道路など)	3	0.7%
8. 予防接種について(無料化、助成制度、集団接種など)	1	0.2%
9. 子育てしながら働き続けるための支援について(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境など)	11	2.6%
10. 病児対応施策等の充実	5	1.2%
11. 市政に対する苦情	14	3.3%
12. その他	18	4.2%

3 自由記載欄の意見一覧

問5-2【記載内容】

①遊び場がない(少ない、狭い)	
1	遊ぶ所が少ない。
2	遊び場がとても少なく困っている。仕方なくゲームセンター等に行くが、十分な遊ぶ所があれば利用したい。
3	遊び場自体が無い。
4	活発に身体を動かせる場所が全くない。
5	子どもの遊び場が近くに無い。
6	遊び場が少ない。
7	家の中でしか遊び場がない
8	冬期間は玄関先でしか遊べないので、ほとんど友達とは遊べません(ゲームセンターには行ってほしくない)。青森はほんと不便な所だと思う。
9	全く遊ぶ場所がない。降雪期の子供達の運動不足の問題は深刻だと思う。
10	降雪期の遊び場が無い。
11	降雪期は家にいることがほとんどです。冬場は暖房していることで1人で留守番の時は心配です。
12	誰かの家に遊びに行くしかない。地域で誰でも遊べる開放してくれる場所が絶対必要です。
13	ショッピングモールに限られており、思いっきり体を動かせる場が少なく、子どものストレスがたまってしまう。
14	遊びに行く所がない。
15	降雪期はまったくと言っていいほど遊ぶ場所がありません。
16	思いっきり遊べる場所がない。
17	遊ぶ場所がまずない。冬季、親子で遊べる場所がない。
18	遊べる場所が無くゲームなどインドア中心になっている。
19	遊び場が少ない。
20	近くに施設がないのでずっと家にこもってます。
21	遊び場が近くにない。
22	遊び場自体が、学区内や近所にはないです。
23	家庭以外で遊ぶ場がない。
24	雨降りや冬の遊び場がほとんどなく、外で遊ぶことはほとんどないです。
25	団地内通路などでゲームをしている子どもが多い。
26	ゲームセンター以外の遊び場がわかりません。映画にはよく行きます。
27	近くに遊び場がない。
28	降雪期に遊ぶ所があればありがたい。
29	遊ぶ場所や遊んでくれる友達がいないのでいつも家の中で遊んでいます。
30	体を動かせる所がなかなかない、遠い所にしかない
31	降雪期はほとんど自宅にいます。遊び場がない為。
32	遊び場がない
33	無料で走ったり、さわいだりできる施設があればいいと思う。
34	遊ぶ場所が家に限られるので不便
35	ほとんど家の中にいます。
36	徒歩で子供達だけで行ける遊び場がない
37	青森市には子どもの遊び場がゲームセンターくらいしかない。思いっきり体を動かして遊べ、リーズナブルな場所がほしい。
38	基本的に降雪期の遊び場はない。
39	家庭以外で遊ぶ場がない。
40	幼児の遊び場は多いのですが、小学生が遊べる場所が少ない。
41	八戸市や弘前市、五所川原市やつがる市等は室内に大型の遊具が設置してあり、悪天候時でも思いっきり体を動かして遊べる施設があるのに、どうして青森市には無いのでしょうか。小さな子どもを対象にした施設があるのは知っていますが、小学生くらいに体を思いっきり動かせないと満足しません。
42	未就学児はあるが小学生が利用できる場所が少ない。

43	遊ぶ場所がない。体を思いきり動かせる場所がない。小さな子どもの遊具スペースもほしいが、小学生も楽しく体を動かせる遊具、遊技場がほしいです。
44	遊ぶ所が冬になるとまわりにない。
45	そもそも子どもの遊び場をつくるという発想がないのではと思います。地域によって格差が大きいと思います(公園や広場の数、規模等)。
46	今の子供は遊び場が少なく、外ではほぼ遊べないので、降雪期はどうしても屋内での遊びが多くなり気の毒に思う。
47	思いきり走ることができる広くて安全な遊び場が欲しい
48	近くの小学校が廃校になったため校庭が雪捨て場となり、又、近くの児童公園も遊べないため冬休み中は家にこもりがち。
49	無料で遊べる場所が少ない。
50	放課後気軽に集まれる場所が近くにあるといい。
②屋外で雪遊びができる場がほしい	
1	降雪期は全く遊び場が無くなるので、冬まつり終わってからもスベリ台は残してほしい。
2	外で遊ばせたいが場所がなく、遊んでいると注意される。
3	外に遊び場がないので肥満につながっている。
4	空地が減少している
5	遊び場が排雪所となっていて道路に近く危険。古い家屋が多い為、軒下の落雪など昔よりリスクがある。
6	遊び場所がないのに雪捨て場でも遊んではいけないと言われると、本当に遊ぶ場所が家の中だけになると思う。
7	遊び場はないし、雪の場所だと危ない
8	家の軒下で遊ぶ子どもを見かけるが、雪庇が落ちないかと不安になった事があります。
9	屋外で遊び場として整備されている広場等がない。
10	屋外ともに遊ぶ場所が少ない。
11	危険なので親も一緒に出るようにしている。地域などで雪遊び場を作ってほしい。雪片付けしすぎ。
12	近所で遊ぶ様な所がなく、家の前で遊んでいます。遊べる様な所があっても近所の雪捨て場になってしまいます。
13	近所でそり遊びする場所がない。空地がなく雪ダルマも作れない。
14	公園等で遊ぶ時も雪捨て場になっているのでスペースもないし、安全でないように思います。
15	公園のように自由に開放しているところがあると便利。
16	降雪、冬期間は外で遊ぶ場所は無いです。
17	敷地の広い家だと雪遊びもできますが、最近はそのような家がなかなかないので、家の中でゲームをしたりとなってしまっている(昔のように空き地も自由に出入りできないです)。
18	周囲の空き地の減少などから屋外での遊びが極端に減っているように感じる。また、安心して遊べる場所がほとんどなくなっている。
19	外で遊べないので家の中ばかりになってしまう。
20	ソリ遊びや雪遊びをさせたいと思うが、今一安心できる場所がない。
21	ソリができるくらいの小さな山があればいい。結局ゲームをやってしまう。
22	小さいスキー場が近くにあればいい。
23	近くに公園はあるがせまい。ソリやミニスキーなどで遊べる環境にしてほしい。
24	近くの公園は近所の雪捨て場となり、現実的には降雪期は雲谷等の山か広い公園等で遊ぶしかないのでは。アパート暮らしなので、遊び場に困る事がありました。
25	浪岡のパターゴルフだった場所を冬でも遊べるようにしてほしい。
26	乳幼児が外だと思いうように遊べない。
27	平日は学校→児童会→家の毎日で、休日はスキー場へ行く。近場でソリ遊びや雪遊びが出来るとうれしい。
28	町の近所に安全なソリ乗り場や初心者向けのスキー乗り場があったらいいと思う。親も一緒に子どもとやれるといいのだが、仕事と家事で本当に時間がとれない。
29	昔は遊んでいた空地も、雪捨て場が少なくなったことで雪捨て場になり、遊んでいると迷惑そうな顔や注意をされる。
30	雪遊びが十分にできない、空地がない。

31	雪が降ってしまうと室内が多くなってしまふ。公園など広く遊べる場所が雪が積もって入れなくなってしまう。雪上でも広く遊べる所があればいいと思います。
32	雪捨て場となる公園ですが、その場合でも遊ばせていいのかわかりません。冬は家の中が中心となるので、できれば公園でソリなどを使って遊ばせたいです。
33	雪捨て場になってしまっているの、ソリ遊びなどが出来る所がもっとあればよいと思う。
34	ソリ遊びができる所があればよい。
35	小学生児童が屋外で遊べる場所が全くない。
36	広い所がなく、ソリやスキーができない。
37	降雪期は家にいる事が多い。スキーに連れて行きたいが、費用がかかるので多くは行けない。
③屋内で遊べる場がほしい	
1	サンドームのような施設が市内にもっと欲しい。
2	青森市は遊び場がなさすぎます。降雪期はほとんど五所川原市に行く(エルムなど)。アウガなどに五所川原にある「すくすくーる」みたいな体を動かせる所があると嬉しいです。
3	降雪期間は屋内の施設などが近くに少ない為、不便を感じる時があります。
4	青森市内で室内で遊べる遊具施設が十分な数でないので増やして欲しい。
5	室内で遊べる場所が近くにはなく、家の中で遊ぶしかない。
6	雨や雪が降っても屋内で無料で遊べる施設があると良い(他県ではあったのものでものすごく助かった)。
7	これほど雪が多い地域なのに、屋内の遊べる施設が全くないことが不思議。以前住んでいた北海道の市では屋内に砂場があったり、科学館があった。
8	外で遊べないような日(吹雪等)に遊ぶ室内施設がない。結局ゲームセンター等お金をたくさん使ってしまう。又、体を動かさない。
9	体を動かせる施設や、部活動ではなくスポーツクラブがあるといいなと思う。
10	室内で運動(アスレチック等)できる場所がない。有料でもかまわないのでそういった場所が増えて欲しい。すくすくーるや五八五子ども館のような。
11	室内で遊べる施設があればいい。
12	室内の遊び場がない。
13	屋内に関しては乳幼児対象のプレイルームはあっても、小学生対象の集える場所や体を動かして遊べる場所(施設)がない。
14	岩手県立児童館「子どもの森」のような無料で遊べる施設があったらいいなと思います。屋内でも体をつかって遊べる施設があったらいいなと思います。
15	冬場はマイカー一運転もしづらいので、バスが出たり遠出しなくても遊べる屋内施設がほしい。
16	遊べる場所が少ない。青森市に遊園地を作ってほしい。
17	こどもたちだけで遊べる場所が家の中しかない。休日に体を動かして遊べる場所(雪遊び以外)があればいい。
18	遊び場を知らないので困っています。家でスロープ作り、ソリ遊び、室内遊び場が欲しい。隣の市へ行ってます。
19	室内で思いっきり体を動かせる所があるとうれしい。
20	降雪期以外雨の日でも遊ぶ場所が少ない。体育館のようにのびのびスポーツができ、かつスポーツ用品(卓球、バドミントン等)も貸し出してほしいとおもう。
21	室内で体を動かせる施設があればいいと思う。八戸の「こどもの国」のような。
22	八戸の三八五館やはっちのような場所が無い。市内にも岩手のこどもの森のような所があればいい。
23	屋外で遊べる時期が短いので、屋内で子どもが遊べる施設がもっと多くほしい。以前、アスパムにあったアスレチックのようなものや、科学館のようなものが低料金で利用できたら良いと思う。
24	雪が降ると公園などは、雪捨て場になってしまつて遊ぶ所がないので、室内で子どもが遊べる所があるといい(室内公園みたいな)。
25	雨や雪が降っても遊べるように、市民センターのような施設が近くにあったらいいなあとと思います。
26	屋内、遊ぶ場所が少ない。
27	気軽に行く館内の遊ぶ所が無い。外遊びは限界があり、これだけ雪の降る地域なのでもう少し充実した館内の場所があればいいなと思う。
28	子どもが歩いて行ける距離内に市民センターの様な場所があったらたすかります。

29	屋内で(予約等なしで)自由に使える場所があればとても助かります。
30	室内型の広い遊び場がもっとあればいいと思います。
31	屋内で遊べる場所が無い。五所川原市のエルムの「すくすくーる」のような施設があればと思う。
32	雪が多い地域なのに、中での遊び場が無さすぎる。遊び場が少なすぎてつまらない。
33	家に友達を入れないようにしているので、外で遊ぶか、友達の家遊びに行ってる様です。近くに室内で十分遊べる広場があると良いのと思っています。
34	青森市は室内の遊び場が少なすぎます。冬は特にです。小さい子が遊ぶところも少ない。
35	雪の時期に遊べる所がなく、家にひきこもっています。屋内の遊べる施設があれば助かります。
36	室内で思い切り遊べる遊具などが備わった大型施設があれば良い。
37	屋内でお金がかからず遊べる場所があればいいと思う。
38	室内で思いっきり体を動かせる場所がない。テレビで観た、東京足立区にある区の施設で、室内なのにアスレチックの様なのがありとても広くて、利用料金もとても安かった。青森にも是非造ってほしい。
39	市内に室内かつ無料で遊べる場所がない。子どもの運動不足が気になる。
40	室内のとても大きい場所を開放してほしい。年齢によって使う時間場所は分けてほしい。
41	室内で体を動かせる所がほしい。
42	青森は室内の遊び場が少ないと感じました。他県では無料で思い切り走れる場所があり、暑い時でも利用できるの小さい子供がいる家族では大変助かりました。冬は家の中にいるしかない感じがします。
43	市の西側に室内で遊ぶ場所がないので車がないわが家には辛いです。
44	降雪期はほとんど家で友達とゲームで遊ぶ事が多いです。室内で遊べる公共の場所があるなら知りたいです。
45	小学生を持つ家族と一緒に体を動かして遊べる屋内の施設がほしい。
46	小学生が思いっきり遊べる屋内施設が欲しいです。室内アスレチックやのぼりネット、ボルダリング等。青森の子供は肥満傾向にあるとの事ですが、楽しく体を動かせる場所が必要だと思います。雪寄せ場で遊んでいたりして危険です。
47	青森市内にも小学生でも体を動かして遊べる屋内の遊び場がほしい。
48	小学生以上の子供たちが無料で遊べる屋内施設が少ない。そういう所で他の学校の子供との交流があったりと思うので、増やしてもらえたらと思う。
49	屋内に関しては乳幼児対象のプレイルームはあっても、小学生対象の集える場所や体を動かして遊べる場所(施設)がない。
50	室内やデパート内の遊び場は1~3歳位の子ばかりでそれ以上の子は遊べないし遊ぶ所がない。
51	アウガやアピオ、サンロード等のショッピングセンターには室内の遊び場があるが、小学生が対象となっておらず、体を動かす場所がない。
52	施設は乳幼児連れが主ですし。
53	アウガを室内の遊び場に改造してほしい。大人から幼児まで遊べるラウンドワンのスポッチャみたいな施設にしてほしい。
④除雪されていないので遊べない	
1	家の周囲で遊んでいる。すぐ近くに川があるので、落ちないか少し心配。
2	交差点などの曲がり角に除雪した山が大きくなり、死角となり危ない。又、すべり台にしている子供もいて危ないと感じる。
3	たまに融雪用の下水の扉、融雪口?があきっぱなしだったりするのを見かけて、落ちないか心配になります。
4	遊び場うんぬんより除排雪がされないから遊びに行かせられない。危なすぎる。
5	遊び場以前に友達の家に行くにも道路が危険なので除雪をしっかりとお願いします。
6	あっても行く途中の除雪が良くない。
7	雪壁で車が来るのが見えず危険。
8	歩道に除雪が入らないので、歩けない。車道に行くことになるのであまり出ない。
9	除排雪が十分でない。通学路なのに道幅の確保が十分でないため危険。
10	遊び場というよりは、通学路の除雪が間に合わず道路を歩いているのは危険。
⑤道路が狭くなるので遊べない	
1	遊び場へ行く道も雪のため危険を感じる。

2	通学路の除排雪が不十分で危険だと思っている。
3	降雪期は遊び場までの道路(特に交差点)が除雪された雪の山で危険である。
4	遊び場についてはありませんが、通学路、特に狭い所の除雪をしてほしい。
5	遊び場まで行く歩道がないので危ないと思う。
6	道路も狭く危険だが、今に始まった事ではないので仕方がないと思っている。
7	遊び場が近くにないため通学路などの除雪などが気になります。
8	遊び場ではないけど、道路沿いの雪山に登って下校中に遊んだりしているので、落ちると車も通るし、危ないと毎年思う。
9	通学の心配。
⑥公園が雪捨て場で遊べない(狭い、危険)	
1	公園が雪捨て場になっているが、そこで子どもが遊んで危ない。
2	近くに公園があるのですが雪が積もると地域の雪捨て場になってしまう為、せめて入り口の確保だけでもして欲しい。
3	雪捨て場の雪山に登りすべり台として遊んでいる。危ないと思うが何度注意しても別の子がすぐに来る。
4	雪を捨てる場所がすぐ近くにあるのですが、遊ぶ場所が無いのでそこで遊んでいて、溶けかけている時期とかとても心配になります。
5	むつ市内に住んでいたが、青森より降雪量が少ないので、公園で遊べました。青森では無理です。
6	ゆき捨て等で危険な為、冬は家で遊ぶことが当たり前になっていて残念。
7	公園は雪捨て場になっているので遊べない。
8	広場があっても雪捨て場になっていたりして遊ぶには危険。公園も雪だらけなので遊べない。
9	公園が近隣の雪捨て場となり、子どもが遊んでいると「雪をすてる道を作っているから」と大人に言われたと話し、遊ぶのをやめた。みんなで使う公園なのに。
10	ソリ遊びをしていて道路に滑って行ってしまい危ないと感じる。
11	外遊びの場所がほぼ雪捨て場となり立ち入り禁止となるため逆に危険な場所となるのはどうなのかと思います。
12	近所の公園は雪捨て場になるので、公園での雪遊びができない。
13	近くの公園等は雪捨て場になっているので遊ばせられない。
14	遊び場がない、空地があったとしても雪捨て場となっており、危険のため遊ばないように言っている。
15	近所の公園が雪捨て場になるので、冬は家の中か、家の前しか遊ぶ所がない。
16	遊び場がないため雪捨て場等で遊んだりすることがあり危険。
17	遊び場が雪捨て場のように遊べない。除雪もしていないので遊べない。
18	遊び場は時には排雪にも使われているので、家の周りが遊び場となります。学校の友達も来ます。
19	公園が雪の山になってしまい、ソリ遊びをすることも難しくなっている。車の心配をせずに雪遊びのできる場所が地区にあればいいと思う。
20	近くの広場は雪捨て場所になるのであまり遊べない。
21	普段遊び場にしている公園も雪置き場になったり目が届かなくなる。
22	冬は雪捨て場になってしまったり遊ぶ場所がなくなる。
23	雪捨て場でソリをし、道路に飛び出してくる子どもたちが近所にいて危ない。親も見えていない。
24	除雪車が山にした雪山にのぼるときがあり、危ないと感じた事がある。
25	雪の山に乗り、ソリで遊んだりしているが車が来たりするととても危険だと感じています。
26	雪山などにはまって抜けられないのではないかなど。
27	安全な場所が無い。除雪した雪が溜まって歩道がなく、安全に歩けない。車道も両脇が高くすりばち状で車も人も危ない。
28	排雪が遅く、雪山が高くなって危ない。
⑦既存施設を開放してほしい(体育館、公民館、校庭等)	
1	小学校の校庭は冬休み開放してくれると、そり遊びや雪遊びが楽しめるが、自宅から遠い場所まで出かけないと(モヤヒルズなど)雪遊びが楽しめないのが残念です。
2	学校の体育館、校庭を開放して監視する大人もつけてくれたらいいと思う。
3	降雪時、どうしても家にこもりやすいですが、学校の校庭などで雪合戦や雪だるま作りを。
4	あまり遠出できないので(帰宅時間etc早まることもあって)、近所の幼稚園の園庭を休日だけでもいいので使わせていただけたらありがたいなと思います。

5	雪が降ると外でゲーム機などで遊べないため、児童館などが近くにない地域は町民会館など開放してほしいです。
6	地域の集会所などを開放して、地域の方々や子どもたちが自由に集まって使えたらいいと思う。
7	小学校に雪山を作っても自由に遊べないのはどうしてなのか理解できません。
8	太りやすい体質なのか、毎年冬になると太ります。やはり運動する場が極端に減るからだと思います。冬場は土日、小学校の体育館などを開放して遊べるようにしてほしい。市民体などの施設も利用したいが道具がないので、バドミントン、卓球等のラケットやボールの貸し出しをしてほしい。
9	青森市浪岡体育館の利用について、子どもたちの自由な利用は可能でしょうか？日頃、公民館の利用率が上がったと思う。利用しやすくなりました。
10	美術館や郷土館など公の建物をイベントや遊び場にもっと活用できるよう工夫して欲しい。使い方へた。
11	学校の雪山を自由に使えない。
12	校庭を開放するようにしてほしい。
13	遊び場ではないですが、サンドームを早く利用再開していただきたい。
14	スケート場などの施設を有効に使う工夫が必要だと思う。
15	アウガや市民センター等で子ども達が自由に遊べる空間をつくってほしい。
16	学校内で遊べるようにしてほしい。
17	学校の体育館など、子供が歩いて行ける場所を開放してもらいたい。
18	町会館など開放して欲しい。除雪の雪山のそりすべりなど合浦公園で簡単に遊べたらいいなと思います。
19	無料で十分に走ったり運動できる体育館等を開放して欲しい。
20	学校からも校庭が雪捨て場になってもいるので危ないと注意がある。
21	土日に学校の体育館を開放して、遊び場としてほしい。
⑧公園、施設への要望等(駐車場、利用料金等)	
1	遊び場は有料施設が多く、結局デパート、大型施設のゲームなどになる。体を動かさずにおかつ駐車場や施設の利用を無料化(低料金)されている場所を増やしてほしい。
2	放課後もお休みの日も家でゲームばかりでした。図書館も駐車場無料が1時間のみ。青森に肥満な子が多いのがわかる気がします。
3	室内で遊べる所はお金がかかたりするので、毎日は利用できない。
4	あっても有料なので時間を気にしながら遊ぶしかない。
5	スキーやスケートは楽しめるが、場所が特定され金銭的にも毎週は負担になる。
6	スキー場のリフト券が小1は無料でしたが、まだリフトを使うほど上手でなかったため、使用できませんでした。せめて、3年生位までリフト無料にしてもらえると助かります。
7	スキーをはじめたが家族でとなると高いのでたまにしか行けない。
8	無料でりようできる所が増えるといいと思う。
9	スキー場の利用料(リフト券)が高い。
10	ラビナのもくもく広場は駐車場代もかかるし、大人の料金が高い。大人は無料にして欲しい。
11	また、屋外ではスキーに行く事が多いが、モヤヒルズのリフト券を子どもは安く(大人は値上げしてもいいので)してほしい。
12	スキー場に行ってもリフト代が高いです。
13	スケート場は家族で行くと結構な出費になるので何回も行けない。
14	降雪期は全く遊び場が無くなるので、冬まつり終わってからもスベリ台は残してほしい。
⑨その他	
1	外で遊ぶこともあるが、キケンが多く、日が短いのでどうしても自宅で遊ぶことが多い。雪国はそんなものではないかと思う。
2	ゆきが降って寒くても外で元気に遊ぶ姿は関心します。雪に濡れてびちょびちょでも大目に見て青森っ子にしか味わえない雪遊びを楽しんでくれるのは、うれしい事だと思います。その後風邪を引かないか心配ですが。
3	自宅の駐車場で遊ばせているので、のびのびさせているほうだと思います。
4	遊び場は充分あります。
5	これがないと遊べないと思う事が残念。子どもが満足ならそれでOK。

6	安全に遊べる場所がたくさんある。
7	雪を使って外で遊ぶのは子ども達の中でいろいろなアイデアで遊ぶので、楽しく見守るようにしている。仕事をしている上で見守れないこともあるので、雪玉を他人の家めがけて投げる(近所の中学生の例)ような非常識な行為をしないよう話をしている。
8	スケートしに行ってます。
9	雪かき中、脇でミニスキーをはいて遊んでいたら、近所の人に注意されたことがあります(ちゃんと見ていたのですが)。昔はそうやって遊んでいたのに。
10	自分が子どもの時と比べて、同年代の子どもの減少、遊び方自体の変化。
11	お友達は高学年になると部活や習い事で忙しく、めったに遊ぶ機会はないです。
12	冬は公園なども行けないので家で集まって遊ぶしかなくなるが、共働きの家だと遊びに行く家も限られる。
13	校庭等、夏冬問わず部活以外の使用を認めない。
14	子どもに障害があるため、安心して遊び場につれて行けない。
15	障害児が安心して遊ぶ場所が無い。トイレにユニバーサルシートがない。
16	冬は室内で過ごす事が多く、運動不足になっていると思います。
17	冬は家にずっといるので(遊ぶ場所がないため家にいることが多い)冬休みは特に、子どもも親もストレスが溜まりやすいです。
18	遊ぶ場所や子どもたちが集まって自由に使える場所が無い。関東から引っ越してきたので特に、冬はなにもすることがなくただ家にこもる事になる。
19	雪が降ると公園等を雪捨て場にするので、なおさら遊べなくなるので残念(仕方ないが)結局、家の中で遊ぶしかないのが不健康。
20	子どもたちが楽しめる行事やイベント等があったらいいと思う。
21	イベントもなく、町おこしもない。
22	どうしても雪がふると家にいることが多く、雪まつりのような雪のイベントをふやしてほしい。

問5-3【記載内容】

①公園の増設(広い空き地含む)	
1	近くにきれいで日陰のある公園が欲しいです。
2	広い公園があると良い。
3	地元の公園を作る。
4	西部市民センターの玄関前広場のような遊び場が公園にあれば楽しいと思う(新城地区は特に古く閑散としている)。
5	昔あった小さな公園等が全くない。
6	地域によって遊び場の格差がある。校庭も狭い上に、大きな公園もない。子ども数が一番多い沖館地区はとても困っている。空地は公園にしてほしい。
7	近所に遊べる公園があると良いと思います。家の前で6時近くまで鬼ごっこなどで遊ばれるとうるさくて困っています。
8	もう少し公園を増やしてほしいです。
9	大人も共存できる公園づくり(親が付き添うのがあたりまえの昨今、親も居心地がいいスペースづくり)。
10	空き家を取り壊す費用を援助するか、市で空き家の土地を購入し小さな公園を作ったり、外で遊ぶ子ども達の姿が見える所がほしい。
11	公園が同じような場所(すぐちかく)に密集していて無い所には無く、かなり遠い所まで行かないとだめなので。
12	広く見通しの良い場所、車や自転車の危険が無い所を作ってほしい。
13	空地があるので遊べるようにしてほしい。夏場ハチが多く危ない(市の土地、前にも相談している)。
14	十分な広さを確保する。草丈は短くする。
15	学校以外でも球技系の遊びができる広場が近くに欲しい。

16	子どもに対し(声がうるさいなど)寛容さも必要ですが、空地が多いと助かります。空地であっても土地所有の困いがあると遊べないですが。遊具がなくても空地、野原があれば楽しめるのでは?と思います。
17	冬の市民雪寄せ場のように空き地を開放し、近隣に迷惑が掛からない柵を設けて多くの遊び場を子どもたちへ。
18	遊具が無くても広い見通しの良いスペースが地域にあればそれだけでも良い。
19	空地など、子どもの遊び場に提供したらいいと思う。
20	車の心配をせずにボールで遊べる広さの確保。
21	草や木がもっとたくさんあるとても広い場所。
22	雪捨て場の他に雪遊びする場を設けてほしい。市で日中は捨てないと決めている場所があればいい。
23	雪合戦など出来る平地があれば良い。
24	歩いて行ける学区内に広い緑地等があれば良い。
25	体を動かして遊べる場所。
26	何か1つでも広々とした遊べる場所をつくって欲しいです。
27	スケボーパークを作ってほしい。
28	岩手県にある「子どもの森」のような場所が青森市にもあれば良いと思います。仙台に住んでいた時に、NPO法人の運営で「あそぼーの」というのがありました。公園やセンター等で自由に作品を作ったり、スタッフとボール遊びやおにごっこをしたり様々な遊びの活動を土日祝日していました。
29	整いすぎた管理重視の施設や場所よりもある程度の自由と未完成な場所に子どもは魅力を感じるもの。今の市民センターなどの部屋は研修室などの用途が多い。一軒家を開放したり、野原が広がるだけで、子どもの憩いの場となるはず。
②公園の改善(遊具以外)(ベンチ等休憩場所設置、外灯設置、駐車場確保など)	
1	わくわく広場や浜田の公園で水遊び出来る場所を利用しますが、もう少し水質を良くしてほしい。下の子はまだ1歳ですが、万一口に入っても安全な水道水が希望。
2	住宅に隣接して公園をつくる場合は、近隣の迷惑にならないようなつくりにしてもらいたい。ボールが飛んでいかなないように周囲に柵など。
3	大人が目が届く場所に昆虫等が観察出来る環境の整備(植木、水場)。水道。ベンチ。
4	勢いあまって道路に飛び出さないよう道路側に囲いがあってもいいと思います。
5	ボールが飛んでいっても危なくないようにしてほしい。家に当たる、車に当たる、道路に飛び出すなど気にしないようにのびのび遊べるようになればいい。
6	水飲み場があること。
7	もっと日陰をつくる。
8	屋根つきの休憩所もあると暑い夏たすかります。
9	水飲み場や、夏に水遊びのできる所を増やしてほしい。
10	ゴミ捨て場や水のみがほしい。
11	木や花を増やす。土にする(へんなジャリはいらない)。
12	ネットを張る。
13	全体的に樹木が少なく、日陰となる場所が少ないため夏季に親子で長時間過ごせる場所が少ないと感じている。もっと木陰ができるような樹木を植えたらどうか。
14	公園に柵があってボール遊びがのびのびできたらいいと思う。
15	公園でボール遊びが出来るようにフェンスやネットがあればいいと思っています。たまに道路へボールを拾いに行く子を見かけます。時計等もあると助かります。
16	広い土地で草木もあり遊具もあればよい。
17	時計を設置してほしい。
18	ボール遊びをすると近くの家に迷惑がかかるため、遠くの大きな公園に行かなければならないので、ネットを設置するなどしてもらえると子どもたちも遊びやすいと思う。
19	トイレがきれいになること。手洗い場があること。
20	ボール遊びが思い切りできないので、高いネットを張ったりするといいと思います。
21	ゴミ箱の設置

22	全天候型にする様に公園全体に屋根を設ける。
23	わくわくランドはとてもいいと思いますが、日かげが少なすぎる。
③遊び場の安全対策(防犯、大人の目、カメラ設置、周辺道路環境など)	
1	死角のないようにしてほしい。
2	死角がなく、周囲の大人達の目が届くような場所にするべき。
3	最近是不審者が多く、気軽に「公園で遊んでおいで」と言えない状況です。交番の近くに遊び場があったら安心して遊びに行かせられると思う。
4	夕方～深夜にかけての見回り(中高生のたまり場とならないよう)。
5	常に親や大人の目が届く場所に遊び場がある事がのぞましい。
6	遊具の安全性と不審者対策がきちんとできている環境にしてほしい。特に不審者はどこの公園・遊び場でも見かけるようになったので不安である。
7	遊び場の安全が確保できたら防犯カメラの設置をする。本当は地域の方の協力で見回りが出来ると良いが、信頼できない(信じられない犯罪がある)。ボランティアではなくお礼金を出すなどして見回る人を増やす。シルバー人材の有効活用。子どもの時から人の役に立つ大切さを教育する。
8	防犯カメラを設置する。
9	小さなケガは避けられないので、簡単な処置をしてくれる「保健室の先生」的なしくみが欲しい。
10	監視できる人を配置する。
11	遊びの指導者がいるとよい。遊具、ボール遊び、おにあそびなど。
12	学区が混ざり合った遊び場は看板等でルールをわかりやすく示す等あればいいのかなと思います。
13	遊具の充実も大切です。しかし、遊び場付近に変な人や子どもをジャマにする大人(特に老人)が多く感じます。声がうるさいのかわかりませんが、いつ危害を加えられるか少し心配です。このような人の意識をなんとかして欲しいです。
14	町内会ごとに公園がなく見守ってくれる大人もいないので、地域の遊び場がなく、今は難しいのかなと思っています。変質者(不審者)も出没するので安心して外遊びさせられません。
15	大人がしっかりしつけをし、子ども達それぞれがマナーを守る様にする。
16	公園なのに近所の方が勝手にボール禁止にしたり、うるさいと注意したりおかしいと思う。青森県の子どもは運動不足と言われますが、そうしているのは大人です。
17	小さな頃から親が公園の遊び方などのルールを教えるべきだと思います。併せて中学生以上になってもたまには親が見守り、ルールを教えなおすようの方がいいと感じます。
18	みまわりボランティア。不審者が出たらすぐ連絡と情報をくわしく伝える。
19	ルールを守ったり、親や地域の人も必ず見守る。
20	十分なスペースと地域の協力
21	校庭で子どもたちがトラブルに巻き込まれても、職員室から先生が見ているのに声もかけなかったことを聞いて、とてもショックでした。必ず交替で見守る人が必要だと思います。
22	地域の人がかかわる(子どもだけにしない)。
23	町内会、学校PTAとのつながりを良くしていけば、地域の方々は子どもにも声掛けをしてくれるはず。町内にも呼びかけを。
24	ルールを決めて、皆でそれを守る様にする。
25	地域の人が見守る中で遊べるような場所があったら良いと思う。
26	大人の目が届くところに作る。
27	子どもだけの場所とするのではなく、大人、老人の活動もできるいろいろな世代が共有できる場所。ニュースなどで変質者も聞くことがあるので、(デパートのように)あきらかにパトロールしている人もたまに現れると安心できる。
28	地域の人々の目があること。
29	地域の人々との関わりが持てるイベントなどの充実。
30	子供中心ではなく、お年寄りにも居心地のいい所、いつも人の目があり安心できる所、老人ホーム、ケアハウスの近くに子供の居場所を作って欲しい。
31	坂道なのですが、崖があるのに道路に柵が無い。聞くと雪を捨てるためにガードレールがさびてくちてきた後は再設置するつもりが無いと言われた。毎日通学路で、さびたガードレールの周りとかで遊んだりしているのを見るたび落ちないかとぞっとする。直して欲しい。

32	自転車の乗り入れを制限するとか、緑地を作るとか〇〇コーナーを作れば遊ぶ年齢も分散されるのではと思う。
④遊具対策(遊具の充実、安全確保、修理、撤去など)	
1	大人も一緒になって遊べる遊具があればよい(体のバランスをとるものなど)。
2	遊具、緑地を増やす。
3	遊具が少ない。
4	鉄棒ができないので鉄棒がほしい。
5	遊具と遊具の間が広い方が良い。
6	十分な広さを確保し、遊具も充実し、周りからも見通しが良い事が必要だと思う。遊具も少なく、敷地もせまいと入れない子どもがいる。
7	遊具を増やす。
8	全国には参考となる遊具があると思うので、積極的に取り入れてほしい。
9	十分な広さや遊具の充実、ミュージアムなど学びの場の充実。
10	遊具の充実
11	大きい遊具などなくても各家庭から集められる不要のおもちゃ等があれば子供たちは勝手に遊ぶと思う。
12	新しい遊具や小さい子供でも遊べるスペースを広げてほしい。
13	公園と学校の遊具の充実
14	もっとまめにメンテナンスをするべき。雪捨て場になった後遊具が壊れているのになかなか直しにこないでとても危険。
15	砂場の砂をきれいに整備し、遊具の点検もしてほしい。植木や木も刈りとり暗がり無くして欲しいです。
16	月1回でも遊具の点検、そうじなど町内会と連携して行うとよいと思います。
17	小学校の遊具を整備、開放して欲しい。
18	だいぶ古くなっている所を見直してほしい。
19	遊具の点検など行い、色もカラフルなものにするなど心も身体も明るくなるような遊び場がたくさん増えると良いです。
20	そうじをしてきれいにする。
21	遊び場がきれいであること。
22	清潔で危険な物がないだけで充分。あとは子どもたちが自分たちでアイデアを出し合うと思う。
23	土ではなく芝あるいは低い草が生えている。
24	公園を1カ月に一度など見回りをして、危険な場所がないか調べてほしい。
25	近くの勝田公園は木が多いため少し暗く感じます。草を適度に刈ってほしい。カラスもいて少し怖い。
26	地域ごとの遊び場が少なすぎるし、あってもすごく薄暗い所や人の目が届きにくい所が多いと思うので、安心して子供だけで遊ばせられません。せめて古くなった遊具を使用禁止にするだけでなく、新しくしてくれたり雑草を刈ったりして環境を整えてほしい。
27	安全に遊べるように点検や見回りをしてほしい。
28	遊具や花壇をキレイにしておく(さびれた雰囲気は防犯上良くない)。
29	夜になると中学生、高校生がたまりゴミが落ちていたりするので、マナーを守るよう徹底してほしい。
30	犬など動物の散歩はやめてほしい。一般、動物病院など、ふつうに子どもの遊ぶ所でおしっこやふんをさせている。
31	毛虫(アメリカシロヒトリ)の殺虫剤など学校や公園に散布して欲しい。
32	公園に緑がたくさんあるのはいいが、初夏蜂が出るので早めに巣を撤去してもらえると安心できる。
⑤公園管理(雑草、ゴミ、トイレなど)	
1	5:00のチャイムの音をもっと大きくしてほしいです。
2	学校では公園でカードゲームもボール遊びも禁止され、いったい公園は何をする所かと感じる。
3	子どもたちに任せて自由に使えるスペースがあればいいと思います。管理や禁止が多い気がします。
4	誰もが利用しやすいような体制作りをしてもらいたいです。児童の取りまとめ役、管理体制、時間について。
5	市民センターなど日にちや時間で遊べる時間を作り、その際低学年優先とか決めれば良いのでは。

6	小・中学生が遊ぶような公園を高校生が利用すると遊ぶ内容も違出し、大人でもこわくて注意できないので利用制限を設けて欲しい。
7	常日頃から1人1人が気配りを心がけたらいいと思います。缶や瓶等があったら拾って捨てる等。
8	子ども達が主となり、ゴミ拾いなどをさせ、「キレイを保つのは手がかかるんだよ」と言う事を習慣付けたい。
9	清掃活動
⑥屋内施設の増設(デパート内への増設、多目的施設の設置など)	
1	空地や空き家の活用(市で借り上げることで、使いやすくなる場所もでてくる)。
2	空き店舗が増えているので、うまく利用できないものだろうか？
3	アピオなど遊べる場所(室内)は小学生が遊べないため、小学生でも遊べる所が欲しい。
4	市民センターのプールのフリースペースみたいな所で大人が往復で泳いでいると、自由に遊ぶスペースがなく、流れに乗って往復で泳ぐしかなくなる。フリースペースは自由にして欲しい。
5	遊び場自体が少ない。市営の屋内遊び場があるといい。
6	冬でも遊べるような施設を作る。冬は子どもなのに運動不足になる。健全ではないと思う。
7	アウガの「さんぼぼ」みたいなのところをもっとほしい。
8	近隣の公共施設(公民館、小中体育館等)の時間限定の開放。
9	屋内の遊び場を増やす(小学生)。
10	公共施設の体育館の開放とか。
11	屋内で遊ぶことができる施設を作ってみてはどうか。
12	子どもたちがいつでも自由に入出りできる集会所のような所がほしい。以前住んでいた所にはあった。子どもたちがいつでも自由に入って遊べた。
13	幼児ばかりでなく、小学生以上が利用できる施設があればいいなと思います。
14	地域コミュニティーセンターが足りない、もしくは古い。
15	青森市は11月～3月は雪の影響で子どもの遊び場が制限されるため、影響を受けない屋内施設を増やしたり、既存の建物を充実させる必要がある。アウガの特定フロアを子どもの遊び場にしたり、体育施設にするとよい。もっとお金をかけるべき。
16	集会所がない。管理してくれる人がいつもいて、子ども達が放課後自由に行き来しやすく、子ども達が行きたいと思える設備を十分に整えてくれる施設があるとよい。
17	市民センターに屋外で遊べるスペースもあって、天気によっては屋内に入って自由に遊べる。講座だけでなく自由に遊べる時間帯を作る。
18	児童館や公民館などの施設、設備が地域によって差がありすぎるので、もっと設備をよくしてほしい。特に古い学校の地域は公民館だけでもよくしてほしい。
19	学校をもっと開放してほしい。
20	いろんな体験ができる場所づくり
21	児童館の新築等。
⑦屋内施設の改善・管理について(学校・体育館の開放、施設の老朽化など)	
1	公園までは遠くて遊びに行けないので、学校の遊具をもっと増やしてほしい。
2	他校の子ども遊びやすいように、学校から指導があるといいなと思います。
3	乱暴な子がいるため児童館に行きたがらなくなった。
4	近所の市民センターや町会の会館などを開放して、手作りの遊ぶ物(おてだまなど)地域の高齢の方に協力してもらい、作り方・遊び方を教えてもらう。
5	冬休みのアウガ図書館駐車場無料の時間を増やしてほしいです。
6	各学区に図書館など勉強のできる場所(友達と勉強できるような)があればいいなと思います。
⑧公園、施設における問題点、苦情、要望など	
1	夏休み中ラジオ体操が近所でやっている所がないので小学生のコミュニケーションがあまりとれていない様な気がします。
2	市単位で曜日、時間等を決めて子どもの自由活動(親の目が届かない)の場を設定する(昔あった風景)。
3	障害児のみが遊べる場をつくってほしい。
⑨その他	
1	町会でサッカーゴールやバスケットゴール等を持っていてくれたら嬉しいです。

2	遊び場を学区内や近所に欲しい。
3	居心地良くするよりも、まず遊び場を作ってほしい。
4	近所の遊び場は年齢別に分散していると思われる。広い年齢層の子どもと親が集まる施設に統合すれば、安全性と経済合理性が確保できると思う。
5	もっと子ども達同士の交流の場がほしいです。
6	遊べる施設を増やしたらいいと思います。
7	あるていど料金(100~300円)を取ってでも遊べる場所を作ってほしい。その方がメンテナンスもできるだろうし充実できるのでは？小学校高学年まで遊ぶのが可能な運動できるスペースを取ってほしい。
8	整いすぎた管理重視の施設や場所よりもある程度の自由と未完成な場所に子どもは魅力を感じるもの。今の市民センターなどの部屋は研修室などの用途が多い。一軒家を開放したり、野原が広がるだけで、子どもの憩いの場となるはず。
9	昔の人の話ばかりに耳を傾けていると、今の世の中の若い世代には受け入れられない(若い人向けではない)。
10	ホームレスを排除する。
11	学校からも禁止される事が多く、子供が思い切り遊べないので、こちらが良いアイデアがあったら教えてもらいたいです。
12	子どもたちだけで行く事ができて無料であること。
13	色々な事環境づくりをする。
14	ある程度の広さを考えて、住宅地を少し遠ざける。

問6-2【記載内容】

①仕事を優先(している、せざるを得ない)	
1	現実問題で家庭だけ優先して生活出来ないのでもどうしても仕事が優先してしまう。
2	収入を得て子どもの習い事等の資金に充てたい。その為に個人のスキルを上げ、学習・社会参加の機会を得たい。
3	パートでも良いが、現実には生活していけないので共働きを余儀なくされている。
4	仕事をしないと生活ができないから。
5	仕事はしたくないが生活のために。賃金が安すぎるので到底趣味娯楽にまわせない。
6	暮らすにはお金が必要です。そのためには仕事と家庭を両立させることが一番良いのではないかと考えています。
7	仕事優先で働かないと生活できない為。
8	母子家庭のため仕事が優先になる
9	シングルマザーで収入が少ないと生活できない。実家にすんでいるが私以外の家族が病気で働いていない。
10	家事や子どもの時間を沢山取りたいが、実際仕事をしないと収入がなくなる為。
11	経済的に収入が必要なのでパートをしています(理想はもっと自分の家事力をあげて家庭生活を中心に暮らしたいです)。
12	母子家庭なので働かないと食べて行けない
13	家族も大切だが、仕事しないと生活できない為仕事も大切。
14	シングルマザーなので仕事中心になってしまいます。
15	働かないと生活が苦しい。たまには子どもが学校から帰るのを家で待ってあげたい。いつも子どもより帰るのが遅いので、「おかえり」と言われるのではなく、「おかえり」と言ってあげたい。
16	仕事をしないと生活できないのが現実。
17	休日子どもを見てくれる人がいないのですが、働かないといけない。言語学教室に通っているのですがなかなか時間がとれない。
18	母子家庭なので働かないと収入面で。男性並みに働いてもなかなか収入が増えない。

19	仕事をしないとごはんを食べられないけど、仕事に時間をとられすぎると食事の支度や掃除がおろそかになるから。
20	働くことなく子育てしたいが現実には習い事等をさせたいのでお金の面で働き子育てとなる。
21	給料が入らないと生活できない。つまり、安定した生活をするために仕事がある。
22	主な収入源は母親である私のため、仕事を休むことで収入が減る。理想は仕事と家庭生活がバランス良くなれば一番良いと思う。
23	仕事しないと生活していけない。
24	共働きでない和生活していけないが、1人っ子で旦那も出張が多い為家庭の事も全部私がやらないといけないため、子どもにさみしい思いをさせたくないの。
25	年金生活者などでお金が足りない
26	収入がないと家庭生活や地域個人の生活の充実は難しい。
27	ある程度仕事をこなさないと、家族と楽しく生活する為にも必要な収入も得られないと思うので。
28	家族との時間が大切だが、そのためにはお金も必要であり、生活するために仕事しないとイケないので、どちらも優先させたい。
29	家庭生活を優先させるには＝仕事で得る収入が定期的にあること
30	仕事を優先にしないと生活ができないし、なかなか休みも取りづらい。でも自分の趣味などの時間も欲しいと思う。
31	仕事しないと生活していけない。
32	もちろん家庭生活が一番大切ですが、生活していくためには仕事もきちんとして収入を得なければいけないと考えるから。
33	「地域・個人の生活」は空いた時間にやればいいと思ったので特に優先にはしませんでした。仕事はしないと生活が出来ないので優先になります。もう少し子どもの時間が欲しいです(今の仕事なかなか休みが取れないので)。
②家庭を優先(している、せざるを得ない)	
1	夫は仕事をがんばり、妻は家庭を一番に優先。
2	第1子の小さい時に仕事を優先しなければいけない状況で、いつもギリギリの精神状態で苦しかった。かわいそうに思う事ばかりだったけど、その時その時でその場をなんとかやりぬくことで精一杯。今は子ども、家庭優先できて、ストレスフリー。
3	家族をもった責任。母親として何を一番に考えるか。
4	家庭が有るため仕事をすると。人生において大切な物事は順番が生じる為。
5	仕事をしてないので。
6	以前は仕事をしながら子育てをしていたのですが、今思うと一番かわいい時期を保育園に預けてしまって後悔しているので、仕事をやめた今が一番幸せだから。
7	子どもに手がかかるのは一生のうちで今だけなので、しばらくは「家庭生活」を優先しようと決めたので。
8	専業主婦も立派な仕事だと思うから。給料はないが、朝起きてから寝るまでずっと家族の為に仕事をしているのだから、仕事に専業主婦も入れて下さい。
9	子育ての時期は家庭生活が最優先されるべきという考えであるから。
10	今は子供の幸せが一番大事
11	下の子が小さいので、仕事をせずに子供との時間を優先したい。私が働かなくても今のところ生活できるので。
12	家族と過ごすことを大事にしているから
13	子供はまだ小さいから
14	子供と一緒に暮らせるのは高校卒業までだと考えているので、今は家庭の時間を大事にしたい。
15	子育てはやり直しができないし、子どもの成長は早いので今は子育てを中心に、後々後悔したくないので。上の子の時は仕事を優先にし、結果的に心身のバランスを崩しました。今のライフスタイルを幸せと感じています。
16	子どもが中1、小5の2人おり必然的にそうなる。
17	現在仕事をしていなく、子ども2人の学校行事や家庭のことでいっぱいです。

③両立ができています	
1	職場が家庭生活を優先するように考えてくれるので。
2	仕事もするし、比較的会社の休みがとれる状況にある。
3	現在は市のパートをしているが、任期が終了し民間企業の職に就いた場合はきっと、家庭生活を優先したいのに仕事を選ばなければならぬ場面も出てくるのではないかと思う。そうなると仕事に就きたいが、なかなか行動に移せなくなるかも。
4	子どもが学校に行っている間のパートなので、仕事も家庭生活もまあまあ両立できている。
5	出勤退勤時間が子どもたちとあまり変わらない職場を選ぶことで、家庭生活も同時に優先できる。
6	どちらも大事だから。責任がある。
7	今の所うまくまわっている。
④時間がない	
1	仕事が定時に終わることがないので、子供と過ごす時間がほとんどないし、自分自身もっとリフレッシュしたい。
2	子どもが病気でも休みにくい。
3	子どもと一緒に遊びに行ったり楽しく会話したいけど、仕事で時間がなくなったりしてしまうから。
4	家事が満足にできればいいと思う。部屋が片付いていて、時間のかかるメニューを作ったり、手作りの物が多いのはいい。ただ、仕事があると日中は仕事になる。
5	中学教諭として働いているので仕事が忙しく、本当は自分の子どもとの時間をもっと持ちたいけれど無理です。
6	仕事が忙しく、あまり子どもとの時間をとれてないから。
7	家庭の安定なくして仕事の充実はありえないが、責任や仕事量はそれを実現できる状況にない。
8	子どもとの時間を大事にしたいけど、実際には仕事の時間におわれていて子どもにさみしい思いをさせている。
9	早めにお迎えに行き、公園などで思う存分遊ばせてあげたいですが、仕事が忙しいとどうしてもそれが出来ないのです。
10	仕事で休めないのも仕事優先だが、休みをとって家族と過ごしたい時もあり、子どもの参観日にも行ってみたい。
11	仕事柄家に居れない為。
12	子どもに十分時間をかけたい。心の余裕を持ちたい。
13	子どもが病気になっても看病を十分にできる職場環境がないこと。福利厚生がしっかりしている。
14	仕事の休みが少ない。
15	家族の時間が多いのが理想だが、仕事を休むのが悪いので、家庭には多少無理をさせるしかないのが現実。
16	土日関係なく仕事をしている為。
17	勤務のシフトがあり、休日が子どもと一緒に出来ないなど不便がある。
18	1番は家族優先と気持ちはあるが、いざ職場に行くと人が足りない、業務があるなどで、まずは仕事を優先してしまう。
19	仕事柄、子どもが病気にかかっても休むことが困難。仕事が忙しい分、休日はたまった家事や用事におわれ1日が終わってしまう。
20	主人は子どもの行事、病気などがあっても休めません。
21	子どもの病気で仕事を休む時に言いづらい。そのため、自分が病気(カゼ等)の時、なるべく休まない。
22	自営業の為有休や時間休みがないので仕事優先になってしまい、子どもを留守番させている。
23	地域との関わりは少ない。子どもを差し置いての個人生活の充実は正直気が引ける。子どもとの時間(楽しめる時間)を多く持ちたい。
24	仕事のかかえる量が多い、子どもがいても職場内で仕事をお願いして帰れる状態ではなく、優先せざるをえない。
25	仕事が忙しいので。
26	仕事が休みづらい、母のみ子どもの為に仕事を休む。
27	子供の為に働いているが、職場の都合もあり、思い通りに行かないこともあるから。

28	学校の部活は保護者に頼りすぎなのでは。車で送迎があたり前で仕事をしている親は都合が悪い。
29	子どもとの時間をもっととりたいが、休日などあわせてもらえない。また、日常的に帰宅時間が遅いので子どもをふびんに思う。
30	保育園、学校から連絡来た時、早退するなどとてもにくい環境だ。
31	本当は家族の時間を大事にしたいのだが、仕事の量が多く家族が犠牲になっている。
32	子どもの休日に合わせて休みたいが休みが取れないことや、会議や研修が就業後にあるため、帰宅が遅くなりがち現実から。
33	仕事を休めない。
34	仕事が忙しく家族と過ごす時間が不足しているため。
35	仕事が遅くに終業するため、なかなか時間が作れない。
36	仕事が忙しく、子どもと接する時間が少ないので。子どもも習い事で忙しく、ゆっくりする時間が少ないので。
37	単身赴任のため、週末しかいない。
38	バランスをとって生活したいが仕事が忙しいと家事がおろそかになりやすい。
39	母子家庭のため、仕事をフルタイムでしてるので、子供をきちんと見れていない気がする。
40	仕事では「責任」があるので、休めない時や家へ帰ってからでも仕事をしています。
41	仕事の都合で家庭の予定を変更することが多い。
42	家族と過ごす時間をもう少しほしい。仕事を優先してしまう為ゆっくりすごせない。
43	家族優先(子供)になるような仕事の仕方を目指しているが、実際は職場の環境などにより、仕事優先になっている。
44	本当は家族と過ごす時間をもっと増やしたい。
45	仕事と子どもとの時間のバランスをもう少し両立できたらいいと思っています。
46	せめて子どもが中学生に上がるまでは子どもや家庭を優先させたい。現実には女性に対する理解が全くない職場。その中で無理して家庭生活も優先している。
⑤両立が難しい	
1	県内本社小さい会社につとめていれば仕事、家庭の両立は現実は無理。
2	仕事は家庭を支える上で必要なものなので、優先しなければ成り立たないし、家庭ではそれによって人間形成する上で大切。
3	仕事をして収入があるので生活できている。
4	家の事と仕事とそれだけでいっぱい입니다。
5	どちらも大切で大事にしたいが、現実、場合によってどちらかに片寄る事もあり。
6	子どもが生活の中心なので。
7	現実には家庭生活を守ることが仕事優先することだと思う。希望は家庭生活を優先し、且つ家庭生活を守ること。配偶者からの理解が得られれば良い。
8	ひとり親なのでやれる事が限られているため
9	家庭生活を優先させたいと思っているが、現実には難しい。
10	パートですが、時短のため時間数が少なく周りへの負担や目が気になります。
11	子どもの試合の時などは、必ず応援に行かせてもらっていますが、職場の人には負担がかかっていると思う。
12	家族との時間は大切にしたい。
⑦地域活動や個人生活も充実させたい	
1	平日はほぼ単身赴任なので、地域に対する活動の優先順位は下がる。
2	まずは必ずやるべきものがあるのでそれを優先し、自分の事は後回しになるが、子育て中の今は仕方ないと思う。
3	地域にもう少しとけこみたいと思ったので。
4	最近は共働き世帯が多く、PTA活動等主にボランティアに関心が無い方が増加している。
5	時間が限られている為、仕事と家庭生活とで精一杯だが、子ども達の地域活動へ参加したいのが本心だから。
6	やりたいことはあるけれど、現実には思うようにいかないから。
7	仕事と家庭生活だけでも時間が足りないくらいだから。

8	仕事育児介護で日々忙しい。育児と介護でサービスを利用させてもらっているのでもうどうにか維持できているものの、それでも大変。仕事も求められることが多すぎて、早く死ぬ人が多いのもそのせいだと思う。
9	どれも生活していく上で必要不可欠だが、どうしても家庭と仕事が優先されてしまう。
10	自分の時間が少ない。
11	楽しみながら生きていくことで仕事もがんばれる。人とふれあうことで考え方や生き方をよき方向へ向きを変えることができる。
12	子どもの面倒を見てくれる人が近所にいないので。子どもに手がかかりすぎて自分の時間がないから。
13	時間の余裕がなく、仕事と家事をこなすことが精一杯の場面が多い。
14	収入の関係でなかなか趣味娯楽にお金がまわりません。
15	なかなか地域活動に参加できていない。時間などが合わない場合が多い。
16	地域、町会での行事に参加出来ていない。
17	地域の活動に出ていく方法がわからない。PTAは活動しているが。
18	生きがいを作りたいから。
19	地域ねぶたやラジオ体操を、子供がとても喜んで参加しているので、もっと地域の催しに参加できたらいいと思う。
20	子供のためにも、自分や周りの人たちにもいろんな事に挑戦したいと思うので。
⑧現状に満足している	
1	バランスとは均整がとれている事と思う旨。
2	仕事あつての家庭生活であり、家庭生活あつての仕事と考えます。そのなかでボランティア活動ができるのは環境的に恵まれていると思います。
3	家族との時間がとれて、趣味も楽しめているので。
4	仕事をやりつつ休みの日は家事をし、娯楽など個人で出かけた時は家族の協力の下、出してもらっている。
5	社会貢献が少しでもできればいいなと思うので。
6	毎日が幸せに生活できているから。
7	今はボランティアなどをしていてパートの仕事をその間にやっている感じです。
8	仕事家庭生活、個人生活を自分で出来る範囲で上手く調和する事を大事にして生活している。
9	意識の持ちようで全て解決できる。
10	主婦なので無職であるため
11	家事の事をできないと、他の事をやらせてもらえないから。
12	子どもの教育資金のために仕事も大事。家庭はもちろん大事。家族と自分のためにも、つきあいも大事。
⑨その他	
1	家族を養ううえでも日本国民の一人として社会貢献していくうえでも仕事第一に考えるのは当然の事と考えるため。
2	家庭よりも仕事優先する女性が増えてきた事。
3	働いていないのでわからない。
4	PTA子供会活動で忙しい。
5	PTA活動や子どもの地域参加の行事等のお手伝いがけっこう忙しい。特にPTA活動は必要ではないものが主婦の立場からも多すぎると思います。

問6-3【記載内容】

①有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境	
1	勤務先の子育てに対する理解と協力
2	職場の理解(なるべく定時で帰宅できる環境)。
3	職場の周囲の人の反応。
4	会社の上司の理解。
5	会社での同僚の理解。

6	理解のある職場。
7	地域、職場の理解が必要。
8	職場の理解を求めます。
9	職場の理解(特に男性の意識改善)。
10	会社内の上司、同僚の理解が必要。法律が整っても全く機能していない場合もある。子育てが当たり前 前の社会にならないと子どもを産みたいと思わない。
11	社会(会社)の男性または雇用者、上司等の子育てに対する理解。
12	職場の理解。様々な制度を活用できること。
13	育休を取りやすくする。職場復帰を温かく見守る。
14	雇用側の理解のみ。
15	職場の理解
16	小さな子どもがいる社員に対して、企業側も配慮して欲しい。
17	働く場所での周囲の理解が必要だと思う。
18	男性の育児休暇をもっと積極的に取り入れる職場を増やすようにする。
19	男女助け合いながら仕事と子育てを両立するとしても、職場の理解や助けがなければ家庭を充実 することができない。
20	どんな支援というよりも、子育てをしながら働きやすい職場の環境やまわりの理解が一番必要。
21	周囲の子育てに対する理解不足の解消(独身の方だと理解してもらいづらい)、上司など。
22	支援よりも会社が協力的か理解してくれるかによると思う。
23	子育てを優先し、考慮してくれる職場環境(男女ともに)。
24	職場の理解。
25	子育てに理解ある職場を増やすこと。
26	職場の協力
27	男女の育休など。子どもの理由での早退、短時間の勤務に理解あること。
28	男子でも育児休みが取りやすい職場環境がまだまだ整備されていないような気がする。
29	職場の理解。
30	小さな子どもがいても安心して働ける職場の環境整備。
31	職場での子育てに対する理解。
32	職場の理解
33	仕事先の理解。
34	風通しの良い職場。
35	会社が子育て中の家族に対して柔軟に対応してほしい。
36	男女ともに「子育て」に関して、職場の理解が必要だと思います。
37	職場の理解
38	男性の育休。
39	子育てに対する会社の休みやすい環境づくり。同僚、上司の理解。本人の意識改革、特に男性。
40	職場の理解。休みがとりづらい。言いにくい。休ませてくれない。
41	自治体で制度が確立されていても、働く場所でそれが認められなければ意味がないと思うので、社会 全体で子育てしながら働ける環境作りが必要ではないでしょうか。
42	会社の理解
43	女性も家庭の事で休みにくかったりしている以上、男性の育休取得率はあがらない。職場企業に対し ての対策を充実させて欲しい。
44	子供は宝物。妊婦や子育て休暇を歓迎する社会にしていくべき。具体的な意見は思いつかないで す。
45	父親の育休の義務化。父親が子育てに参加できる時間の退社時間の設定(制度)。
46	市役所(市)から企業(会社)に対しての育休の後押し制度。
47	企業の理解が一番なので、支援というより市内の企業に子育て世代の親達が働きやすい、休み等 を取りやすい環境の協力を呼びかけて欲しい。まだまだ青森県は遅れていると思います。
48	有休を気兼ねなく取りやすくする方法があればと思う。現実には理由がないと取れなかったり、嫌な 顔をされるため、子供の発熱等でも取りにくかったりする。
49	職場での休みの取りやすさが必要。
50	今の職場には有休がないので、個人経営の会社に対してもきちんと社員に有休をあたえるよう指導 して欲しい。

51	男性が職場で自分で言わなくても小さい子供がいたら自然に休めたりする。
52	子供が病気や怪我をした時や学校行事で休みが必要な時、休みを取りやすい環境や周りの支援。
53	有給休暇を取りやすくしてほしい。
54	子どもが病気になったり学校行事などの参加のためにスムーズに休める職場の体制。
55	休暇のとりやすさ。
56	子どもが小さいうちは高熱を出したり具合が悪い事が多く、そんな時は女性が仕事を休み職場からは嫌味を言われ辛い思いをします。
57	有給休暇取得の義務化(又は取得率の高い企業の表彰等)。
58	有休取得優遇制度
59	有休を取りやすい環境
60	子どもが病気になった時、仕事を休むのは母親ばかりなので、父親も休みが取りやすければよい。
61	職場でPTA活動の理由で仕事を休めるようにしてほしい。働いている理由でPTA活動していない人がほとんどなので、まずPTA活動、学校に出てきてほしい。絶対にPTAが入口になると思います。
62	男性も子どもが病気の時とかは早退、欠席できやすい社会になってほしい。
63	どの職場においても子どもの為の休日(有休)を作してほしい。子どもの風邪、病気などで休んでも文句言われぬ為に。働く親の有休はほぼ子どもの為に消えているから別枠で作ってほしいです。
64	父(男)側も、もっと休みやすくしてほしい。
65	どちらとも急用(子どもの急病など)の時に休める、または別の人をお願いできる職場があれば良い(難しいと思うが)。
66	子どもが体調をこわした時、休みやすい職場環境だと嬉しい。
67	休みを取りやすい職場、時間で抜けれる職場。
68	「子どものため」が理由の時ほどどんな理由であれ早退、欠勤を気持ちよく認めて欲しい。
69	休みが取りやすい職場にして頂きたいと思います。
70	子どもの発熱時の(職場の)休みやすい環境。
71	子どもが病気の時確実に休ませてくれる職場作り。
72	男女の平等な育児休業や、会社の理解が必要
73	家庭の事情でも、もっと気軽に仕事を休めるような環境作りが必要。
74	有休をもっと増やすこと。
75	職場でのスタッフの充実(人員がいないと休みがとりづらい)。
76	病気の時休ませてもらえるか。
77	有休が自分の希望でとれるような職場環境。
78	学校行事や病気の時でも、すぐにでも休める状況を職場内で作って欲しい。
79	水ぼうそう等つづけて休みたい時や、高熱等で急に休みたい時に休ませてくれる職場の理解が必要だと思います。
80	会社自体でも理解してもらって、風邪をひいて休んだりしてもあまり嫌な顔をしないでほしい。
81	仕事の仲間の理解、子供優先とは言いつつ休めないのが現実。
82	病気の子どもがいる時に休める体制を整えていただければ。病気の子どもを施設に預ける気持は全くないので、自分が看病したい。
②子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、施設数増など)	
1	夕方から夜にかけて子どもを見てくれる支援(どうしても残業しなければならない時の対策)。
2	夕方7時頃まで面倒を見てくれる施設がほしい。できれば夕食も食べさせてほしい。
3	子どもを預かってくれる環境。
4	土日祝日も預けられる(高くない金額で)場所があると良いです。
5	子どもが楽しめ、親が安心して預けられる場所。
6	子どもを預ける所、預けられる人がいなければ働くことは難しいので、そのための人材、場所は充実させてほしい。
7	夫婦だけでなく第三者が子どもをたまにみてくれたり、相談にのって欲しい。親せきなども少ないので、公的な信用のできる組織があって、頼みやすい経済的に負担のすくないものであって欲しい。
8	お金をかけずに収入に関係なく子どもを預かってくれる施設があればいい。対象も小学低学年だけではなく高学年もあわせて欲しい。
9	土日祝日子どもを安全に預かってくれる所、安心して遊べる所があれば良い。
10	日中、子どもを安心して預けられる施設が整っていること。それが高いと預けられない。

11	職場か近くに子どもを預ける施設があると嬉しい。
12	子どもを預かる施設の充実(保育園、病児など)。
13	子どもを安心して預けられる場が必要だと思う。
14	日曜日預ける場所の確保。
15	保育園等の充実。
16	利用時間の延長、土日の預かり。
17	日曜、祝日も子どもを預ける事ができることにこしたことはない。
18	学校後放課後に子どもを預けられる場、夏冬ゴールデンウィークなどにも預けられる所。
19	子どもの保育所等の確保、保育支援の充実。
20	子どもを預けられるところの充実(小学校高学年でも可能な所を増やしてほしい)。
21	保育施設、放課後児童会などは時間の幅を広げ、日祝も休まず年中無休にする。年末年始なども勤務がある人は困る。
22	安心して子どもを預けられる場所。
23	日曜、祝日に預ける所がないので、児童館など預ける場所があればいいなと思います。
24	子供が遅くまで預けられる施設。
25	土日、祝日の保育。
26	認定こども園をもっとふやして、保育園や幼稚園をもっと自由に選びたい。
27	子供を安心して預けられる。
28	子供を預けなければならない場合、すぐに預けられる場所。
29	子供の安全が保障される場所がもっとあればいい。
30	どんな子でも(働いてなくても)預けることができる。
31	土、日、祝日の子供を見ってくれる施設や医療体操の充実
32	子供を預かってくれる所があるといいです。
33	子どもを預けるところ(無料)にて長期休みにも対応する。
34	パートでも放課後見ってくれる所があるといい。近くの空き家を開放して放課後見ってくれるとか(なかよし会の場所が遠いから)。
35	子どもを預けられる場所をふやしたり土日祝日も預けられる事が必要だと思う。
36	保育、託児サービスの充実。
37	早朝～遅くまでの児童預かり。
38	保育施設。
39	放課後児童会の終了時間の延長(20時位まで)と日祝の利用。
40	最近始まった放課後子ども教室にとっても助けてもらっています。ここで宿題をやってくれるので親も子供も時間に余裕ができました。しかも無料なので本当に助かります。できたら週3~4日、推進員を増やして欲しいです(子どもが大変そうと話してました)。
41	私の家は祖父母が同居なので、普段は子どもを預けたりする必要が無いのですが、祖父母の急用の時等、放課後子どもを預けるのに困る事があります。放課後児童会や子ども教室等に事前の申し込みがなくても1日だけとか預けられるサービスがあれば助かります。
42	放課後子ども教室のような、フルタイムで働いていなくても子どもを見てもらえるような場所はありがたいと思います。
43	学校での勉強を家でしっかりとやらせて下さい(宿題の確認、一緒にやる)。と言われるが、仕事がおわり、宿題をやる時間は8:00すぎ、9:00頃となる。低学年にはきびしいので、児童会などで勉強を見してくれる先生がいると助かる。
44	放課後に利用する施設の利用時間を延長して欲しい。フルタイムで18時より早く終わる仕事はあまりないと思います。18時までに迎えに行かなければいけないので、サポートしてくれる家族がいない場合はかなり無理があります(ひとり親の家庭など)。施設を利用しなくても、家で子どもの帰りを待っていてあげれることが一番良いと思います。
45	平日、せめて7時まで低学年児童の預かりをしてほしい、6時だとむり。
46	子どもが自由に行ける児童館を数多く充実させてほしい。
47	放課後児童会の中で習い事が出来ると安全・安心して長い時間の就労もできるのかもしれない(スポーツ教室、英語、ピアノ等、有料で)。
48	放課後児童会はいいと思うが、暑い時期でも屋内ばかりで飽きてしまう。

49	子育てしながら働くのは当然と考え、子どもを預かってくれる施設の充実を図る。
50	子どもの長期休暇の際の行事(子どもだけで参加可能なもの)。
51	土曜も授業をしてくれると助かります。学校にいる間は安全なので。
③病児対応施策等の充実	
1	病気の際の預け先(出校停止の時など)。
2	急な病気の時の託児。
3	病児保育。
4	病児保育の充実。
5	子どもが急病になった時に日中みってくれる施設、支援がほしい(仕事を急に休めない為)。
6	病児保育が充実しているか。
7	子どもの急な発熱のときなど、預かってくれる所があるとたすかる。
8	子どもが急な病気だけど仕事があるような時、時間帯を気にせず(早朝や夕方以降など)ちよつとの間でもみってくれる、預かってもらえるシステム、場所が近所にあつたら助かります。サポートシステムなども家の近くではないからがまんしようと夫婦でやりくりしている現状です。
9	子どもが熱、病気の時にみってくれる人がまわりにいないので困る。
10	子どもが病気になった時
11	病児保育をかかげていても、結局は見てもらえない。保育所にもきちんとナースを配置し、病児を預かってくれる環境にしてほしい。
12	病児保育が不足していると思う。
13	風邪をひいた時にみってくれる施設があれば助かります。
14	病気(カゼ等)でも子どもをみってくれる、病院に連れて行ってくれる。
15	病気の時に面倒をみってくれる無料または少額のサービス。
16	病気の時に預けられる場所。
17	子どもが病気でも安心して預けられる又は休めること。
18	病気になった時に安心して預けられるところがあればいい。
19	子どもが具合が悪くなると休まなければならないので、病後時保育をもっと充実してほしい。
20	病後児保育の充実
21	病児保育の施設の充実化
22	親が仕事をしていても安心して過ごせる場所がある。病気の時に不安を感じずに預けられる場所が必要。小児科医の協力のある病児保育の充実。
23	病児託児(近所で預かってもらえる様なシステム)
24	具合が悪い子を預かってもらえる所もありますが、1~2人しか見てもらえないし、自宅から遠いと結局仕事を休みます。もっと具合が悪い子を預かってくれる施設を増やして欲しいです。
25	子どもが病気になった時、安心して預けられる場所がある事。
26	病児や一時保育の充実
27	子供が風邪などかかった時に対応してくれる場所があれば働きやすいと思います。
28	子供の急な病気に対応してくれる場所が少ない。
29	職場の支援が無理ならば病児保育をする施設などの増設を希望します。
30	子育てしながら働くために一番心配なことは子供の病気や怪我です。急な入院等でもサポートしてもらえるようであれば良いと思います。
31	子どもが病気になった時、仕事を休めない事もあるので、そのようなときに子どもを見ってくれる施設などあればいいと思う。
32	病児保育。
33	病児施設を増やす。
34	安価な金額での病児預かり。
④経済的支援(各手当増額、保育料軽減、給料増額など)	
1	時給を上げてほしい。時給が低い為無理してでもはたらく時間を増やさないと稼げない。その為、家庭での時間が少なくゆっくり色々な事、話などできない。
2	男性の育休時の収入を上げる(女性も同様)。育休期間中の収入が少なく制度の利用は困難と思う。
3	賃金のベースアップ。
4	給与が上がればいい。
5	給料が低い、共稼ぎしないと十分な収入が得られない。

6	賃金を上げて欲しい。
7	賃金が低いところが多いので長時間働かなくちゃいけないと子育てによくない事がある。
8	賃金が高い事。
9	経済的な支援。
10	それぞれの仕事先の都合、雰囲気もあるので、一部の人しかうけられない支援ではなく、みんなが同じ支援を受けられるようにしてほしい(金券や医療費)。義務教育のうちは学費免除などにしてほしい。
11	金銭面。
12	サービス料、家賃、物価等が安いこと。
13	会社側に負担にならない様な経済政策、支援。
14	子ども手当、親の支援。
15	子ども1人あたりに対しての補助金などの支援。
16	子育てしながら働いているのに格差が広がる一方。スポーツや塾に行かせるにはお金がかかりすぎ。一人親の方が優遇されているのでは。
17	保育園代が高すぎる。
18	女性が働けば働くほど税金もたくさんとられる。子どもの将来の為に子どもとの時間を少なくして働いているのに、何のために働いているのか。子育て家庭の税金を減額してほしい。
19	必ず夫婦の他に子どもを見てくれる人がいないと仕事にもつけません。急な病気では嫌な顔をされ、何かあると「お母さん」。そんな世の中で平等なんてないと思います。それなら子どもに十分な教育を受けさせてくれたり、ひもじい思いをさせないだけのお金がほしいです。
20	税金の緩和。生活のために働いても税金が高く、ある程度までしか稼げない。給料が少なくても働いている時間が長く、家の事が負担に思う。
⑤労働時間の短縮(定時帰宅、残業なし、仕事量軽減など)	
1	仕事量を軽減し、ワークシェアをして欲しい。
2	働き方の多様化。
3	子育て世帯に直接支援だけでなく、企業への補助なども必要。フレックスタイムなど時間の調整がしやすい職場環境。
4	主人が職業柄土日祝も仕事で、家族そろって遠出することがまずありません。中堅以上の子育てを一段落された年代の方々が、職場でもう少し業務を分担してくれればいいのになと思います。子どもが欲しくても夫婦ともに仕事が忙しく、それがかなわない場合もあると思うので、少子化対策にもなると思います。
5	土日休みかどうかが一番の条件なのです。そのような支援が一番欲しい。
6	職場の理解が必要。子どもがいることで早く帰ったりすることで、独身などでどこまでも残業できる方を評価したり、早く帰ることで賃金格差をつけられたり現状はますます子どもを産むことに抵抗できてしまうと思う。
7	私の場合は、支援とかよりも母親が働きに出れる勤務時間が重要です。
8	仕事と家庭の両立支援、仕事と家庭融合をうながす取り組み希望。
9	定時退社。子育て中は休みを取る事が多く、残業しない為に日中必死で働いている。にもかかわらず、しょっちゅう休むとか、残業できないとかで比較されるので、社員全員が同じように休み帰宅する社風になって欲しい。そのために行政から企業に働きかけてほしい。
10	労働時間やサポート体制、復職支援等の整備。
11	職場の退勤時間の厳守。特に小学生のいる時の仕事の軽減。
12	残業しない日を必ず作る。
13	家事を協力するためには残業のない社会になると良いと思います。
14	子どもが小さい時だけでも働き方を選べたらうれしい。バリバリ働きたい人もいれば、子どもと向き合いたい人もいると思うので。
15	仕事の時間が選べる(フレックス制など)、残業が無いなど支援よりも子どものいる家庭の仕事の環境が良くなれば良いと思う。
16	長時間労働の縮減。
17	ワークシェアなどがもっと広がればよいと思う。

18	仕事へしぼられる時間が短くなるようにしてほしい。
19	子どもの帰宅時間にどちらかの親が自宅に戻れる工夫が望ましいと思います(特に小学生の低学年の時)。
⑥父親の家事・育児への参加意識	
1	夫がもっともっと子育てに協力して欲しいが、全く協力しないので残念です。
2	パートナーの理解。1人で全部は完璧にできない。
3	男が家事育児をもっと積極的にするべきである。
4	父親が家事育児をすることに偏見をもたない環境を作ること。仕事しかしない父親をもてはやすのは昔の話です。
5	男性の家庭内での家事育児サポート。
6	仕事をフルでするなら旦那さんと家事は半分ずつ協力してもらいたい。
7	男女どちらかが家庭をしっかり見守る時間が大事。男女ともに働き続けるのは、子どもの視点からはリスクが高すぎる。そんな都合のいい話は子どもの視点ではありえないと思う。
8	どうしても女性に家事子育ての負担が多いと思うので、男女ともに子どもは夫婦ともに地域と協力して育てるもの、という意識をもつ。
9	男性の意識が変わらなければ難しいと思う。
10	夫の協力。
11	まだ男女で育児を分担する意識が定着していない。育休に対しての考え方も女だけという感じがまだまだある。
12	男性が育児に関する社会制度をもっと利用しやすくするような工夫が必要。
13	男性の意識が変わらないと。
14	支援ではなく、子どもを持った時点で自分が何をすべきか考えないといけない。自覚のない男が多すぎて話にならない。自覚のない人に支援しても効果はない。
15	男女の固定的な役割分担意識にとらわれず、共に育児に参加し助け合える社会の実現。
⑦就職しやすい環境(子どもがいると雇ってもらえない現状)	
1	仕事をしたいと望んでいますが休みや時間の調整がうまくできるか心配です。
2	保育園や児童会の枠を広げて子どもを預けられることではありません。雇用制度の充実、産休、育休の理解を職場が受け入れ、経済的にも生活の保障をしてくれ、親がしっかり子育てして行ける環境を整えてくれることです。
⑧事業所内託児サービスの提供	
1	会社に託児所がある。託児所がある会社に補助金。会社での雇用が増える。
2	男女ともに「子どもを連れて仕事ができる」くらいの支援が必要だと思う。
⑨その他	
1	PTA活動があり仕事ができない人もいると聞く。PTA活動自体、シルバー人材を使うとか地域にボランティアを求めるとかするのも支援の一つでは？
2	老人と接触する日を多くする
3	シルバー人材を利用して時間の調整をする。年配者の収入は経済をよくする。若い世代の子どものしつけ面、他の人に叱ってもらう面に教育が必要。
4	近所に子供を(数時間でも)みてもらえる高齢者の方がいたらいいと思う。
5	子にとって最初の学校は家庭だと思っています。男女、夫婦等のコミュニケーション、愛情が大事だと思います。親が笑顔なら子も笑顔でいられると思います。
6	子どもにモラルを教えること。誰かに預ければ良いというものではない。
7	女子だけでなく男子にも小さい頃より家庭での役割(食事の準備のお手伝い等)教えることや、男女の思考の違いを教えること。
8	互いの仕事の理解をする。
9	市が中心となって子育てイベントをする。
10	子育ての支援制度を確実に活用できたら良いと思う。
11	学校行事が専業主婦が基本になっている気がするので何とかしてほしい。仕事が休みづらい、参加しないと子どもがかわいそう。

12	少しの熱でも学校側から迎えに来てくださいますのTEL、車がない私はスクールバスでお願いしたい所決まりなので一言でタクシーで行きます。少しの熱などに限り保健室があるのだから、様子を見てほしい。少し助けてほしいです。
13	小学生の頃から働く場について学ぶ場を設ける必要がある(文化として学ぶ)。既に成人して考え方が固定化した人の考え方を変えるのはとても難しい。
14	小学校を寮制にする。
15	部活動の送迎を親に求めない、部活動をやりすぎない。でも運動スポーツはさせたい。習い事は金銭と送迎が大変。家におくと太ってゲームばかりやるし、運動の基礎を楽しく学べるクラブがすぐ近くにあれば最高。部活ではなくクラブチーム。
16	部活動を子どもが自分で通える学区内で土日行うこと。
17	緊急時、または習い事、部活等の送迎。
18	必要な時に有休を使えたりするので、特に不便はないです。
19	行政による短期間でコロコロ変わる支援に頼らずとも子育てできる人はできる(行政を頼りにしすぎると、バカを見る)。
20	支援は不必要。国民全体が仕事に対する考え方を変えたり、国が強制的に長時間労働を規制する他ない。
21	具体的な部分で何が可能で、何が無理なことかを明確化して、不可能なことを出来ることに一つ一つしていくことが、働きやすい状況、環境に繋がっていくと思う。
22	そもそも男女が同じことをしようと社会に向けてやろうとして取り組もうとしている時点で、おかしいと思います。
23	家庭生活の負担が少しあるので、もう少し効率よくこなせるよう努力したいと思います。
24	基本的に子どもが3歳になるまでは母親が家庭で保育するという考えです。
25	女性に対する施策の立案・実施にあたっては、働く女性を優遇しようとする視点ではなく、家族を支えている女性(専業主婦)の重要性をしっかりと認識して行うべきである(特定のイデオロギーに偏らない、ジェンダーフリーなど)。
26	歩道の除雪。
27	PTA活動が多いのも負担。
28	働く母親も多い中、手作り、自作がイコール家庭的で手をかけられていて子どもは幸せ、みたいな流れはやめて欲しいです。買って済むものは買って、その分時間を捻出しているのは悪いことではないと思います。
29	子育て支援を充実してほしい。
30	親やボランティアなどお金のかからない子育て支援が必要。
31	ピンポイントに利用できるサービス。単なるサービスにならないよう親育てのアドバイス、講座など行ってほしい(サービスを利用し、自分の趣味などばかりについてやし子育てをあとまわしにするケースが多いので)。
32	1人親家庭は子育てしながら働くというのが非常に難しい。
33	どのような支援があっても男女ともにはいかならないと思います。かわりに育ててくれる親でもないかぎり。子育ては母親が責任もって頑張るべき。
34	子育てしながら働くのは大変なことです。できることなら、小学校に入るまでは母親は働かなくても生活が成り立つような社会になればいいと思います。
35	国、県の支援が必要。若い人の話を聞くべき(有識者は古いと思う)。
36	長期休みや病気になった時の事を考えるとなかなか仕事を始められない。そのような時に備える為に相談をどこにすれば良いのかすら分らない。
37	支援も必要だと思うが、本人の自覚と覚悟も必要
38	仕事をしていないお母さんの事も考えて欲しい。働いている人を考えているけど、母親はみな一緒にしょ。子どもの親はその人だけだから。
39	子ども同士が遊べる環境が欲しい。協調性も出てくると思う。
40	医療費無料は助かります

41	スポーツ少年団に所属しています。学校管轄ではないので全て親の送迎になる。日々行っているが偏りがあり負担のある親が出てきている。送迎バスなどの支援があれば仕事をする上で負担は少しは軽くなる様な気がする。
42	お手伝いさん(家政婦さん)がもっとポピュラーになれば利用しやすく働きやすくなるかも。
43	なぜ働き続けなければならないのですか。
44	子どもに手が掛からなくなったら親の介護が待ってます。これを行政でカバーできればと考えています。
45	人の和
46	家族の協力。

問10【記載内容】

①医療費について(現物給付、所得制限撤廃、対象児童拡大など)	
1	医療費が助成(中3まで)されることになり、とても助かります。救急センターや休日在宅医などの設置もとてもありがたいです。
2	急病センターについて、電話対応がよくない。態度が悪いというか冷たい。子供の心配をして電話をしてる親がほとんどなのだからもう少し親身になって対応してもいいのでは。
3	医療費無料にして欲しい。
4	妊娠、出産にかかる費用実費全額無料。保育園代を安くする。子どもの医療費の所得の制限をなくする。子どもを育てるのにお金がかかりすぎる。それがなければ子どもを産む人が増えると思います。
5	医療費助成ですが、幼児と乳児を連れて具合が悪く、ぐずっている時に会計に時間をとられず本当に助かりました。税金を使わせてもらっていると思いジェネリックを選び、病気にならないよう日頃から体調管理に気をつけています。保育園からうつつてくるとどうしても受診が必要になります。上の子が小1で8月からまた助成がスタートとなりますが、出来るだけ使わなくてもいいように健康に気をつけたいと思います。プレミアム商品券の現物支給もありがたいです。学校指定の白半袖運動着を買ってあげたいと思います。バラまきなどの反対意見も多いかと思いますが、助かっています。子育て世帯の目線で今後ともご支援いただければ幸いです。
6	もっと子どもに対する医療手当などを増やしてほしい。青森は基本的に収入が少ない割に物価や生活費が高く感じる。子どもに関することだけでも多少なりと保証してくれるなら安心して子どもを産むことができると思う。
7	8月から中学までの医療費が無料になるのは助かります。
8	8月から医療費が無料になりとても助かっています。アレルギーやぜんそくで病院にかかる機会が多く、部活をやっている為ケガもあります。高校の授業料も助かります。小・中学の給食費も無料だととても助かります。子どもが多い家庭は大変だとよく聞きます。
9	1年生になってから病院代がかかり、苦しいです。
10	医療費助成の年齢、所得制限があるのが残念。年齢の幅ももう少し広いと助かります。
11	医療費支援に対する取り組みが遅かった様に感じます。重複障害をもつ子がいるが、それぞれの障害の程度が軽度のため、沢山の病院にかかり医療費がとてめかかったが補助する制度がなかったのが残念です。
12	医療費の助成や通院も含めて窓口での負担がなくなったことがありがたい。
13	子どもの医療費が所得制限にかかって無料ではありません。多くの税金を払っているのに不公平感を感じます。窓口で支払う時に周囲の人に年収がわかるし、有料なので他の人達のように気軽に病院にかかれません。所得制限を撤廃して欲しい。
14	医療費無料化など、子育てしてみようと思える制度を今後も進めてほしい。高齢者だけでなく、子どもが増える、生み育てたいと思える様な市にしてほしい。
15	子供医療費助成に所得制限をなくしてほしい。

②子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(放課後児童対策など)	
1	放課後児童会が6年生までになり大変助かりました。共働き家庭でも出切る範囲で放課後に友達同士で外で自由に安全に遊べる環境が整っていくとよいと思います。
2	放課後子ども教室の日数・推進員・時間増加を強く希望します。イベントなど“小学4年から～”が多いので低学年でも参加できるようにして欲しい。小学生(全学年)の職業体験があったら嬉しいです。
3	放課後子ども教室の内容が中途半端すぎる。放課後児童会と統合しても良いと思う。
4	児童会の利用時間の延長と夏休み期間の給食夕食サービスをお願いします。利用年齢の拡大は非常に助かっています。
5	放課後児童会の先生方の研修や教育が必要かと思います。以前は利用していましたが、子ども達による先生方の評価は正直良くないですし、保護者に対しても？な対応の方もいらっしゃいます。放課後児童会の存在する意味を先生方が本当に理解しているのでしょうか。先生によって利用しなくなった家庭は本当に多いです(学区外でもよくきます)。
6	児童館が古い。場所が悪い、危ない。
7	児童会の始まる時間がおそい。せめて、1人で家を出ても大丈夫になるまでは7時半頃かあら預かってほしい。
8	放課後児童会や子ども教室、支援センターや教育研修センター教育相談室など、着々と支援が広がっていることが感じられます。これからもますます子ども達が暮らしやすい社会になりますように、行政サービスへ期待を込めております。がんばって下さい。
9	子どもなら誰でも行ける児童館や施設が地域にたくさんあると良い。遠くまで行かなら意味がないです。
10	放課後児童会の対象学年が6年生までに広がった事を嬉しく思います。しかし、長期休暇のみ利用していますが、必ず2カ月にまたがるため利用料金が高くなり、利用を断念する事も考えてしまいます。生活のために共働きしているのに子どもを預けるための料金が高いと、何のために仕事をしているのか分らなくなります。一ヵ月間の長期休暇中のみの設定料金を検討いただくと助かります。
11	児童会への申請等いちいち市役所まで行かなければならないのは少し不便に感じる。学校の児童会が窓口になっていると助かります。
12	なかよし会のスペースが人数に対して狭いので拡張して欲しい。床に安いうすいカーペットをしいて子どもたちが正座して勉強しているのがかわいそう。正座しても足が痛くならないよう改善してほしい。
13	児童室の開設時間を見直してほしいです。平日は現状は18:00までですが、せめて19:00、長期休みは現状は18:00～となっていますが7:00～になってもらえたらもう少し働ける範囲が広がるのですが。
14	放課後児童会を長期休暇中のみの利用ができるようにしてもらいたいです。
15	放課後等デイサービスをもっと増やしてほしい。今利用している所は小学生までと言われているし、周りにも通わせたいけど断られるというのがいくつもある。「日曜日仕事で子どもを預ける所がないか」と聞かれ、ファミリーサポートセンターを紹介したが、“小学生が利用できる”というものが少ない気がする。もしあるのなら、ぜひ教えてほしい。
16	市の放課後児童会も春から6年生までになり、仕事をしている親として本当に感謝しています。今後、更に良い環境ができることを期待しています。冬期間の雪の多い時は18時までのむかえが厳しい時もあり「まだむかえに来ないですか？」の電話や、待ってもらっていても寒い中ずっと外に立たされているのが気になっています。指導員の対応にいつも疑問があります。市の方針であれば仕方ないことですが、「もう少しなんとかありませんか？」と伝えた時も全員がそうではないのですが、言った方が悪くなり、叱られている気分になります。以前(昨年)「市の子どもしあわせ課の人が来て、(家の子を見て)この親には注意した方がいいと言っていた」と言われました。何をしたいのでしょうか。そこから改善して欲しいと思っています。
17	放課後児童会の学年が延長されたり、子育てしながら両親が働ける環境が徐々に良くなってきている様に感じます。
18	放課後児童会で子どもが子ども同士で遊び育ち合える環境を作ってください。体験や物作りは学校生活で充分学んできています。生活用品、玩具、遊具の充実を強く希望します。古くてみすぼらしい感じがします。

19	学校・児童会教室のエアコン設置を望みます。夏休みの児童会利用の時はいつも汗だくで、いすがなくひざをおっているのが、あせもができます。
20	長期休暇時には放課後子ども教室をいつもの回数(週2)よりもふやしてほしい。
21	放課後デイサービスが少なく空きを待つ状態であること。送迎までなくては結局仕事の時間を短くし対応しなくてはならない。福祉タクシーを利用しては働いている意味がない(毎日のことなので金額が)。
22	放課後児童会の長期休み(夏休み、冬休み)の利用料金について、月の中途から中途までの利用(約1ヵ月)にもかかわらず、2ヵ月分必要となるので、長期休みのみの利用について特別な料金体系(1ヵ月分のみにするなど)としてほしい。
23	日曜祝日でも子どもを預けることのできる保育園をもっと増やして欲しい。
24	近くの幼稚園が近いうちに閉園します。近くに幼稚園がなくなるため、認定こども園の充実をお願いします。
25	支援学級に通う子は部活は出来ないし、児童館にも1人では行けないし、習い事をするにも大変。そういう子達が放課後通える所があると助かります。
26	色々な子育て支援はあるが、全てとっていいほど仕事が土日祝休みの人を対象とした支援になっている。土日祝に働かないといけない仕事の人達も世の中にはいっぱいいます。無料とはいいませんが、日祝も子供を預かってくれるような所はないのかと思います。
③子どもの遊び場について(公園・屋内施設の整備など)	
1	冬の遊べる場所を作してほしい(バスなどでも行けるような場所)。
2	東部地区に比べ西部地区の子どもの遊び場、公園が極端に少ない。地域バランスに配慮して公園、インフラ整備を進めるべきである。
3	冬場の子どもの遊び場をどうにかしてほしいです。新青森駅前の土地がもったいないと思うので子どもの遊び場に利用してほしいです。老人の施設も大切だと思いますが、子どものための設備が青森市には少なすぎると思います。臨機応変に子どもを預かってもらえる放課後子ども教室にしてほしいです。
4	遊園地等、子ども達が冬季でも遊べる施設を誘致してほしい。
5	青森市に雨が降った時に遊ぶ場所が少ない。又、小4年・5歳・2歳の兄弟が一緒になってあそぶ場所が少ない。
6	学区内に子どもだけでいけるプールがほしい。学校のプールがなくなってきているので、子どもから夏のプールをうばわないで。
7	よその地域は知りませんが、高齢者のことばかり考えていて、子どもの事はほとんど考えていないように感じます。昔、遊具のあった公園も今は地域の高齢者の集いの場となっています。これだと、子どもたちもその親も地元にとずっといたいとは思いません。
8	一番困っているのは冬場の活動なので、もっと運動できる場が欲しい。スキーに行くのもお金がかかる。リフト代の割引などがあれば嬉しい。市であっせんしてのスキー用品のリサイクルがあれば嬉しい。
9	新しい住宅地には公園を整備しているが、古い住宅地には公園がない(三内霊園近く)。空地を活用し、公園をつくってほしい。近所のこどもに誰がいるのかもわからない。公園での交流が無い。
10	悪天候の時に家族で出掛けたいと思っても、青森市には遊べる施設がない。仕方なく市外に出かけることが多い。交流もつながりも遊び場でできるので、ぜひ検討していただきたい。
11	屋内施設の充実と長時間労働の解消が必要と考えるので、その対応を行政サービスに期待したい。私自身高校教師であるが、本当に多忙で毎日時間に追われ家族と過ごす時間が無い。屋外スポーツの部活を担当しているが、自分の子どもとともに冬期間利用できる施設が少なすぎると思う。
12	給付金はとても助かっているのがありがたいです。室内での遊具、施設の充実を望みます。雪国なのでもっとあるべきでは？体を動かせるような施設をぜひ増やして欲しいです。
13	青森市は家族で利用できる施設が少ないです(遊園地等も)。学校と連携している放課後子どもが過す場所や施設が無いです。子ども達の居場所を考えてもらえればありがたいです。

14	雨や雪の日でも、子どもが走り回って遊べるような楽しい施設がほしいです。有料でもよいと思います。子育てクーポン券のようなものを作ってカタログギフトのように〇枚で〇に使える(例として、習い事の送迎等タクシーの割引、モヤヒルズの1日券、指定のジャージ、制服の割引)のようなものでもいいと思います。現金支給でも良いが、子どもに回らないと意味がないので。
15	子どもが安心してのびのび遊べる場所が欲しいです。
16	降雪期に子供が家にばかりいるとかわいそうなので(冬休みもかなり長いので)子供が徒歩で行ける範囲内で施設を開放したり、ちょっとしたイベントがあるといいなと思います。
17	通勤族です。青森に来て雪の時期の子育ての大変さを痛感しています。雪の時期の交通の便や遊び場(屋内施設)の充実を期待しています。よろしくお願いします。
18	屋内、屋外での青森市内での遊び場を増やしてほしい。小学高学年の遊びばが少ないように思います。
19	公園の整備をもっと行ってほしい(筒井、桜川方面)。冬に遊ぶ場所がほしい。例えば学校の校庭でもいいので。
20	子どもたちが健やかに成長できる施設及び機会をもっと増やしてほしい。「短命県返上」とうたっている割に未来を担う子どもたちの運動不足を解消するような取り組みが少ないと感じる。
21	青森は子供を連れて冬遊びに行ける所がなさすぎて困る。
22	子供の遊び場を増やしてほしい。学校内での先生の配置も考えて欲しい。担任と合わなかったら子供のクラス替えも考えて欲しい。
23	幼稚園児～小学生が遊べる場所が少ないので作ってほしい。冬場、雨の日等遊び場がなくて困ります。
24	浮き輪を利用できるプールがあればいいなと思います。体をつかって遊べる場所が冬季にあまりないのでつまらないです。通勤できましたが、知り合いも少ない中、冬はこもりがちで親子で退屈しています。
25	水泳教室を増やしてほしい。
26	小学生高学年になると、部活や地域の何かのスポーツクラブに入りたいと思っても、仕事をしていると、連れて行けない、見に行けない曜日や時間帯なので、フリータイムで仕事をしている家族の子どもでも、参加できるスポーツクラブなどがあたらいいなと思います。
27	降雪時などの屋内の遊び場が欲しい(体を動かせる高学年でも遊べる所)。
28	市内のサービスは地域的(新しい住宅地は整備、昔ながらの土地は未整備)季節的(夏は良いが冬は使用できる施設が少ない)にかたよりがあある。マイナス部分にも光をあててほしい。
29	自然を体験する機会、子どもの遊ぶ場所をなるべく増やしてほしいです。八戸市の子供の国にある室内遊具はすてきだと思います。ぜひ青森市にも。
30	この先もしも空く校舎があったり、統合が進んだりしたら何年かは放課後児童会はそのまま開設したり、みんなが楽しめるスポーツクラブを運営してもらえたら心身ともに健やかな子が育つと思います。
④教育視点での子育て支援(教育費の無料化、少人数学級、教師資質、親教育など)	
1	教育機関の無料化
2	目先の子育ても大事だが大学進学が当たり前になっている時代において、将来の教育費負担が重くのしかかることが子育て世帯の不安になっている。子ども達が一人前になるまで継続したサポート(奨学金の充実等)が大切である。
3	子どものいじめ問題に学校がきちんと対応してくれなくて困っています。行政は教育現場に立ち入れないんですか？先生たちがいじめをかくそうとしています。このままじゃ岩手のニュースのような事もおこるんじゃないか…。
4	学校給食の内容を献立表で見るが、高学年では量が少なくないのか心配になることがあります。給食のサンプルなどを置いたり、何をどのように食べているのか知りたい。
5	以前子どもがいじめにあい(暴力)先生に相談して3、4回で校長先生に話を取り次いでもらいましたが、もっと子どもを守るために大小にかかわらず大事にして真剣に取り組んで頂きたいと思います。

6	スクールバス特に下校時
7	中学までの制服・トレパン無料にしてほしい。
8	学校教育について、先生の子どもたちに対する暴言が気になります。先生も人間なのでイライラする事もあるのは分かりますが、“プロ”としての意識を持って子どもたちに接して欲しい。学校給食について、10～15分という短い時間で残さず食べる事を良いとする価値観を子どもたちに植え付けたくないで欲しい。ゆっくりとかんで味わって食べる事、自らの食べるちょうどいい量をお腹で感じながら食べる事が幸せで健康な人生を築くことにつながる、と思っているので。
9	学校の遊具が使えないままです。生徒が少ないからといって直してもらえないとかだったら、子どもたちがかわいそうです。
10	学校の先生も責任をおいたくないから部活も親任せ。気持はわかるが仕事をしている親は大変。金はかかるし、子ども達の格差がありすぎ。勉強も塾に行かせたいが高くて行かせられない。
11	給食費が高い。
12	養護学校に通学していますが、給食がないのがとても残念です。あすなろ療育福祉センターの通園時に給食があり、初めて食べるものとかがあり、子どもは楽しんでいたと思います。障害児でも対応してくれていたなので、あると思っていたのがないので残念でした。
13	子どもを育てるには子を持つ世代、孫を持つ世代、子がいない人達全ての子育てに対する教育が必要。教育に携わっている人の知識だけを見るのではなく、自分をコントロールする精神、会話力など理想を高くし近づける事も必要。
14	学校も学習を塾に頼らせすぎです(特に中学、高校)。教員OBの方や余力のある方たち等で子どもの学習サポートをしてもらえる様なシステム作りを希望します。
15	給食の材料費が安い内容が充実していないので、子供たちにはもう少し栄養のある給食にしてほしい。
16	小中学校の給食費無償化を要望します。子ども的人数が多いほど生活が増えるのは事実です。少子化を防ぐためにも支援を考えていくべきです。
17	昨年アレルギー対応の給食ができたのに、その対象となる子供が食べることができないとはどういう事なのでしょう。「アレルゲンに微量でも反応する子はだめ。」そういう子の為のアレルギー対応食なんじゃないんですか？テレビでは良い事を言いましたが、対応できない給食なんて意味無いです。「やったー！給食食べられるー！」と喜んでいた子供の落胆した顔を想像してみてください。作るなら中途半端に作らないで、完全なアレルギー対応食を作ってください。他県ではどのようにしているか調べてみてはいかがでしょうか。
18	市内の小中学校すべてにスクールカウンセリングを設けてほしいと強く希望します。地域的に遅れていると思います。
19	子どもが小さい時よりも、中・高・大学の方がお金がかかるがあまり公的な支援がない。市独自の学費の援助などがあると安心して子どもを産み育てることができるのでは。
20	経済的負担が重くのしかかる様な教育制度の見直し。
1	小学校の給食があまりに質素で子ども達がかわいそう。自分たちが子どもの時の方がいい物を食べてた気がします。子どもを大切にしている青森の行政の気持ちがわかりません。
2	小・中・高の給食費、授業料の無料化、税金の免除。
3	医療費より義務教育期間中は給食費を無料にしてほしい。もう少しおいしくバラエティにとんだ物を。
4	とにかく学費。義務教育だけでなく将来国のレベル向上のためにも高校、大学まで安心して入れるように税金が高くて学費を抑えられればと思います。
5	本当に必要な人に手厚い支援がされることを願っております。今のサービスでは我が家は大変助かっております。今後もよろしくお願ひします。中学・高校生のアンケートは来ませんでしたので下に書きます。高校性が安心して集まったりできる無料の施設がありません。ダンスの練習の為の場所を探していますが、市民センターなどは親の了承を得たり、利用料もたくさんかかります。アウガでお買い物をした時に駐車券をもらうように、施設利用料が割引になるなどの券があればいいと思います(弘前までいったりしている)。
6	移動図書館をよく利用させていただいています。大変ありがたい。これからも続けてください。

7	親がPTAや社会的に良い物に参加しやすい体制作りはないだろうか。親の就労支援止まりではいけない、仕事だけでなくボランティア活動を通して地域の活性化やつながりを持てるようになってほしいと思います。1人では生きられないのですから。
8	スポーツ活動している子供たちへの支援を充実させて、もっと多くの子どもたちがスポーツ活動に参加できるようになると健康にもつながり、ゲームなどの個人的な遊びではなく考えたり話し合ったりする機会が増え、いじめなどの陰湿な行動が減少するのではないのでしょうか。
⑤経済的支援(保育料軽減、各手当支給など)	
1	中学生までの子どもがいる家庭での市民税など地方税を免除してほしい。給料から引かれるものが多すぎ。
2	仕事をしながら子育てをするという事はとても大変で、会社の理解が不可欠で。病気がちな子どもをもっと休みを取るのも心苦しいし、ほかの人に負担がかかるとかいつ解雇になるかいつも不安を抱えています。現在、子育て支援金が出ていますが、我が子は持病もちで15歳以上になっても病院は不可欠な存在です。いろいろな制度、税金とかがありますが、こういった子どもを持つ親に子育ての支援金の延長とかあれば助かります。現在、持病以外にも他の病気にかかりやすかったりとお金がかかります。借金しながら生活する現在でした。
3	児童扶養手当を受給していますが、2人目の増額分がプラス5000円では少なすぎます。最低でも1万ないと厳しいです。子どもが増えるほど生活費にお金がかかるので、3人いる方はもっと切実かと思えます。
4	若い人(20~30代、40代)と子育てをしています。その時低所得だと子どもに良い物(嗜好品、ゲームとか)買ってやりたいが、がまんさせている。高齢者の介護にお金を使う事もいいが、もっと子育て世代にお金がほしい。
5	放課後児童会の利用費を口座からの引き落としにしてほしいです。給食費も子どもに持たせるのは盗難、紛失など心配なので、口座引き落としにしてほしいです。先生方の集金の負担も少なくなるのではないのでしょうか。滞納もなくなるのでは。
6	子ども手当など、金銭面での補償を厚くしてもらえると助かる。
7	子ども手当、助かります。
8	扶養手当がもらえない。家族との同居の為にもらえないのはどうかと思う。離婚してろくに給与ももらえないので一緒に住んでいるのに。生活保護はテレビで見れば簡単にもらえるのに、意味がわからない。
9	共働きで3人の子どもを育てていますが収入が少なく、将来、子ども達が進学を希望しても思い通りに行かせてあげられない状況です。就学援助の申請もしましたが認められず、中学生が2人いるので毎月の諸費がかかり、とても苦しいです。
10	児童手当やプレミアム商品券・子ども医療費助成医療証ありがとうございます。子どもの事に使えるのでとても助かってます。
11	少しずつ良くなっていると思うが、子供が小さいうちは面倒を見れるよう収入の面でもっと援助して欲しい。
12	児童手当は現在中学校まで？ですがお金がかかる高校卒業までにしてほしいです。
13	他県に比べて夏期の水泳教室(体育)の時間が少ないので、習い事として各家庭でプール教室に通う必要があります。市民プールに通える人数は限られているので、民間教室に通う家庭も含めて支援金(又はプール教室の割引など)があれば良いと思います。
14	所得にかかわらず子ども一人ひとり一定の支援を行ってほしい。
15	保育料をもっと安くしてほしい。思い切って無料とか。
16	多子世帯への支援を充実させてほしい。
17	母子家庭について、もう少し見直してほしい。
18	障害を持つ子に対しての市としての支援。父子・母子家庭への支援。
19	忙しすぎてアンケートを書く時間もなかなか作れない。ひとり親家庭への支援を強化して下さい。

⑥子育て支援・教育関連情報の充実(情報提供、イベント開催、相談機能など)	
1	子育てに関する悩み(小学校高学年)を気軽に相談できる場所が欲しい。児童相談書等は堅苦しい感じがする(聞いてもらえるだけで安心したり自分だけでなくみんな悩んでいると知るとホッとする)。
2	相談機関があることは知っています。ですが、対応していただく方は同じ立場の方ではなくキャリアのある方なのか「それくらいどうってことない」と言われて、それ以降自分が簡単に弱音を言うてはいけなと相談できません。
3	親は子育てに不安な時がある。行政サービス側は上から目線ではなく、相談しやすい対応をするべきである。アンケートもこのような選択式ではなく、個々の意見を書けるアンケートにすべき。本気で親の意見を確認したいのか。
4	地域の子育て支援の情報をネットで調べてもなかなか詳細にたどり着けなかつたりするので、ツイッターとかをもっと活用して欲しいです。
5	子育ては楽しくなければ苦になります。相談する相手(親・友人・近所の人)を頼っていいことを1人でも多くわかっていれば、楽しくなるはず。同じ人は1人もいないし、他人と比べても意味がないことを知ってほしい。子どもはいろいろ発見して自ら成長していくので、温かい目で見守ってほしい。そして、子どものお母さんにも声を掛けれる人がそばにいる事をわかって欲しいです。もっと情報発信をして下さい。
6	どうしても、母子家庭だと生活していく上で金銭的にも仕事のにも不利なことがたくさんありすぎて、どうしていいかわからなくなり、相談してもたんと機械的な返事などしか返って来ず。悩んでいる方はたくさんいると思いますが、みなさん解決につながっているのか不思議です。
7	特に利用したことはないが、利用するとしたら、窓口での対応などは親身になってもらいたい。相談しに行くという事は、困っていることでもあるので、結局意味のない解答だけもらって何の変りばえしないサービス機関にならないようお願いしたい。
8	冬季は子どものストレスも高まると思っている。今以上に子ども向けのイベントを開催して欲しい。
9	青森市経済部観光課から発行されている「青森市夏のイベント情報」等を小学校等で配布していただければ、子連れで外出しやすかったです。
10	夏休み、冬休みなど長期の休みにデパート内のホールなど空いているスペースを利用して、子どもたちが遊べる企画は出来ないでしょうか。夏は熱中症対策、家に引きこもってゲームばかりの毎日が減ると思います。
11	子どもと一緒に参加できるイベントをたくさん企画してほしいです。子どもがのびのび遊べる場所を提供してほしいです。
12	市内でもっと自然とふれあえるイベント(木登り)など小さい時にあるといいなあと思います。
13	以前、子どもが友達にいじわるをされ、そのことを相談センターにお手紙を書いて相談していました。投函する前にそれに気づき内容をこっそり見れました。いじわるされて悩んでいることもお手紙を書いていたことも知らなかったし、その後の返事や対応もわかりません。もし、親に教えられる範囲の内容なら、親にも報告か連絡をしてほしいなと思いました。子供は体験して危ないことやそれを回避する方法を見つけていくと思います。あまり安全を重視しすぎたり、いざこざを回避していく環境だと心が育たないと思っています。
14	相談相手がいらない人もいますので、オープンな行きやすい感じの交流の場を作った方がいいと思う。
⑦子どもの安全対策(防犯、道路など)	
1	安心して暮らせるのは、安全が確保されている時なので、犯罪、交通事故等から力を入れて暮らしの土台を守っていただきたいです。警察の方々を増やすのはどうでしょう。
2	通学路、冬の朝の通学が危険なので、お店の除雪車の運転が荒くこわいです。
3	市民センターの入り口に灰皿を置いて喫煙できる場所があるが、受動喫煙を言われている今、子供や高齢者も人の出入りの多い場所でブカブカ喫煙しているのはどうかと思う。
⑧予防接種について(無料化、助成制度、集団接種など)	
1	予防接種など色んな助成が増えると助かります。

⑨子育てしながら働き続けるための支援について(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境など)	
7	母親が働いていてもいなくても、父親の子育てへの参加は絶対に必要。現状は参加したくてもできない帰宅時間、休日出勤がある。行政で積極的に子育てに参加する、できる様な制度をつくってほしいです。
8	共働きが増えてこれまでの社会通念だけでは対応できなくなっている、社会全体での意識改革やサポート体制の充実が必要となっていると思う。そのためには女性の家事負担の軽減、社会参加の促進、男性においては長時間労働の縮減、家事育児参加の促進が重要であり、あわせて保育・託児サービスの充実が望まれる。行政機関が率先してこれらの課題に取り組むことが必要ではないか。
9	仕事がしたいと思っても、勤務時間や休み(土日祝)を考えると前に進めないでいるので、支援があるといい(親も仕事があり子どもを預けられないし、夫も土日祝が決まって休みではないため)。
10	賃金の低さを何とかして下さい。
11	仕事をしながらでは家庭での時間が少なくなります。それでも、本当に仕事をしながら子育てする人に対しての子どもの安全面など、今より良くなる事を願っています。
12	子育てしながら仕事をするためには土日休める職場であることが、一番の条件です。
13	子どもの病気時、正社員で働き子どもの病気にも理解のある職場ですが、子どもが2人おり順番に病気となり10日休みを取得したことがあります。その他に学校行事で休みを頂きます。子どもの為に特別な休みを取得できる様ななればうれしいなと思います。
14	学校が終わる時間には保護者どちらかが仕事を終え、帰れる社会。それができる収入が保障されると子どもとの時間が増える。
15	少子化と騒いでいるが、仕事をしながら育児をつづけていける環境が整っていないので、出産しようと思わない。青森は働く女性に冷たい県である(他県はもっと色々取り組んでいるのに)。くだらないことに税金を使いすぎ。
16	母子家庭でもならいごとを通わせてあげられるようなサービス等があれば助かります。会社も定時で終えて子育てへの理解をしていただけたらいいと思っています。
17	親の力だけでは限界があります。子どもが10歳位までは病気の時は親や祖父母が面倒みてあげたいです。病児保育は大変ありがたいですが、子どもがかわいそうです。仕事をしていても休ませてくれる職場の環境が必要だと思えます。
⑩病児対応施策等の充実	
1	病児保育の充実を早期に望みたい。
2	できれば学校内で病児保育の様な施設があればと思う。無料か低価格でないと利用しないが。
3	近くに祖父母がいないので、働いているが風邪など病気になったらどうしようと不安の上で毎日仕事をしている。休むことで迷惑をかけたくない、病児預かりの充実。朝早く出ないといけない時や、残業時のために、預かり時間を拡大して欲しい。
4	支援金の配布や医療費の補助など金銭的な援助より、子どもがいても(小1の壁も含む)フルタイムで女性が働きやすくなる援助をお願いしたい。預けている保育園で病児保育をしてくれるだけでも、働く母はだいぶ楽になります。
5	市民病院の小児科の外来を土曜日もやってほしいです。
⑪市政に対する苦情	
1	窓口の対応の改善。守秘義務を徹底してほしい。
2	行政(特に青森市)の考えること決めることは、現実の生活に即していないので、頼りにしすぎないようにしている。
3	子どもの権利条例など、特定のイデオロギーに偏った(無意識かもしれませんがそうしたものを背景とした)施策は見直すべきである。大人の幼児小児化(ピュエリリズム)にすぎない。子どもの「権利」ではなく「義務」を教えるべきである。「権利」ではなく「権理」(理のうえに道義がある)と認識すべき。青森市が進めている昨今の施策には疑義を覚えるものが多すぎて残念な限りと感じている。

4	自然も食も素晴らしい地域なのに、住みづらいのはなぜなのか。行政はもっと工夫が必要。一般企業や大学や外部業者と手を組み、もっと頭を柔軟に取り組んで欲しい。子ども達のために。
5	生保の人達の不正受給をちゃんと調べてどうにかすればいいと思う。支援が本当に必要な人が受けられるようにしてほしいと思う。母子家庭でも、不正している人もいるし、同じ母子家庭としては許せないという気持ちがある。きちんと調べたほうがいいと思います。返信用の封筒も大きすぎて税金のムダでは？三つ折りですと半額です。
6	青森は自然にめぐまれ環境もある(人情や人が良い等)と聞きますが、ないと思います。それは一部の人に特化したもので、情報も少なく、恵まれている人をみると足を引っ張る。青森の人はもう少し都会の人を見習うべきです。市や県の対応も遅れているため、若者が県外へ流出するんです。青森は魅力が全くなく、人の対応も悪く、税金も高いです。何より楽しさも感じないので早く対応して欲しいと思います。せめて仙台位の対応をしないと誰も満足しないと思います。お役所と高い所にいないで、人さまの税金で生活しているということを理解すべきだと思います。言いたい事を書いてすみませんでした、がんばって下さい。
7	他県を経験してきましたが、子育て支援に限らず何においても遅れています。子どもの医療費についてもしかり、今頃！？という感じです。もっと他県の良い所に目を向け見習うべきだと思います。口では何とでもいえますが実行に移して頂かないと何も変わらないと思います。大変でしょうがよろしくお願い致します。
8	力を入れすぎ。もっとやるべき事があるはず。
9	このアンケートに答えて思う事は、市役所が色々な事を計画して、金をかけて物事を進めようとしているにはわかりますが、それがかえって親や子どもの過保護になっているのではないかとということです。必要最低限の事に絞って集中投資すべきだと思います。理想も大切だが現実を重視すべきだと思います。また、経済、雇用を向上させれば福祉への投資を減らしても良いという考え方もあると思います。職員の皆さんは、日々御苦労されている事と思います。色々大変だと思いますが、子ども達の為、将来の為に無理し過ぎない程度に頑張ってください
10	青森県に引っ越して3年になりますが、とても子育てしにくい場所だと思いました。割合的にお年寄りの方が多いいのは分かりますが(デイサービスが多い)、子どもが満足できる施設も少ないですし、医療費も無料は小学校入学前まで、児童会もあまり頼りになりません。子どもに対する考え方からなおした方がいいと思います。
11	子育てや教育に関して、自分事として考えてほしい。
12	本気で相談して解決したい、手助けしてほしいと思って居るのだからはんばにかかわってほしくない。最後までむきあえますか？
13	臨機応変かつスピーディーにお願いします。期待します。
14	市役所のキッズスペース意味がありません。親がついてなくてはいけないならその間に手続きもできず、結局連れて歩く方が安全です。
⑫その他	
1	アンケートの子供の他2人の子供がいますが、比較的子育てしやすい環境に恵まれていると感じております。
2	不満なくいつも助かっています。
3	相談できる子どもを預かってもらう実家が遠い、祖父母が働いていて頼れない環境の母親が、一番大変だと思うので、子ども達の遊び場にチラシを置いていたり、いろいろな集まりが行政でもうけているなあと感じています。今後も孤独な子育てをしている人に心をかけた活動をお願いします。
4	八戸市に比べたら子育て支援はとても充実していると思います。
5	青森市はよくやってくれていると思います。おかげさまで楽しく暮らしています。
6	プレミアム商品券ありがとうございました。子どものジャージを買わせていただきました。
7	障害児に関係あるアンケートもして下さい。あてはまるものがあまりなくて書けません。

8	ある子育て支援保育園で子どもを預ける際に何をするのか聞かれ、久々に自分の時間をとってテニスをしたかった友人が正直に言う「子どもを預けて遊びに行くんですね」と言われ泣いたことがあったそうです。ベテランの保育士さんは昔からの考えだったかもしれませんが、時代は変わって核家族になり、求めているもの取り巻く状況は変わってきています。支援事業に関わる人たちもベテランの古い考えの人は入れず、今必要なもの事をわかる人たちで企画してほしい。たとえばアウガにある託児所は完全予約制、急に預けても空きがあればOKなら使いやすい(今はどうか分かりませんが)と思っただし、健康診断やママの病院通いの為、県病や市病に託児所があればいいのにと考えた事があります。健康診断は結局、子どもが幼稚園に入るまで一度も受けられませんでした。
9	近所の方が小学生くらいの子を毎晩大声でどなり散らして、虐待の通報しようか悩んでいます。相談機関に電話してもほとんど対応しないという話も聞くので、警察に通報した方が早いという人もいます。本当の所どうなのでしょう。夏場で家の窓が開いているので、どなり声がよく聞こえてきます。大人の方がくるったようにどなっているの、大声で泣く小学生くらいの子の声が毎晩きこえます。かわいそうです。
10	親も子どもさまさまなかかわり方がかたよっているように思う。地域も「あたりさわりのないよう・・・」。施設利用の際、利用者、子どもの利用のしかたの悪さ等、いろいろなモラルがサービスを通じて悪化しないよう大人側にも伝え、実行してもらうことが多いのではと思います。
11	私の二男の子ども(1年と4年)を育てております。祖父母ですので可愛いのが先で甘やかしていると思います。毎日、学校へ送り出すと疲れが出て子どものエネルギーへの対応でヘトヘトです。自分の子どもの時は平気だったのに、孫たちにも申し訳ない気がします。私達の様に祖父母だけで育てている家庭は青森市にはどのくらいいるのでしょうか？
12	行政サービスする仕事をしてみたいと思います。大人一人一人の気持ちの持ち方が重要だと思います。よりよい環境づくりを期待します。
13	道路で自転車の乗り方を教えるのは大人や地域の方々の役目だと思います。低学年の自転車禁止は間違っていると思います。自転車を禁止することより、大人が車に乗せて出かけることも多々あります。運動能力も低下するし、エコの観点からも自転車禁止をやめてほしい。
14	アウガの中に入っている施設、行政機関等は使いにくいので撤去してほしい。市民図書館や「さんぽぼ」など利用したいものがあるても駐車料金が1時間しか無料にならないので長くいられない。図書館等1時間はあつという間なので、駐車料金がかかると思うと行きたくない。弘前のヒロロを見習ってほしい。アウガを使ってほしいなら駐車料金は取らないでほしい。
15	子供が3人おります。上の2人はもう20歳すぎ。今、末の娘の子育て中です。3人目だから慣れたものだろうと言われてます。そんなことは全くなく苦しいと思うこともあり「3人目だから」という言葉に声を上げられない時期もありました。このアンケートを書いて改めて、私たちのこと子供のことを考えてくれている行政サービスを利用したい知りたいといった気持ちが持てたことが私の気持ちの支援になりました。
16	今のところ満足。
17	学区変更について、申請の際には何度も同じやりとりをせねばならず、心細い思いをしましたが、今は友達と楽しそうに登校しており申請が通ってよかったと思っています。ありがとうございました。
18	放課後児童会、医療費の助成、病院保育の充実など、とても助かっています。今後も継続して下さるようお願いいたします。